

一般国道213号日出バイパス工事に伴う調査

下 野 遺 跡

2002

大分県教育委員会

下野遺跡

序

国東半島の基部に位置する速見郡日出町は、従来からの国道10号と国道213号線に加え、宇佐別府道路や空港道路の開通などで、大分県の産業・経済・文化などの発展にとって重要な役割を果たしています。更にこの地に宇佐別府道路と空港道路を結ぶ国道213号日出バイパスが計画されました。速見郡日出町には全国的に知られる縄文時代早期の早水台遺跡をはじめとする数多くの遺跡が知られていることから、開発と文化財保護の調整のため、これまで日出バイパス予定地において幾つかの遺跡が調査されてきました。

このたび報告します下野遺跡では発掘調査の結果、旧石器時代の石器をはじめとして縄文時代早期の土器や石器、また調理の跡とも推定されている集石炉も見つかりました。さらに弥生時代中期の住居跡などが発見されるなど、長期にわたる生活の痕跡が見られました。この報告書は、その下野遺跡の発掘調査報告書であります。本書が広く資料として活用され、先人の残した歴史遺産を将来も守り伝えていく契機となれば幸いです。

最後に発掘調査・報告書作成に御協力いただきました関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成14年3月29日

大分県教育委員会教育長

石川 公一

例 言

1. 本書は、平成11年度に大分県教育委員会が大分県土木建築部からの委託をうけて調査を行った国道213号日出バイパス予定地内の下野遺跡の発掘調査報告書である。
2. 遺物の整理作業は大分県教育庁文化課資料室で行った。
3. 遺構の実測は調査員が行い、遺物の実測・トレースは調査員・整理作業員の他、遠部 慎（文化課嘱託）が行った。
4. 遺跡写真は各調査担当が撮影した。遺物写真は山崎文子（文化課嘱託）が撮影した。
5. 遺物・写真・実測図等は、大分県教育庁文化課資料室で保管している。
6. 本書の編集・執筆は綿貫俊一が行った。
7. 本書に用いた方位は真北である。

本文目次

第1章	はじめに	1
第2章	下野遺跡の発掘調査	3
第3章	まとめ	46

挿図目次

第1図	下野遺跡と周辺遺跡位置図	2	第25図	無紋土器拓影図	29
第2図	下野遺跡周辺の地形と調査区	3	第26図	無紋土器・有紋土器拓影図	30
第3図	下野遺跡遺構分布図	5.6	第27図	土製品拓影図	31
第4図	旧石器時代後期・縄文時代草創期の遺物分布	7	第28図	縄文時代早期の石器分布	32
第5図	旧石器類実測図	8	第29図	縄文時代早期の石器実測図	33
第6図	旧石器類実測図	9	第30図	縄文時代早期の石器実測図	34
第7図	旧石器類実測図	10	第31図	縄文時代早期の石器実測図	35
第8図	縄文時代草創期の石器類実測図	11	第32図	縄文時代早期の石器実測図	36
第9図	旧石器類の実測図	12	第33図	縄文時代早期の石器実測図	37
第10図	旧石器類の実測図	13	第34図	縄文時代早期の石器実測図	38
第11図	旧石器類の実測図	14	第35図	縄文時代早期の石器実測図	38
第12図	縄文時代早期の集石実測図	15	第36図	縄文時代早期の石皿実測図	39
第13図	縄文時代早期の土器分布	17	第37図	SX-1実測図	39
第14図	押型紋土器拓影図	18	第38図	SH-1実測図	40
第15図	押型紋土器拓影図	19	第39図	SH-2実測図	41
第16図	押型紋土器拓影図	20	第40図	弥生時代の土器実測図	42
第17図	押型紋土器拓影図	21	第41図	SK1、SK2実測図	43
第18図	押型紋土器拓影図	22	第42図	遺構内の遺物実測図	43
第19図	無紋土器拓影図	23	第43図	SK2(No.2)の石皿実測図	44
第20図	無紋土器拓影図	24	第44図	石器類実測図	44
第21図	無紋土器拓影図	25	第45図	石器類実測図	44
第22図	無紋土器拓影図	26	第46図	近世墓の陶器実測図	45
第23図	無紋土器拓影図	27	第47図	縄文時代早期の土器数量帯グラフ	55
第24図	無紋土器拓影図	28			

表目次

第1表	旧石器時代後期・縄文時代早期の石器類出土量	16	第12表	土器観察表	51
第2表	縄文時代早期の石器類出土数	16	第13表	土器観察表	51
第3表	土器観察表	47	第14表	土器観察表	51
第4表	土器観察表	47	第15表	土器観察表	52
第5表	土器観察表	48	第16表	土器観察表	52
第6表	土器観察表	48	第17表	土器観察表	52
第7表	土器観察表	49	第18表	土器観察表	53
第8表	土器観察表	49	第19表	土器観察表	53
第9表	土器観察表	50	第20表	土器観察表	53
第10表	土器観察表	50	第21表	グリッドごとの土器種類別数量(1)	54
第11表	土器観察表	50	第22表	グリッドごとの土器種類別数量(2)	55

写真図版目次

写真図版 1

1. 下野遺跡の近景と発掘風景
2. SC 2
3. SC 3
4. SC 4
5. 縄文時代早期の遺物出土状況

写真図版 3

14. 弥生時代SH-2 遺物出土状況
15. 弥生時代SH-2 完掘状況
16. 弥生時代SK-2
17. SH-1 の弥生時代遺物
18. C4区カク乱層の弥生時代遺物
19. C4区カク乱層の弥生時代遺物
20. SK-1 の弥生時代遺物
21. SH-2 弥生時代遺物の出土状況

写真図版 2

6. SX-1 (陥し穴) の断面
7. SX-1 の完掘状況
8. 旧石器時代の遺物
9. 縄文時代草創期の遺物
10. 縄文時代早期の遺物
11. 縄文時代早期の遺物
12. 弥生時代SK-1
13. 弥生時代SH-1

写真図版 4

22. SK-1 弥生時代遺物の出土状況
23. 近世・近代墓の遺構検出状況
24. SH-2 の土器
25. SK-2 の土器
26. 近・現代の幼児墓からの土製玩具

第1章 はじめに

1. 調査に至る経過

空港道路と宇佐別府道路を結ぶ国道213号日出バイパスは大分県教育委員会が大分県土木建築部等、関係部局と協議を重ねてきた。それをもとに、大分県教育委員会は平成8年度に分布調査・平成9年度に試掘調査を実施してきた。その結果、安岐町の下野地区で、縄文時代早期の包含層を確認した。そして、この地点が道路工事によって大きく削りとられることが明らかになった。関係部局との協議の結果、下野遺跡は本調査が必要と判断されたので、大分県土木建築部の委託をうけ、平成11年5月25日から平成11年10月27日まで発掘調査を実施した。

調査主体	大分県教育委員会
	田中恒治（教育長）
	山本芳直（文化課長）
調査担当	綿貫俊一（大分県教育庁文化課埋蔵文化財第2係主査）
	吉田 寛（同 主任）
	藤原由博（同 嘱託）
	江島賢一（同 嘱託）
	山路康弘（同 嘱託）

2. 別府湾北岸地域の歴史的背景

この辺りで最も古い遺跡として知られるのは、下野遺跡から南へ約3キロほどの距離に位置する別府湾を南に臨む早水台遺跡である。かつて13万年前とも言われた遺跡であるが、その遺物は石英粗面岩・石英脈岩で作られ、現在では九重第1パミス（KJP-1）の存在から4万年前よりは古くはならないとみられている。早水台遺跡上層には旧石器時代後期終末の頃のナイフ形石器も見つかっている。旧石器時代後期の遺跡としては、このほか片白池遺跡（第1図21）とその周辺の天堤遺跡・和泉第2遺跡（第1図22）がある。

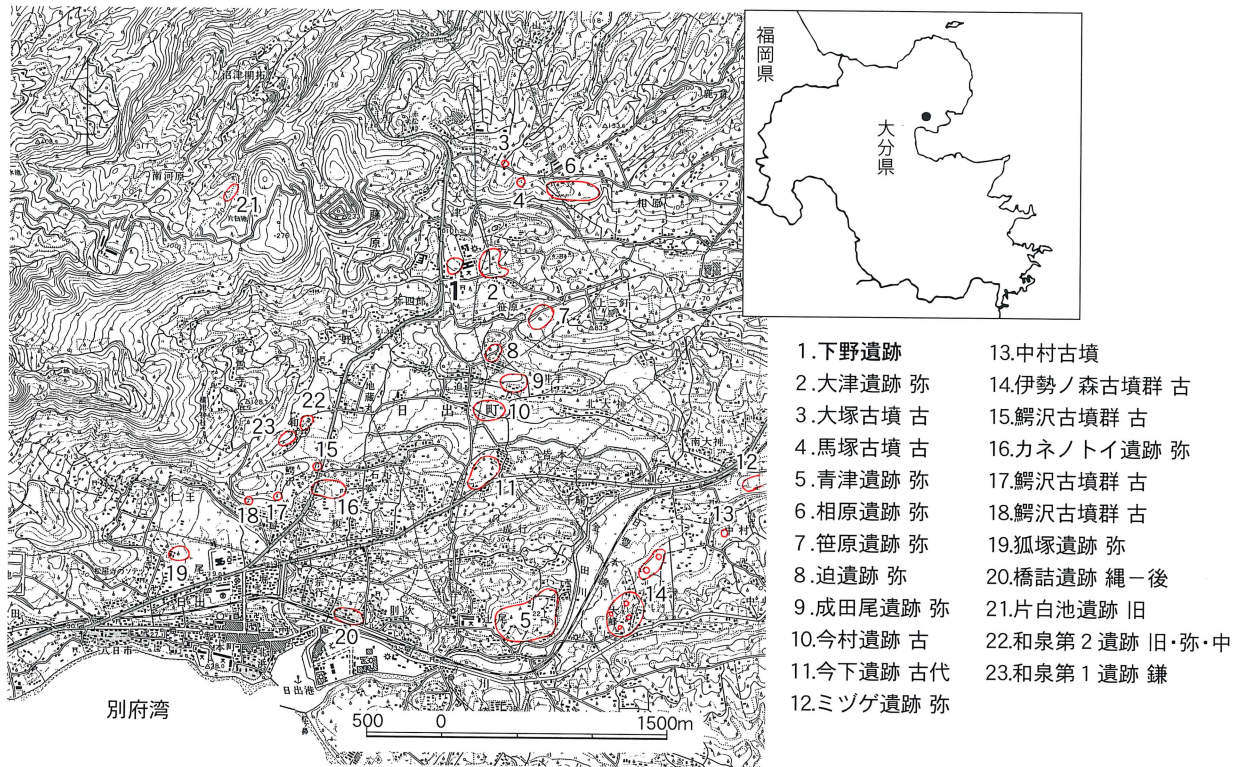
縄文時代の遺跡としては前述の早水台遺跡と橋詰遺跡（第1図20）がある。早水台遺跡からは、縄文時代早期の無紋土器・押型紋土器が見つかっている。橋詰遺跡では瀬戸内系・九州系に属する後期初頭の土器が層位的に見つかっている。

弥生時代になると遺跡が急増している。下野遺跡に隣接する大津遺跡ではかつて大津式土器と呼ばれる土器がみつかったことがあり、東九州の重要な土器として知られる。なお、日出町史によれば下野遺跡でも支石墓が見つかり、中から人骨・銅戈が見つかっているとされる。日出町は、弥生時代に由来する青銅器が大変多いところで、浮島神社には尾首山から出たと伝えられる広形銅鉾7口が奉納されている。

古墳時代になると遺跡として明確なものに、千人塚古墳・馬塚古墳・今村遺跡・中村古墳・伊勢の森古墳群・鱈沢古墳群・安養寺古墳などがある（第1図）。今村遺跡は集落遺跡で、3基の住居址が見つかっており、5世紀代の位置付けがされている。このうち1号住居跡には竈が設置されていた。

奈良時代に入るとこの辺りは豊後国速見郡に入り、大神郷に属する。8世紀頃には本格的に開発がされはじめたようで、成田尾遺跡では規矩型甕・石帯などが見つかっているほか、各処の遺跡で須恵器片が見つかっている。平安時代の末になると宇佐八幡弥勒寺領の荘園となったようである。中世にいと多くの古文書にも登場してくる。鎌倉時代の豊後国田田帳には、大神荘は百七十町で、北條得宗家や大友系戸次氏が地頭となっている。その後、大友宗家や南北朝の騒乱以降、田原氏なども勢力を伸ばしつつ戦国時代へとつづいていく。和泉第2遺跡では、大友氏の鉄砲鍛冶と考えられる工藤姓伊東氏の一族による小規模な山城跡が見つかっている。この山城は山から延びる尾根を深い箱堀で切断している。

江戸時代になると、木下延利が日出藩3万石の近世大名として現在の日出・山香一帯を統治するようになり、



第1図 下野遺跡と周辺遺跡位置図

下野遺跡の南西約3キロの地点に近世城郭である日出（陽谷）城が造られる。この下野遺跡の辺りは日出藩の藤原村に組み込まれ、近代へとつづく。

3. 下野遺跡の立地・環境

下野遺跡の発掘地点は大分県速見郡日出町大字藤原字下野（しもの）5255-1と5254-27番地に所在する。

下野遺跡の所在する日出町は国東半島南部の付け根部に位置する。日出町の西部から北部にかけて十字原方面からのびる鹿鳴越山系が広がっている。ちょうど、下野遺跡の北側は鹿鳴越山系が東へ高度を減じていく部分であり、赤松峠と呼ばれている。こうした赤松峠の南斜面の丘陵は、幾つかの小河川による侵食で枝丘陵が形成されている。枝丘陵間をながれる小河川は南流あるいは東流し、別府湾北岸に達する。これらの枝丘陵の一つに下野遺跡は立地する。このような地形は下野遺跡の東方へしばらく続くが、南方面の地形はなだらかな台地状をしめす。

下野遺跡は金井川の支流の上流域に位置する。金井川はなだらかな台地と低地帯になると“弓”字状に蛇行を繰り返して、日出港の辺りで別府湾に達する。下野遺跡が立地する丘陵は金井川の支流西の浅い谷に臨む南北に長い丘陵である。

この丘陵は、南北200m、東西100mの平坦部を有し、遺跡調査地点の標高は99m～103.64mである。下野遺跡自体は丘陵の西側にある谷沿いから中央部にかけて位置し、東側には大津遺跡が位置する。丘陵の南側には、藤原小学校が位置する。調査前の現況は、大津遺跡のある場所は工場とその敷地で、下野遺跡の発掘地点とその北側は近世以降の墓地として利用されていた。下野遺跡周辺の土地利用は、谷を隔てた西側・北側の対面は山林で、谷部は水田・家屋である。その他の丘陵上も山林・果樹園利用が多い。

第2章 下野遺跡の発掘調査

1. 発掘調査概要

調査地は、やや南北に長い丘陵西半部の南半分に位置するが、南部から西半部一帯は近世から現代に至る周辺集落の墓地として利用されてきた。発掘地点においてもほぼ全域にわたって多数の墓が存在していた（第3図）。これらの墓は発掘を開始した時点には全て撤去されていた。このため発掘地点は荒廃した状況であった。また納骨塔の破壊埋設の際にも大きな掘削が行われていた。したがって近世墓における外表遺構である墓石と内部主体との位置関係は全く不明で、調査対象に含めることを断念した。

道路工事に伴う発掘調査直前に行われた墓地改葬の掘削によって、広範囲に荒廃していた。このため重機によって地表から包含層の残る約40cmの深さまでの土・石を除去した。縄文時代早期の包含層が露出した面に、発掘上の区画を設定した。設定にあたっては、国土座標系の南北・東西方向を基準として、東西を10m・南北を8mの長方形区画とした。この面は弥生時代中期の遺構検出面でもある。

層の体積は、約40cm前後の攪乱層、25cm前後のクロボク層、10cm前後の漸移層、以下はローム層となるが、ローム層まで著しく攪乱された場所が多い。

2. 旧石器時代後期・縄文時代草創期初頭

旧石器時代後期の遺物はC・D-3区とB-4・5区中心に分布しているが、縄文時代早期の遺物と混在した状況で見つかった。しかし、遺物に観られる風化や旧石器時代後期・縄文時代草創期初頭にしか利用しない流紋岩、あるいは特徴的な遺物によって抽出した。またその分布も密集した状況ではなく、散漫な分布といえる（第



第2図 下野遺跡周辺の地形と調査区 ※スクリーン部分が発掘区

4 図)。遺物の分布にブロック状の有意なまとまりはないが、B5区で局所的に3点の細石刃核が集中している。遺物の量は以下に示す表のとおりである(第1表)。

ナイフ形石器は一側縁加工のものと(第5図7・8、第6図6)、二側縁加工のものがある(第5図1～4・6、第6図1)。前者には国府型ナイフ形石器と思われるもの(第5図7)、後者には狸谷型ナイフ形石器に属するものがある(第5図1・2)。

剥片尖頭器はいずれも石刃を加工したものである。一例は基端部を除き、回りを整形するが、基部両側だけでなく体部両側にも抉りをいれている(第6図2)。もう一例は、先細りの石刃を用いている(第6図3)。

角錐状石器は二例とも小型の例で(第6図4・5)、いずれも欠損は古い。うち一例は裏面と平行する稜上の平坦剥離が観察される(第6図4)。その他、未成品と思われる大型例と(第7図1)、整形途上のフラグメントもある(第7図3)。

細石刃核は4例あるが、うち二例は剥片素材の例で縦方向の打面作出剥離痕がある(第8図2・3)。もう二例は、角柱状の体形を示し、明瞭な細石刃剥離痕はないものの剥離の進行状況(消費)から細石刃を生産したと思われる(第8図4・5)。細石刃剥離直前の母核もあり、これは船底状の形を示す(第8図6)。

3. 縄文時代早期

遺構

縄文時代早期の遺構・遺物はB5区・C5区・D5区より西側で、F4区・E3区より北側の広い範囲で遺物が大量に見ついている(第13図、第28図)。墓地の掘削によって攪乱されていないクロボク層のほとんどから見ついている状況である。北側の未調査部分方向にむけて、遺物が増加する傾向にある。遺物・遺構は土器と石器、集石に限定される。とりわけ遺物は旧石器時代後期の遺物と混在した状況であるが、風化と石材の特徴から区分した。

集石はSC1～SC4までの4基が見ついている。C3区とD3区の境界でSC4、F5区の北西部でSC2、E5区の北西部でSC1、D3区の北西部でSC3が見ついている(第12図)。

SC1 大小27個の安山岩角礫からなる。密集度は低く、焼けている(第12図)。

SC2 大小7個の安山岩角礫からなる。密集度は低く、焼けている(第12図)。

SC3 大小32個の安山岩角礫からなる。密集度はやや高く、焼けている(第12図)。

SC4 大小27個の安山岩角礫からなる。密集度は低く、焼けている(第12図)。

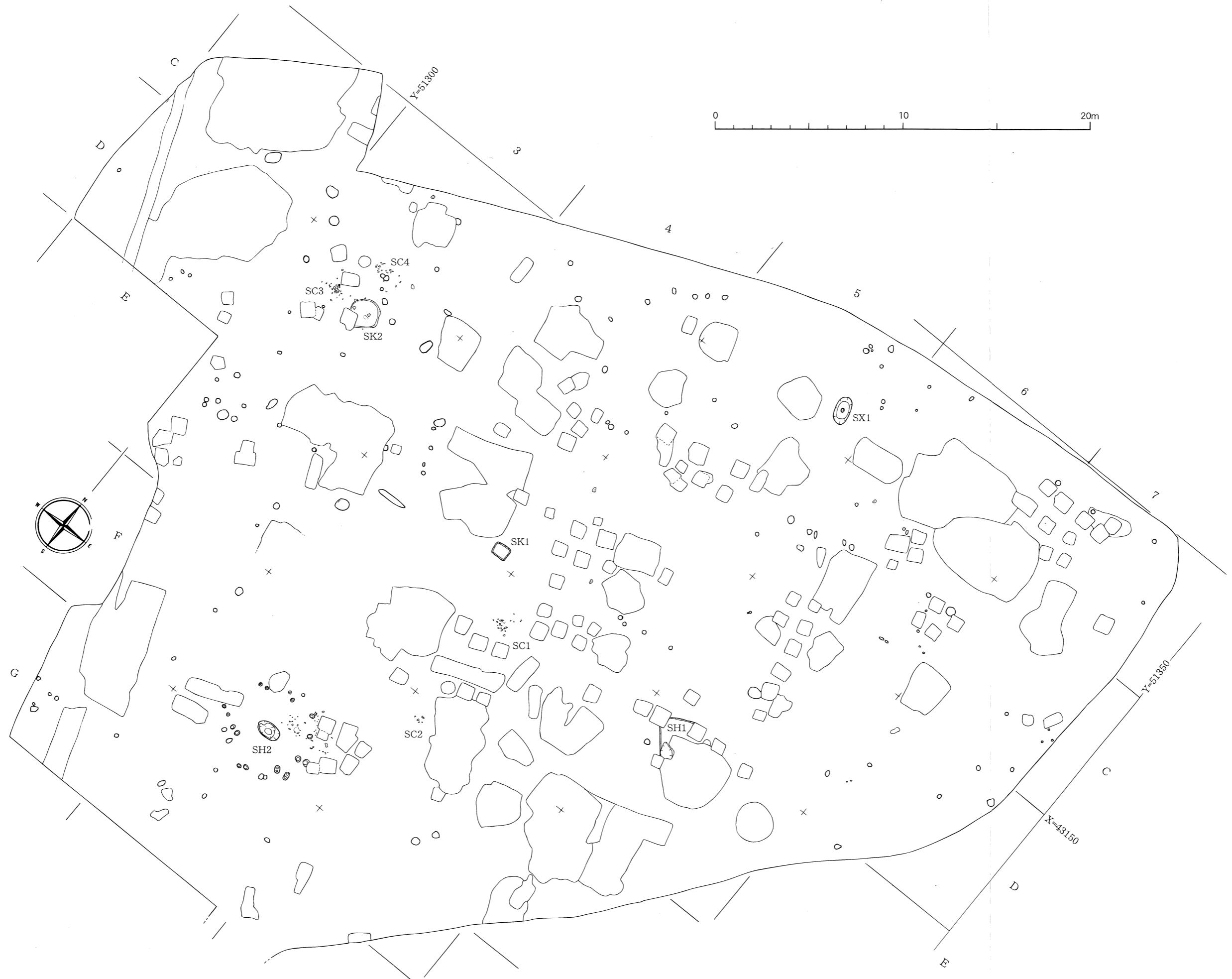
通常、縄文時代早期の遺跡においては、集石にかぎらずに多くの焼礫が散在するのが普通であるが、SC1～SC4までの集石以外にはほとんど見つからなかった。

陥し穴 発掘区の北部でB5区の南西部にあたる部分で陥し穴が見ついている(第3図)。主軸を西へ15°傾けた方位である。ほぼ南北に長い丘陵の方位に沿うようであり、また丘陵の地勢がやや高度を減じる場所にあたる。遺構検出面は、クロボク層とローム層との漸移層内である。陥し穴の規模は、長軸1.52m、短軸0.83m、の長円形である。検出面から、深さ1.07mに長軸0.98m、短軸0.61mの長円形を示す底面がある。底面の中央部に長軸0.20m、短軸0.18mの逆茂木用の穴があり、床面からの深さは0.36mである(第37図)。土坑の上半には縄文時代早期の包含層と同じクロボク層が堆積しており、縄文時代早期に属する無紋様土器が見ついている。

遺物

遺物には土器と石器があり、その内訳は表に示すとおりである(第2表、第22表)。土器の多くは無紋様土器で、有紋様の土器である押型紋土器は少量である。押型紋土器は、古相の川原田式、稻荷山式、早水台式土器にほぼ限定される。

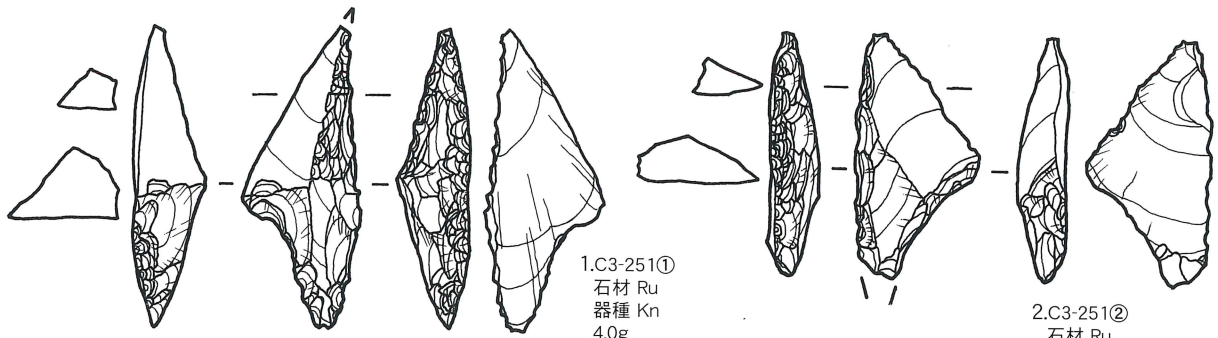
無紋土器は、厚手の例と、薄手の例からなる。器形は口縁部付近が、直口～やや内傾する。底部は尖底である。土器の器面調整は条痕とナデによる。



第3図 下野遺跡遺構分布図 ※方形の土坑は、近世・現代墓、大型の土坑は破壊した納骨塔埋納坑(攪乱)

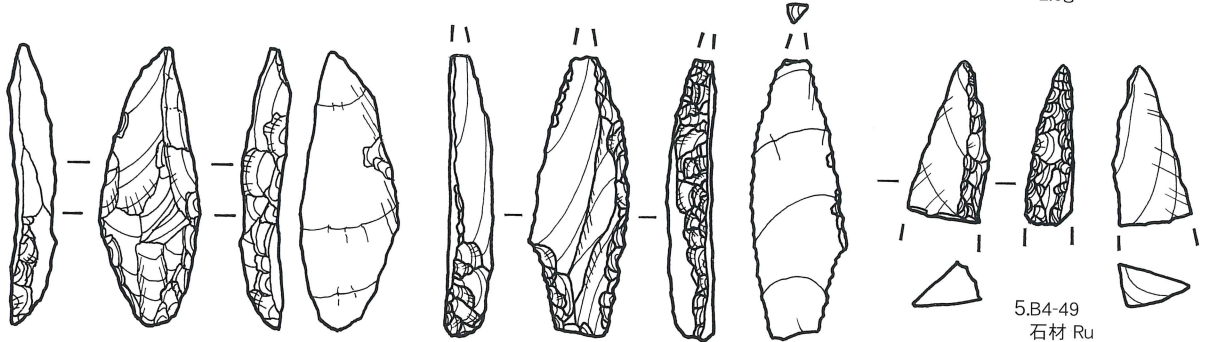


第4図 旧石器時代後期・縄文時代草創期の遺物分布



1.C3-251①
 石材 Ru
 器種 Kn
 4.0g

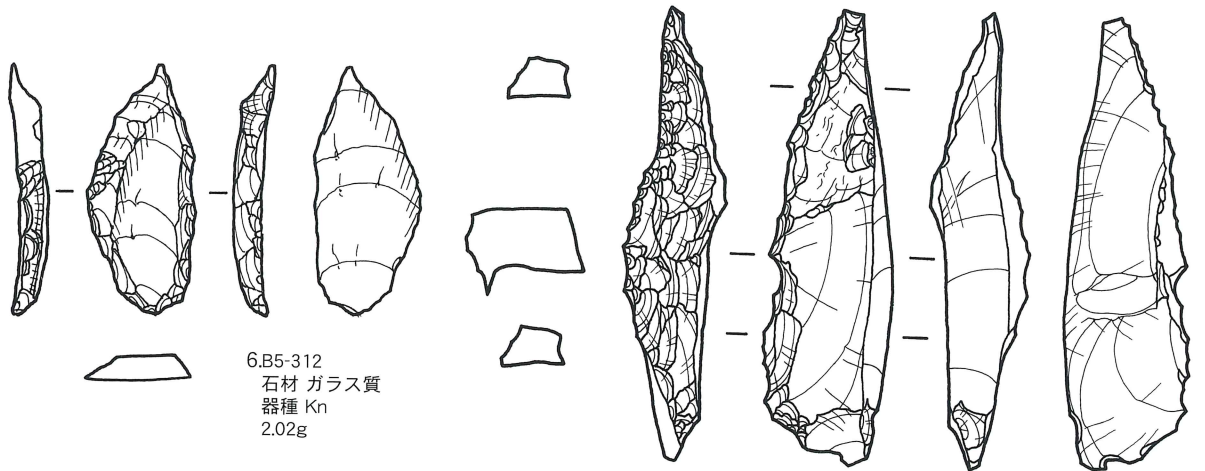
2.C3-251②
 石材 Ru
 器種 Kn
 2.6g



3.C4-446
 石材 ガラス質
 器種 Rn
 2.57g

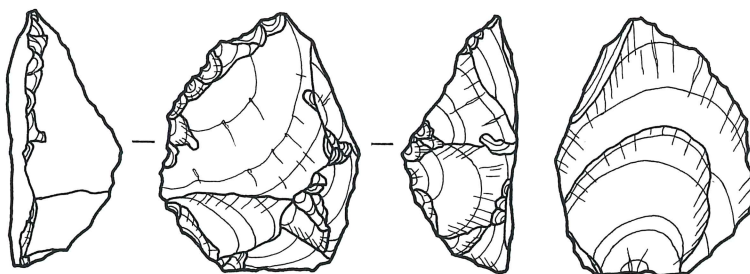
4.D3-343
 石材 Ru
 器種 Kn
 2.53g

5.B4-49
 石材 Ru
 器種 Kn



6.B5-312
 石材 ガラス質
 器種 Kn
 2.02g

7.D5-203
 石材 Ru
 器種 Kn国府型
 9.81g

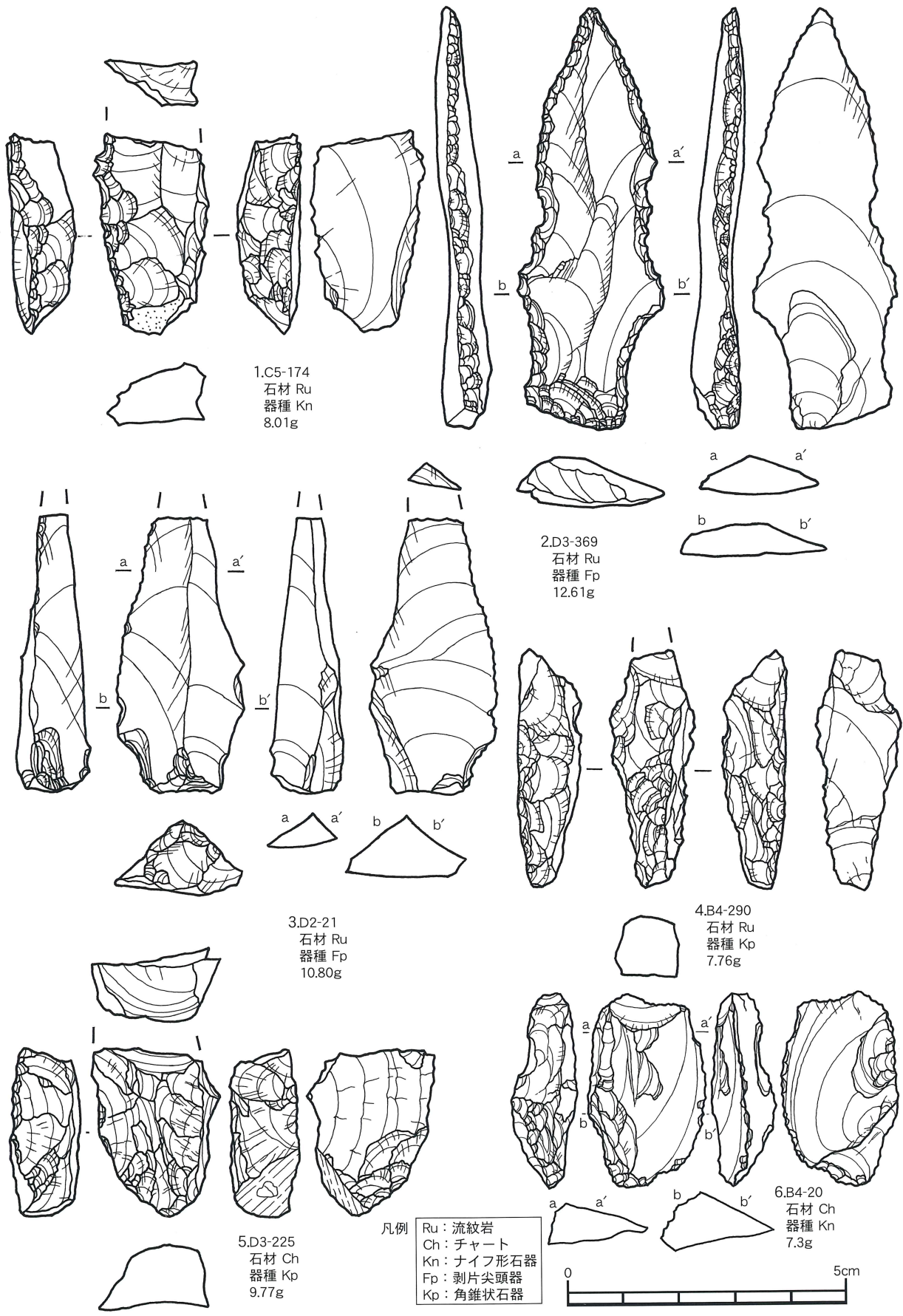


8.C2-39
 石材 ガラス質
 器種 Kn
 8.91g

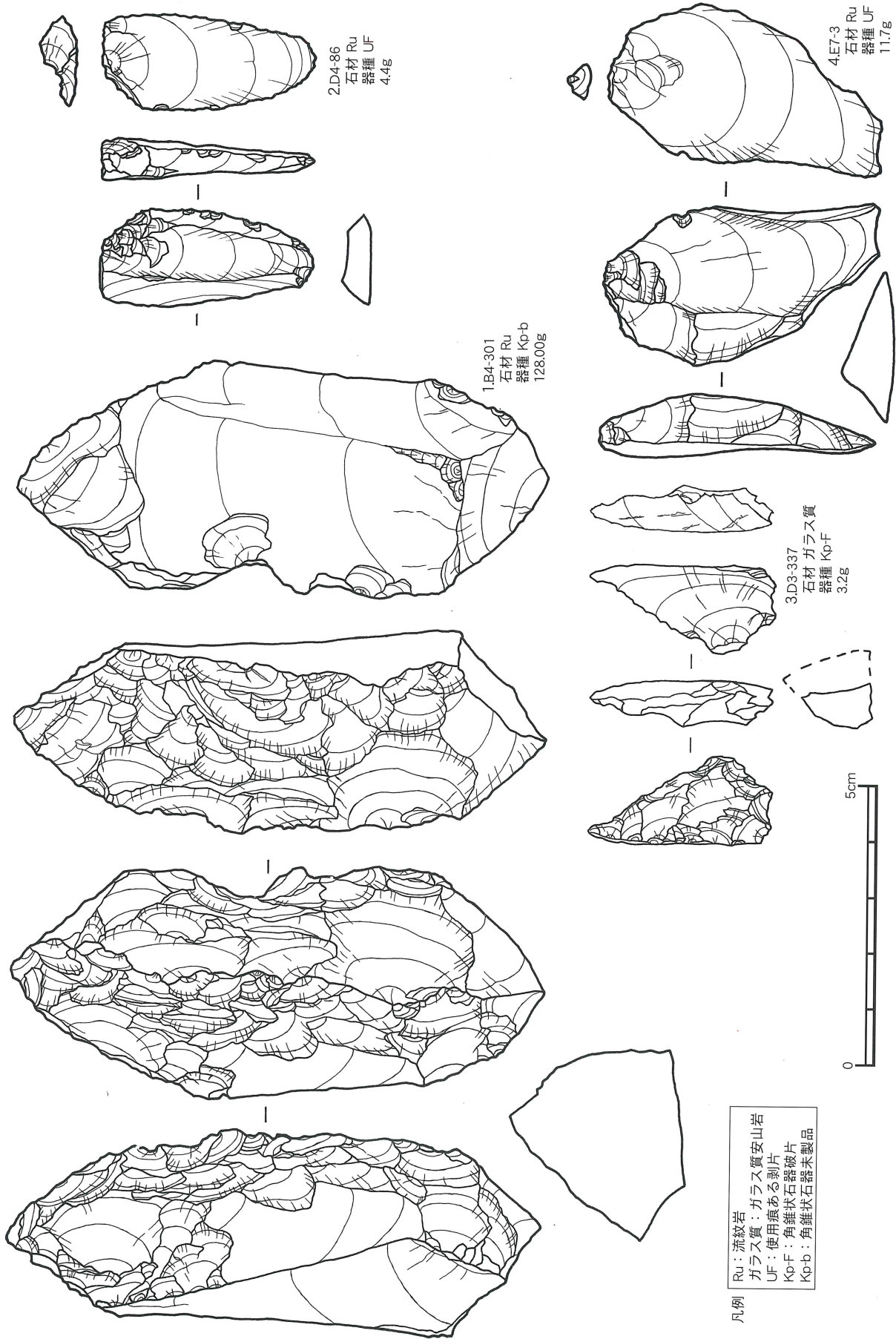
凡例 Ru: 流紋岩
 ガラス質: ガラス質安山岩
 Kn: ナイフ形石器



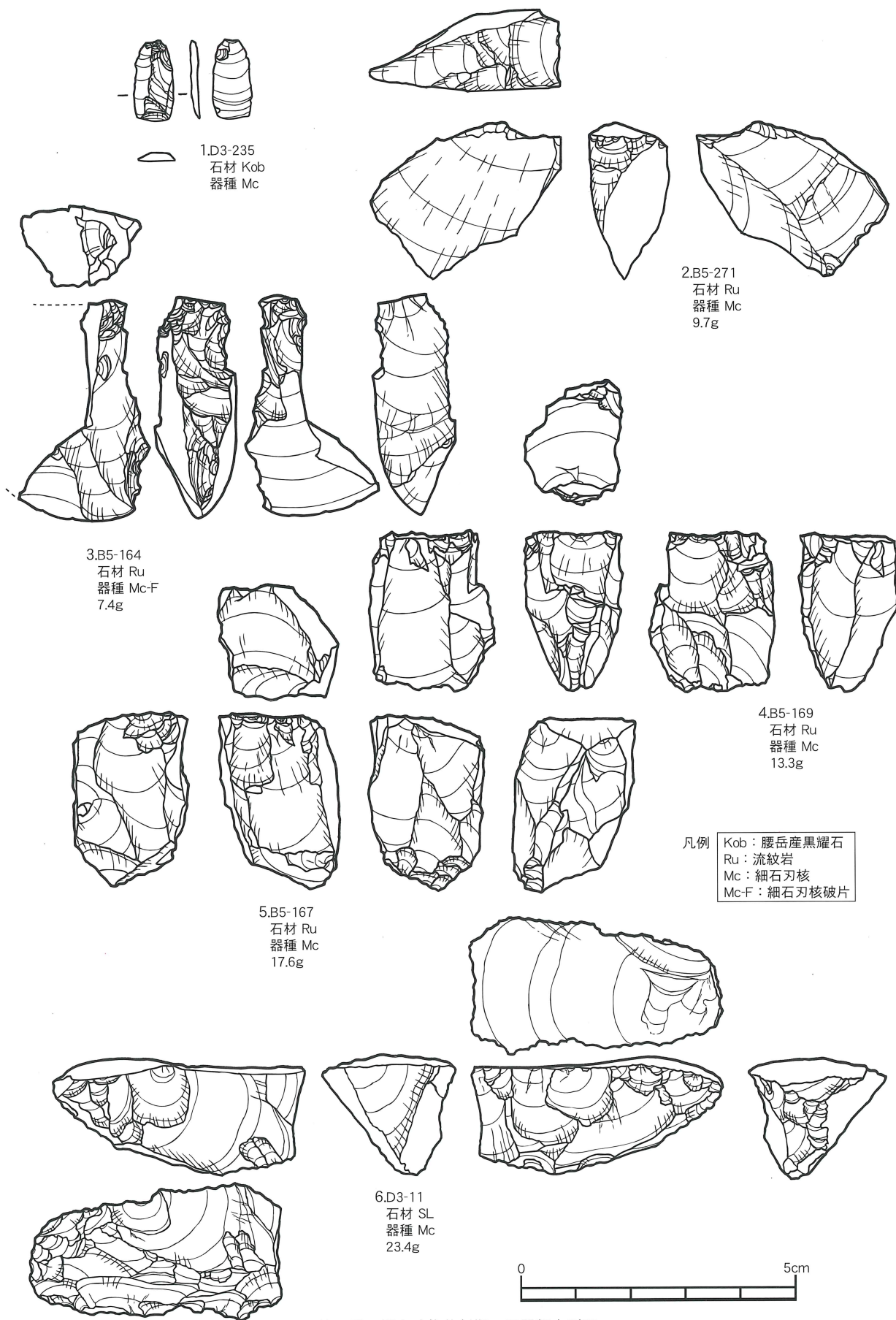
第5図 旧石器類実測図



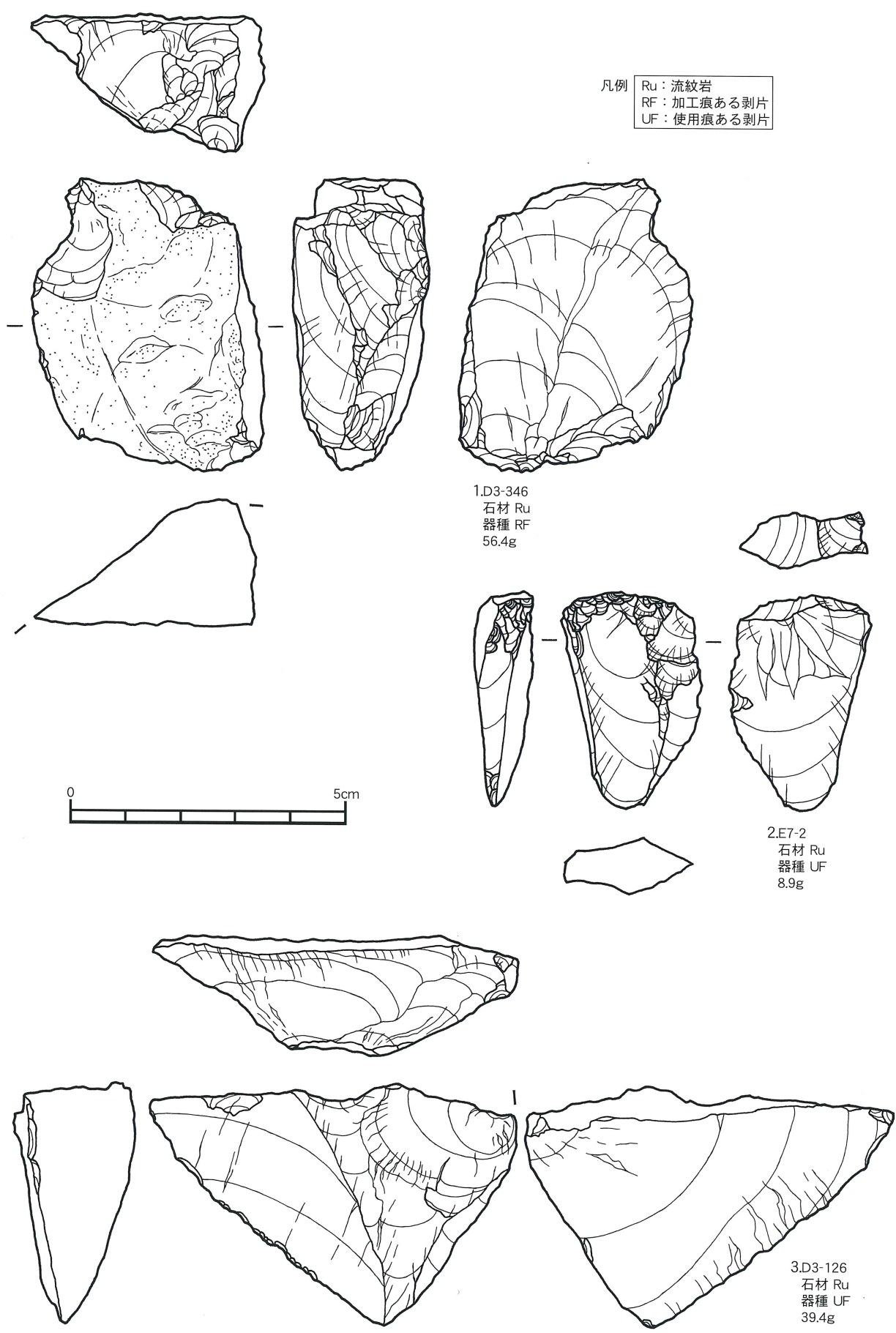
第6図 旧石器類実測図



第7図 旧石器類実測図



第8図 縄文時代草創期の石器類実測図



凡例 Ru：流紋岩
 RF：加工痕ある剥片
 UF：使用痕ある剥片

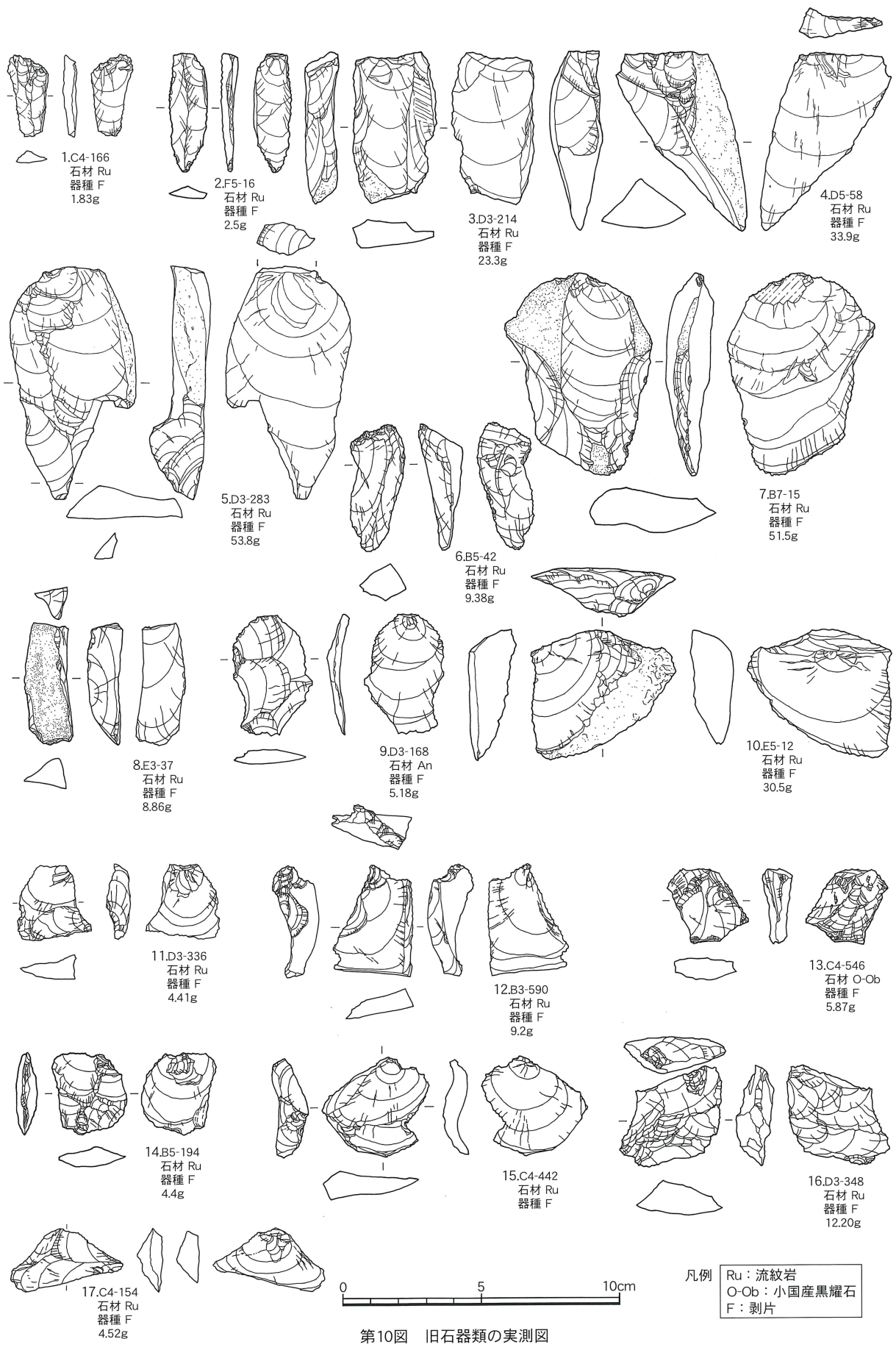
1.D3-346
 石材 Ru
 器種 RF
 56.4g

2.E7-2
 石材 Ru
 器種 UF
 8.9g

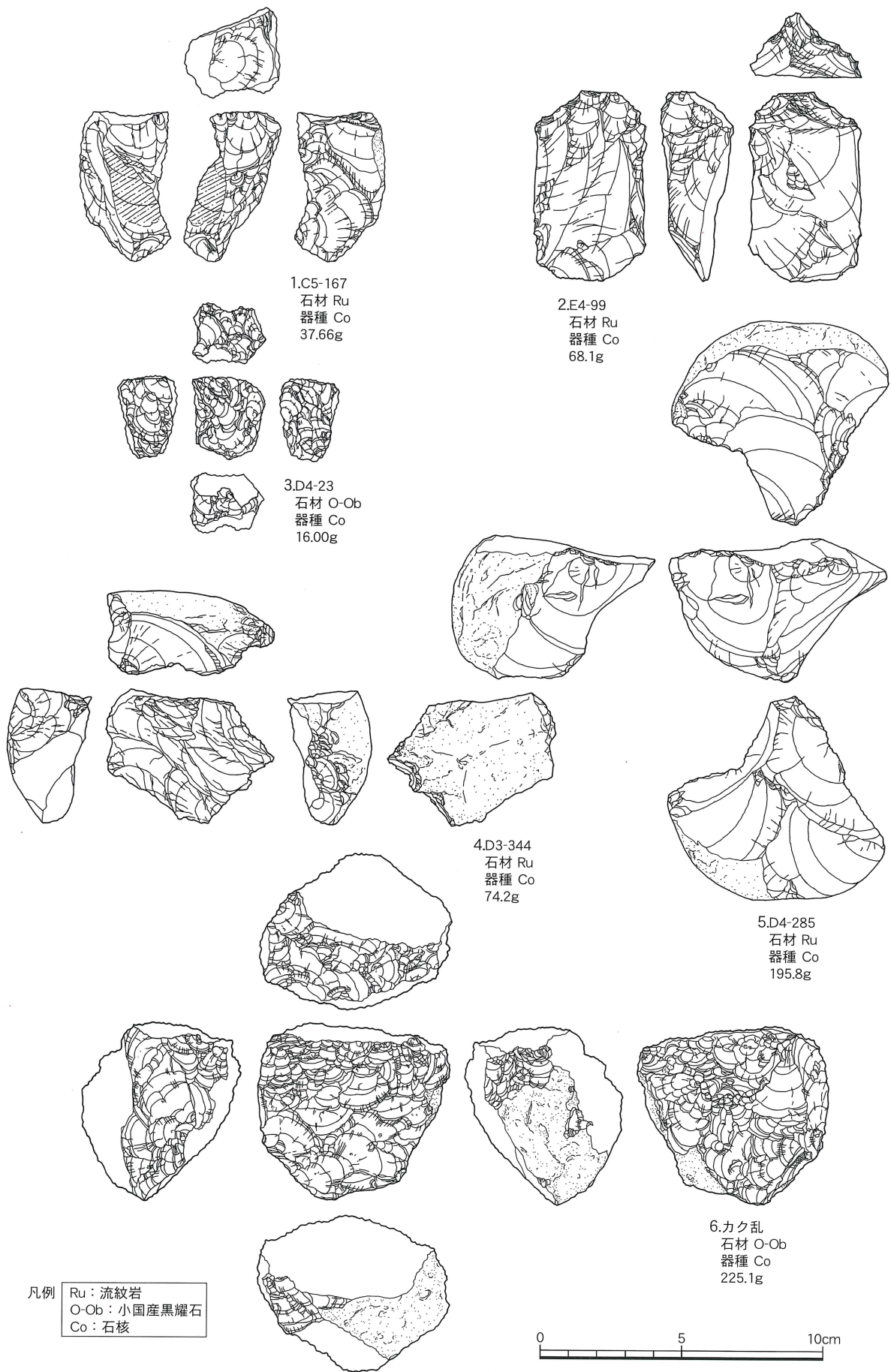
3.D3-126
 石材 Ru
 器種 UF
 39.4g

0 5cm

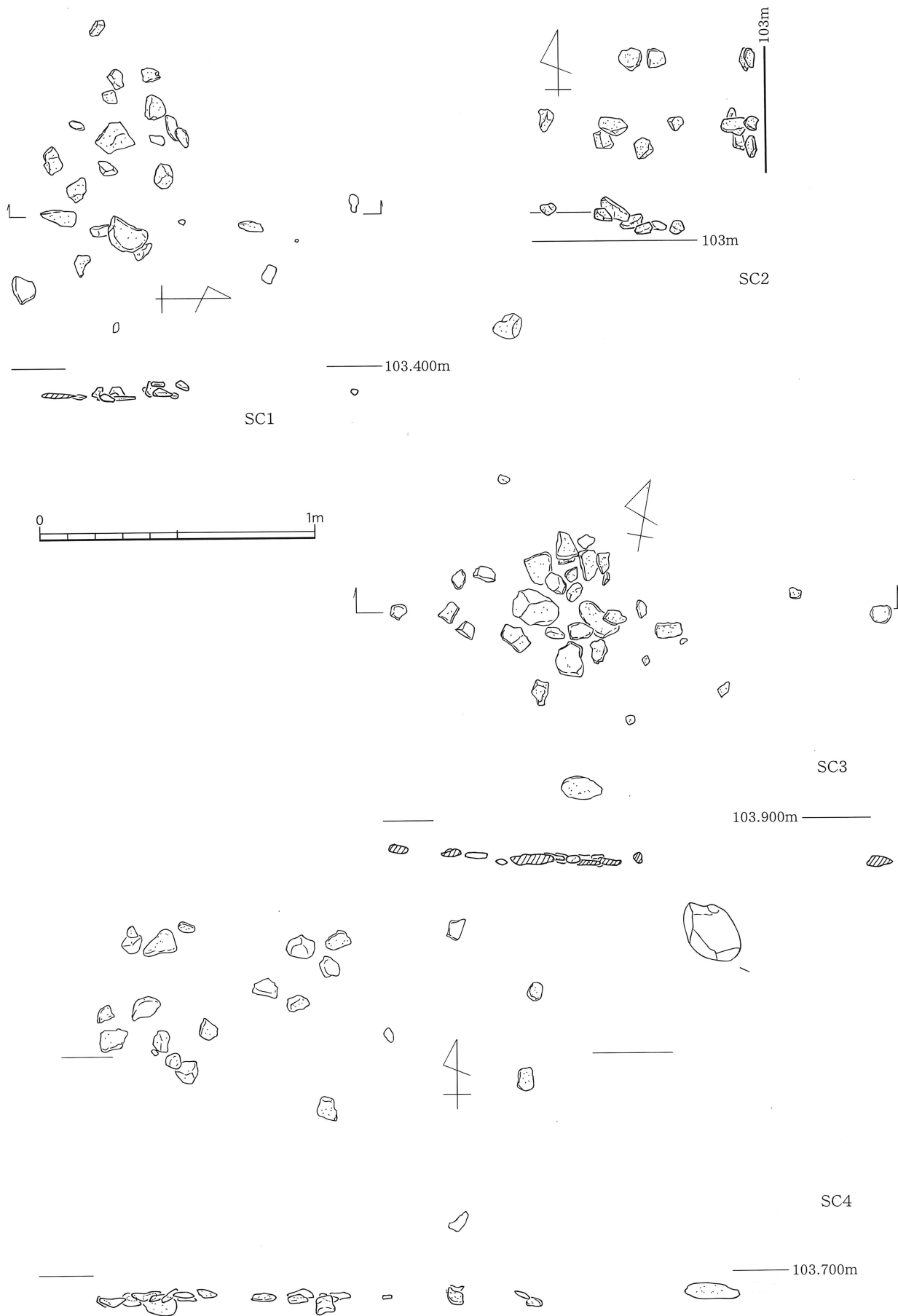
第9図 旧石器類の実測図



第10図 旧石器類の実測図



第11図 旧石器の類実測図



第12図 縄文時代早期の集石実測図

石器類は石鏃・石錐・スクレイパーが代表的な石器で、その内訳は第2表のとおりである。石鏃は抉りの深いものが大半である。抉りの深い石鏃の多くは、基端部が内側上方へ斜行する平面形である。抉りの浅い石鏃は正三角形の小型の例で、かつて「細石鏃」と呼ばれたものに相当する(第29図1)。その他、大型の例があるが、加工の粗いものが多く、加工途上で破損したものや、未成品状態のものと思われる(第29図14、第30図1～5)。

石核や剥片類を観察すると、不定形剥片を主目的に剥離が進められたようで、一定の形を示す剥片はない。したがって、打面を転移した石核も多い。

石材は圧倒的に姫島産のガラス質安山岩で、ついでチャート、腰岳産黒耀石となる。石鏃などにガラス質安山岩を用いる傾向があるが、スクレイパー類はチャートを用いる傾向がある。ガラス質安山岩はもろい石質である。

第1表 旧石器時代後期・縄文時代早期の石器類出土量

石材	種類	剥片	石核	細石核	チップ	ナイフ	UF	角錐状石器	細石刃	加工痕ある剥片	剥片尖頭器	計
黒耀石(姫島)	個数											1
	重量											0.6
流紋岩	個数	22	3	5	2	4	3	3		1	2	45
	重量	284.09	338.47	85.42	0.9	15.49	51.63	145.57		56.41	23.41	1001.39
黒耀石(腰岳)	個数								1			1
	重量								0.1			0.1
頁岩	個数					3		1				4
	重量					13.5		3.25				16.75
黒耀石(象ヶ鼻)	個数				1							1
	重量				—							—
スレート	個数			1								1
	重量			23.43								23.43
チャート	個数					1		1				2
	重量					7.34		9.77				17.11
黒耀石(小国)	個数	1	1									2
	重量	5.87	16.0									21.87
安山岩	個数	1										1
	重量	5.18										5.18
サヌカイト	個数	2										2
	重量	3.6										3.6
計	個数	26	4	6	3	8	3	5	1	1	2	59
	重量	298.74	354.47	108.85	0.9	36.33	51.63	158.59	0.1	56.41	23.41	1089.43

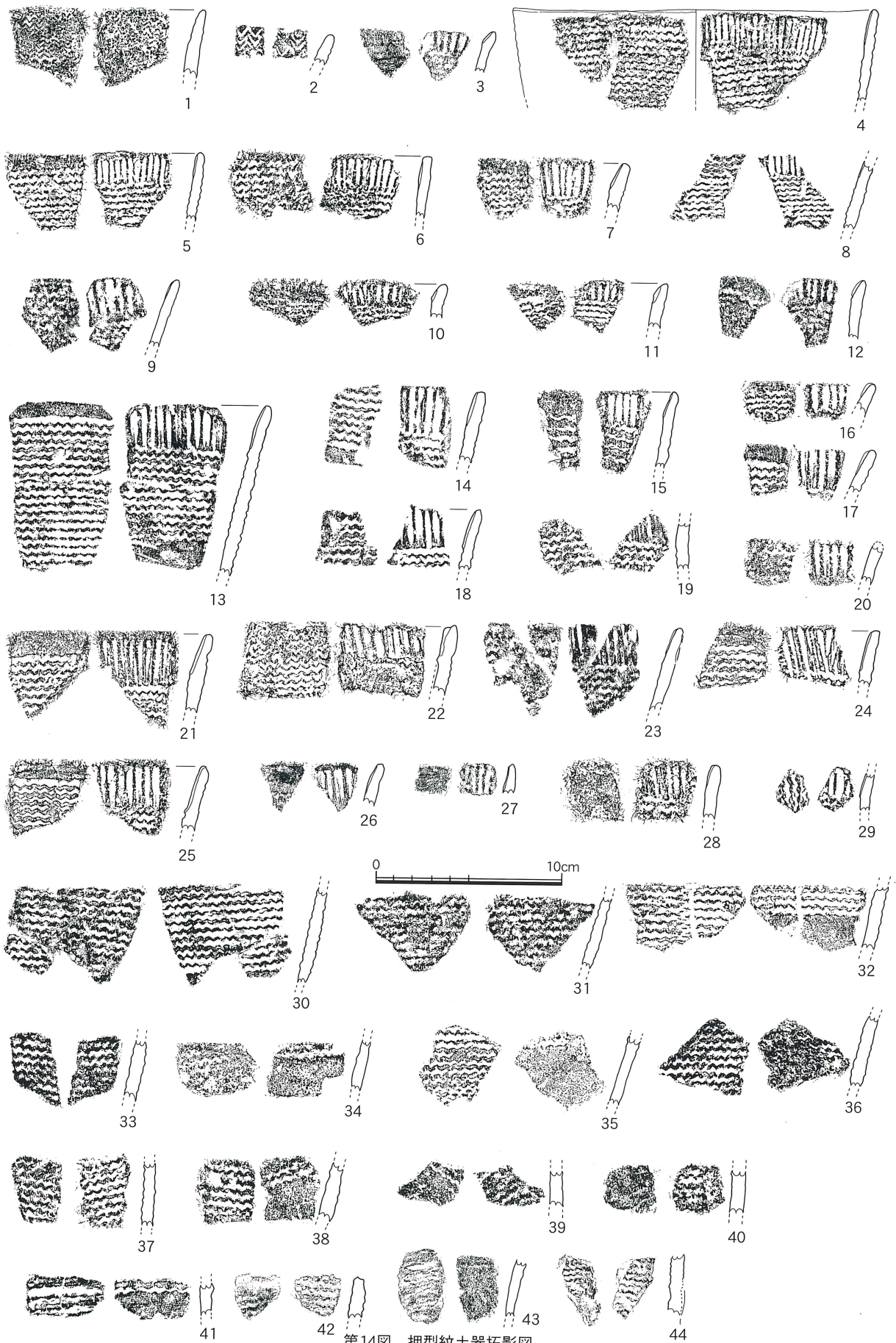
第2表 縄文時代早期の石器類出土数

※ガラス質安山岩→角閃石玢岩、角閃石安山岩

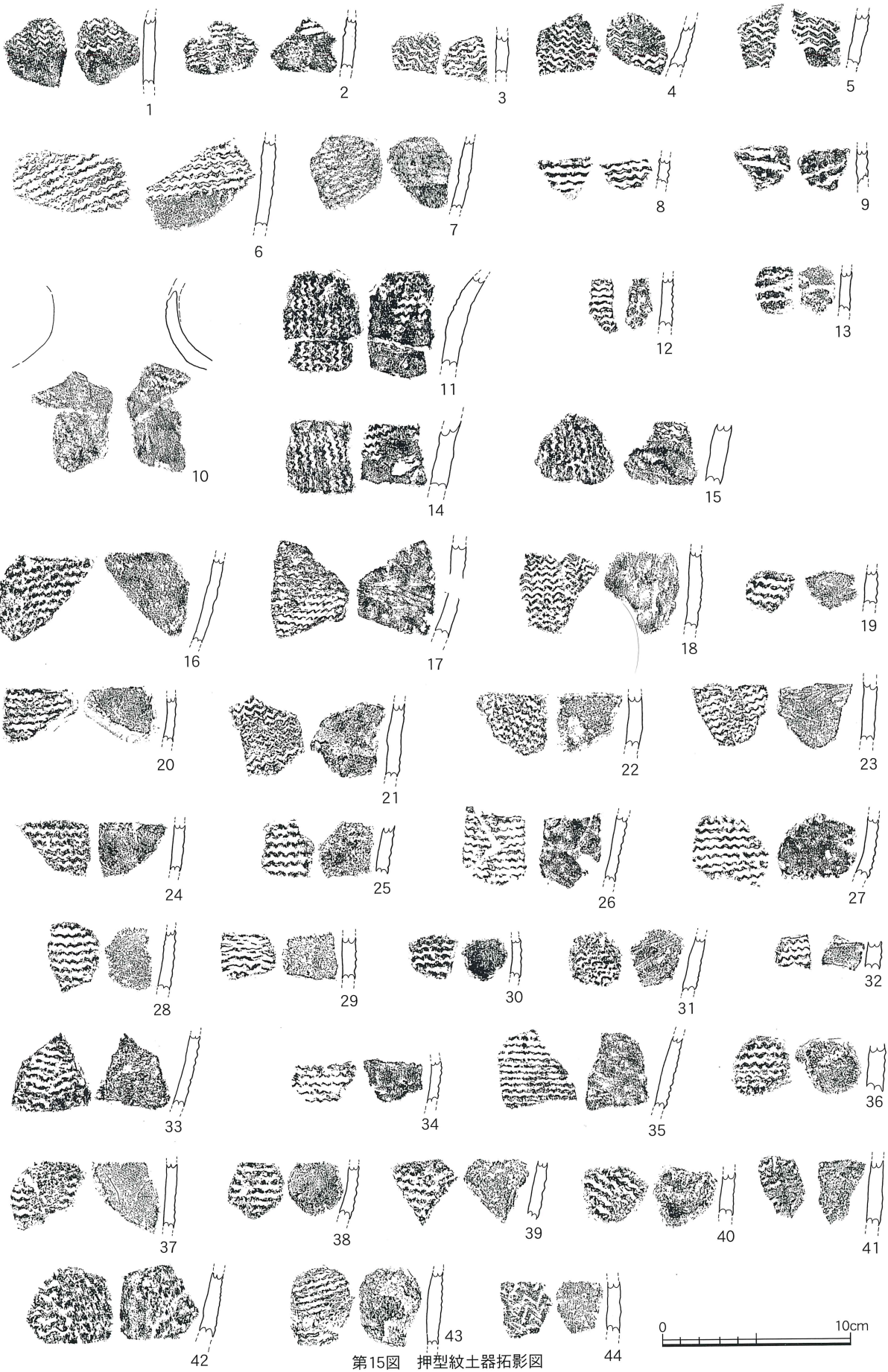
石材	種類	敲石	チップ	剥片	UF	石鏃	スクレパー	石錐	石核	石鏃	RF	礫	石皿	計
安山岩	個数	3		3		1		3					1	11
	重量	1733.5		26.94		2.65		1421.6					1580.8	4765.49
ガラス質安山岩	個数		65	75	1	6	2	1	10	2	1			162
	重量		58.5	305.12	17.31	8.18	31.51	5.92	240.34	1.78	20.3			688.96
砂岩	個数		4	2		1		1	1					9
	重量		3.5	8.0		1.8		357.3	48.73					419.33
メノウ	個数			3					1					4
	重量			16.8				46.22						63.02
チャート	個数		44	19	5	5	2		2		1	1		79
	重量		29.32	185.66	33.94	10.59	59.81		25.91		8.24	7.3		360.77
黒耀石(姫島)	個数		7	8	1	3		1						20
	重量		11.8	38.67	1.4	2.65		0.6						55.12
硅化木	個数						1		2					3
	重量						7.65		108.4					116.05
黒耀石(象ヶ鼻)	個数			1		1								2
	重量			1.2		0.91								2.11
黒耀石(腰岳)	個数		4	8		7	1		2					22
	重量		2.2	29.05		9.78	3.51		9.28					53.82
鉄石英	個数		2	6										8
	重量		2.1	37.15										39.25
サヌカイト	個数								1					1
	重量								22.42					22.42
石英	個数								1					1
	重量								108.13					108.13
頁岩	個数						1							1
	重量						24.24							24.24
計	個数	3	126	125	7	24	7	6	20	2	2	1	1	324
	重量	1733.5	107.42	648.59	52.65	36.56	126.72	1785.42	609.43	1.78	28.54	7.3	1580.8	6718.71



第13図 縄文時代早期の土器分布

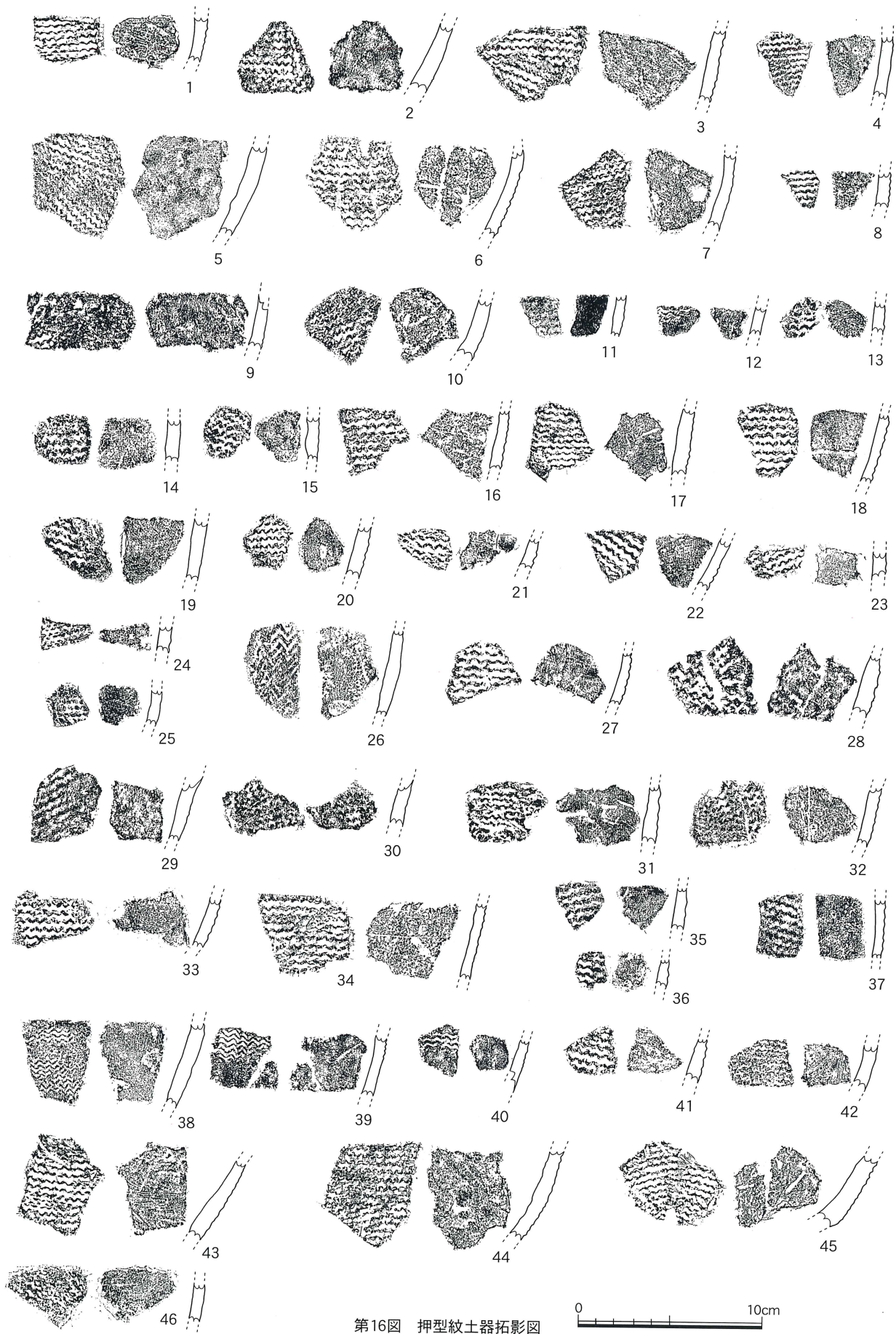


第14图 押型紋土器拓影图

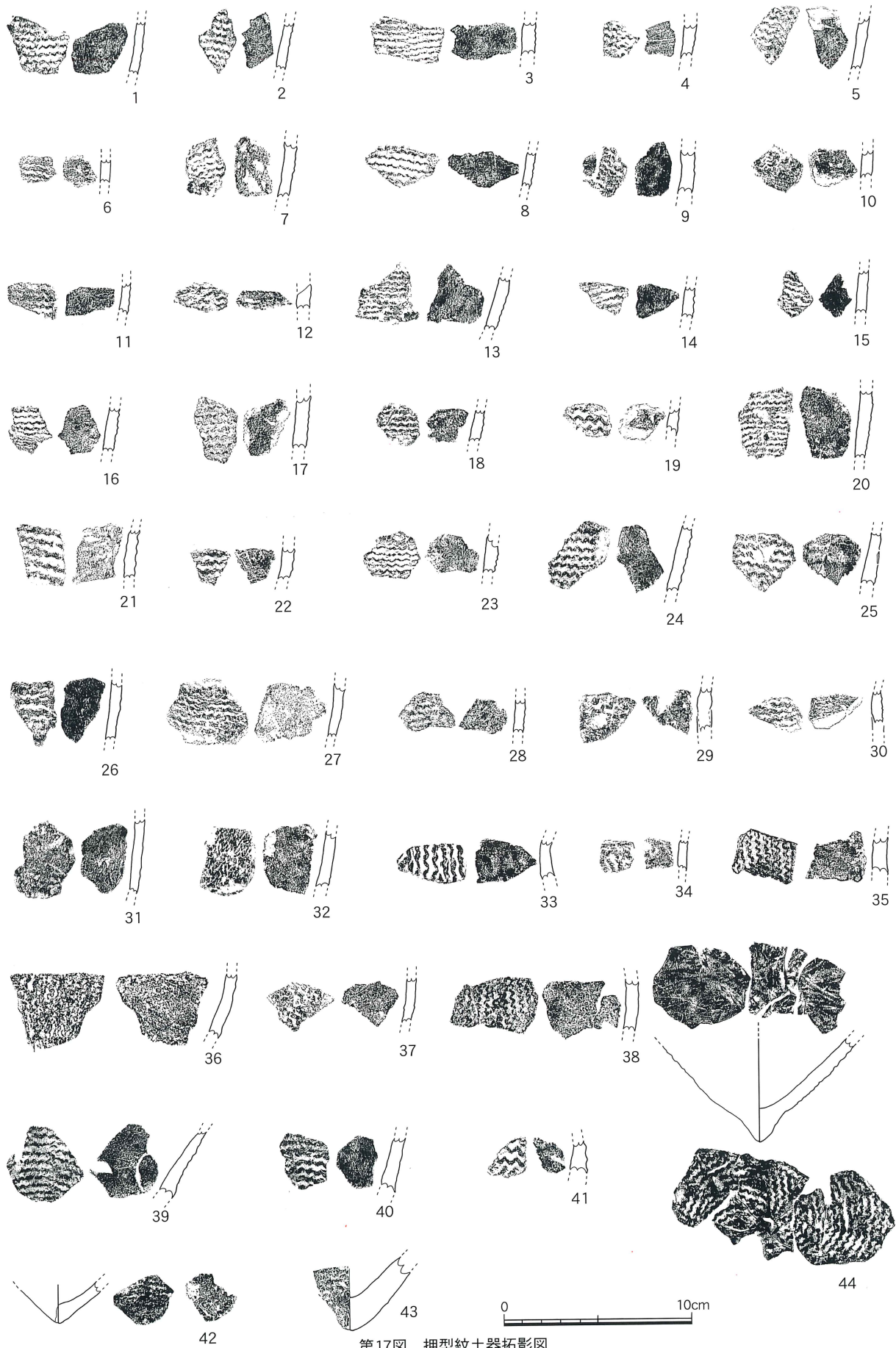


第15图 押型紋土器拓影图

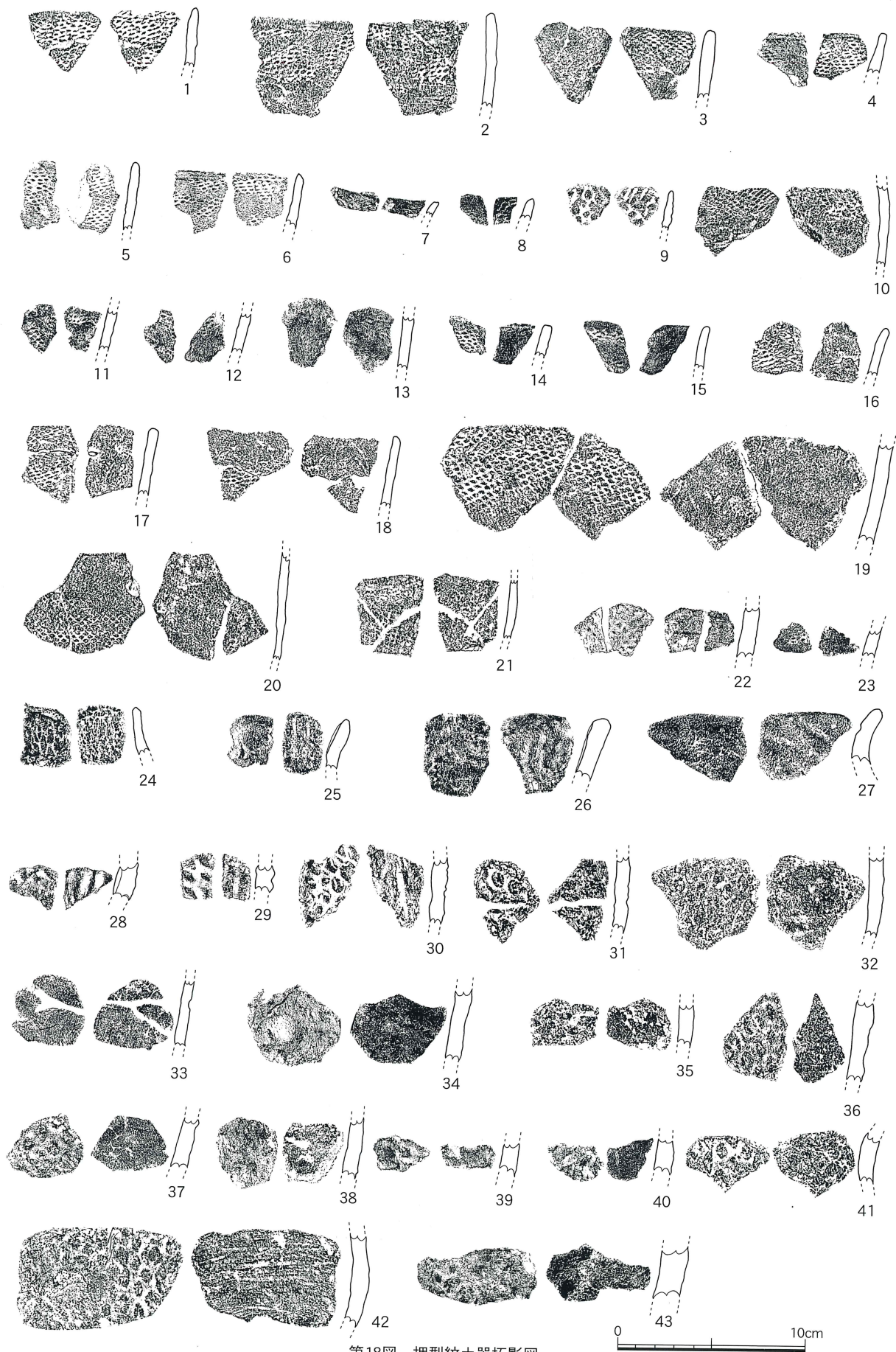
0 10cm



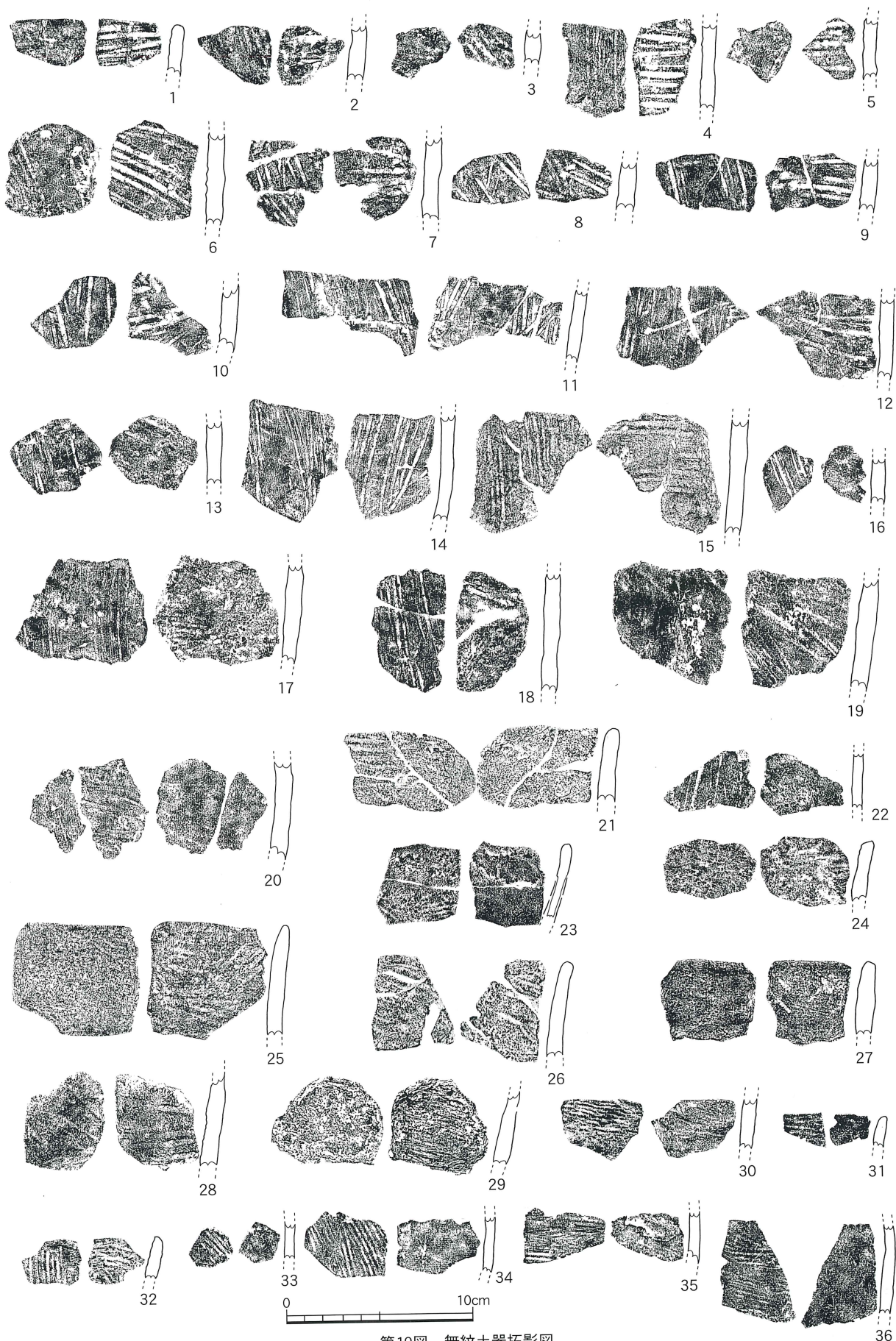
第16图 押型紋土器拓影图



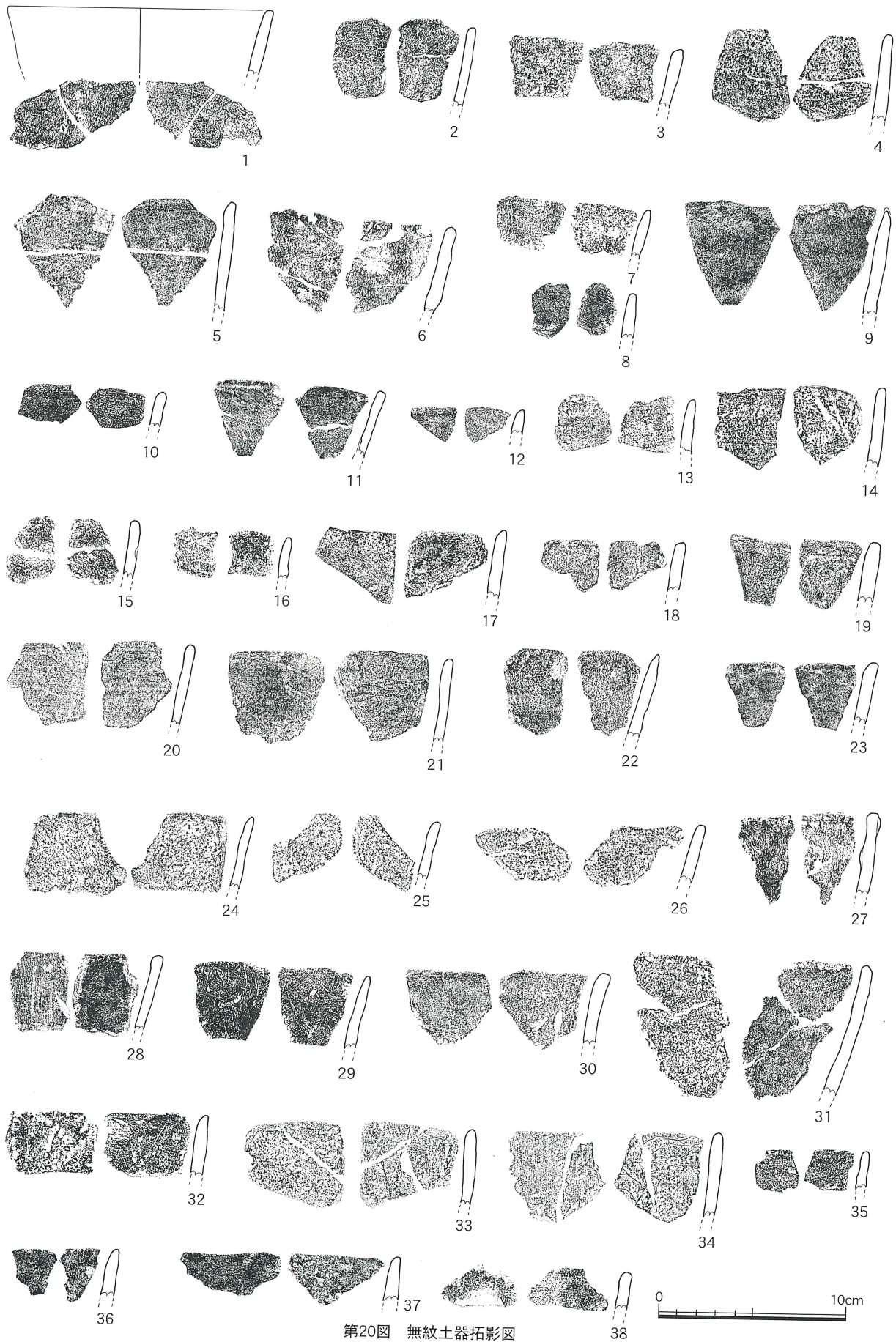
第17图 押型紋土器拓影图



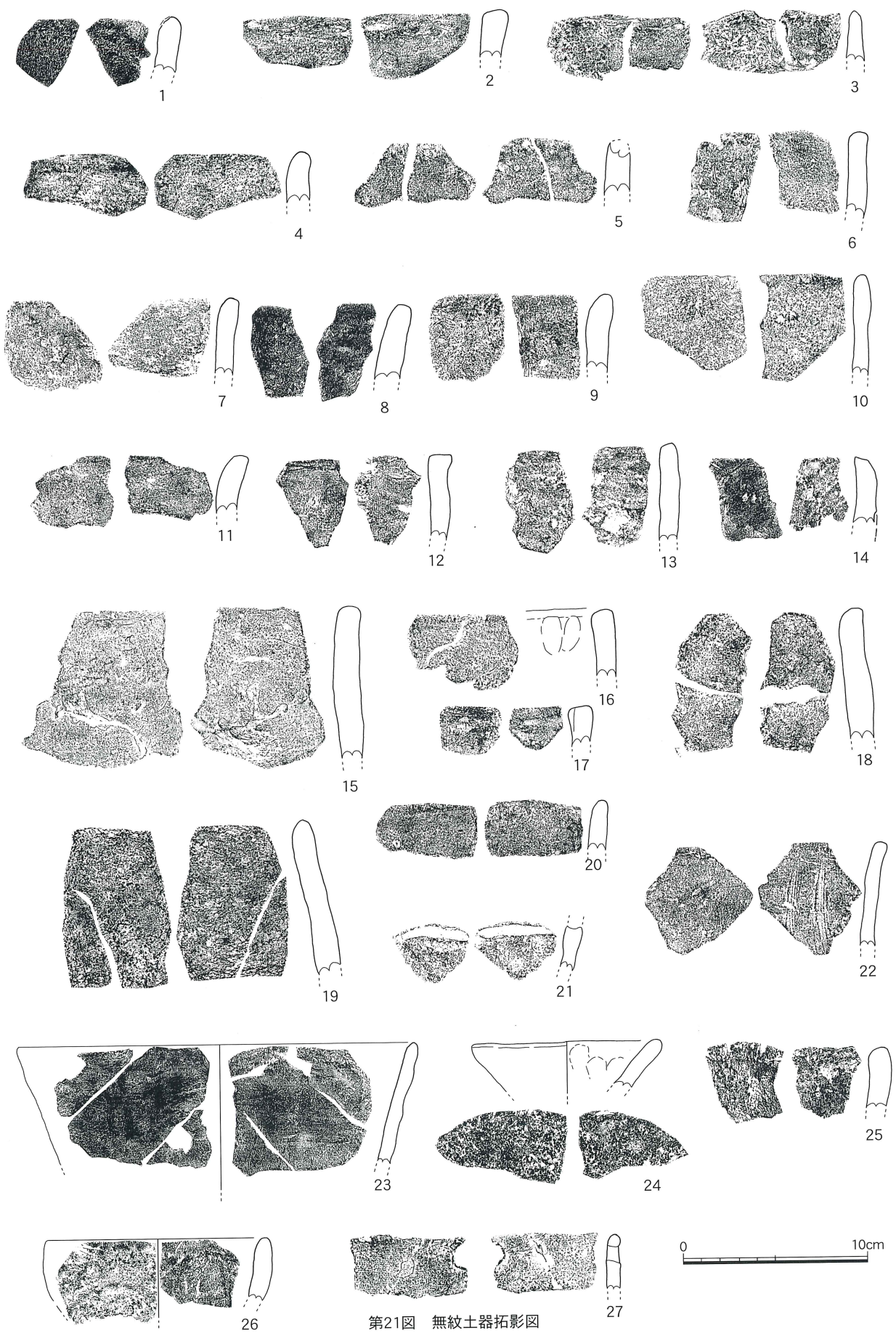
第18图 押型紋土器拓影图



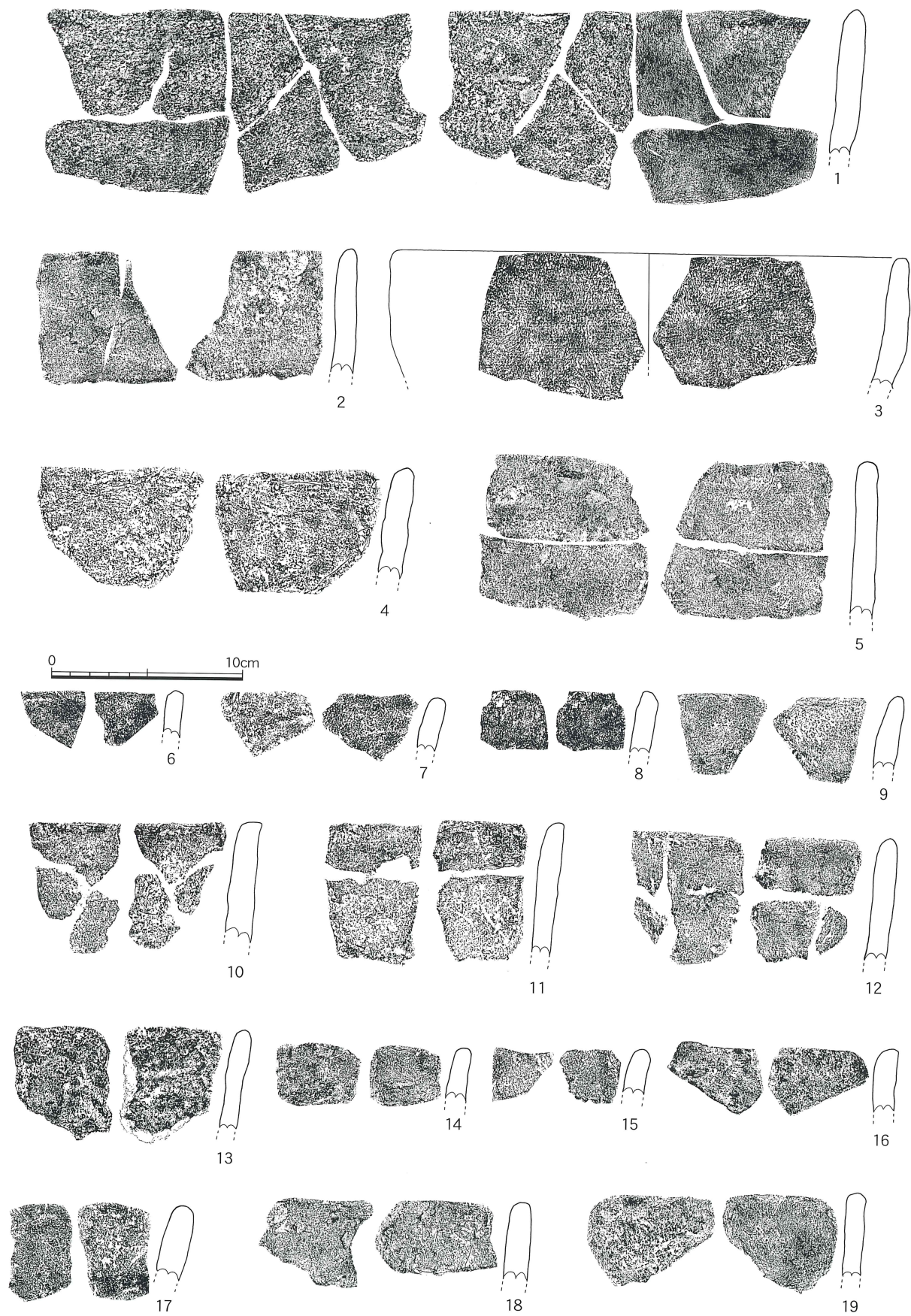
第19図 無紋土器拓影図



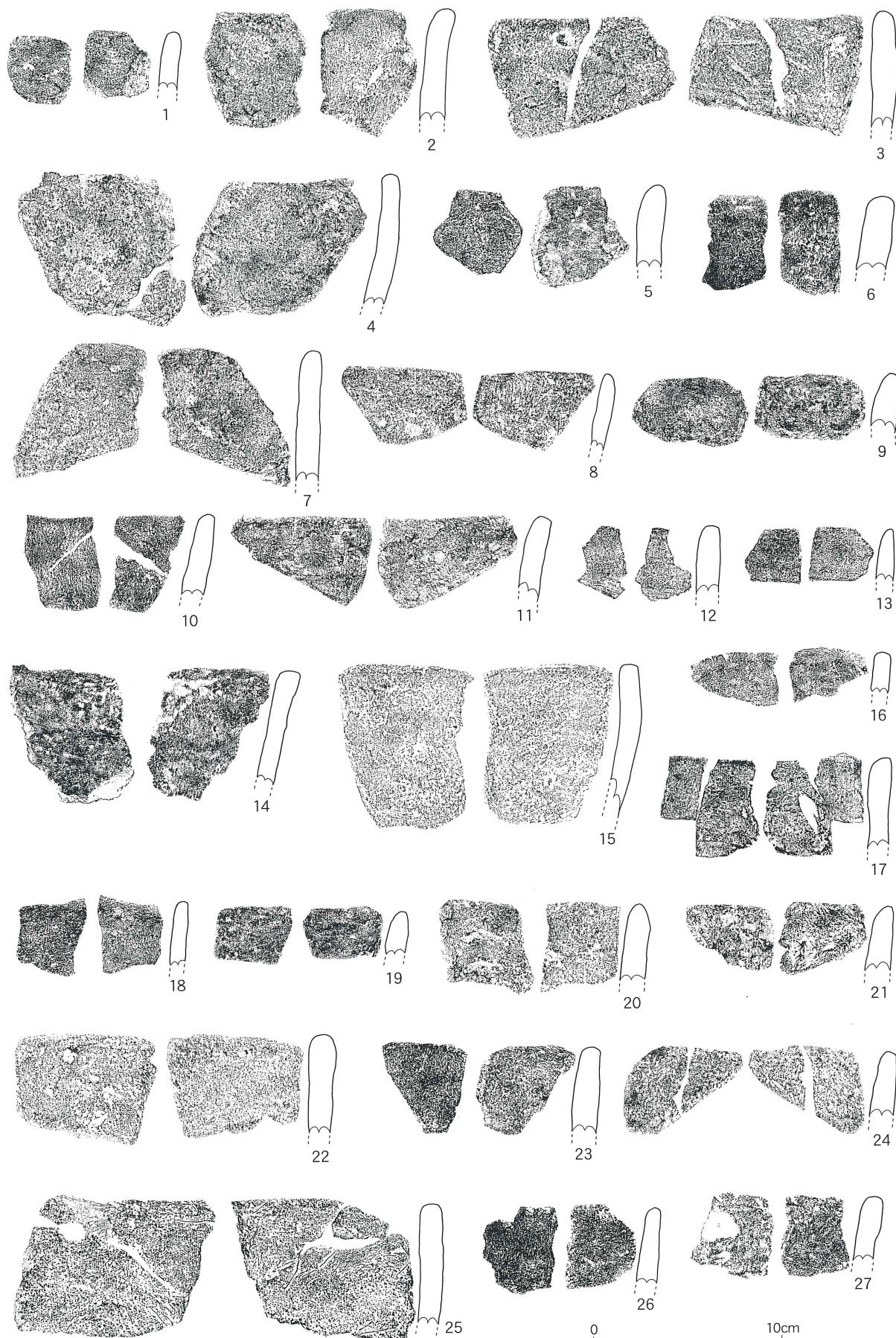
第20図 無紋土器拓影図



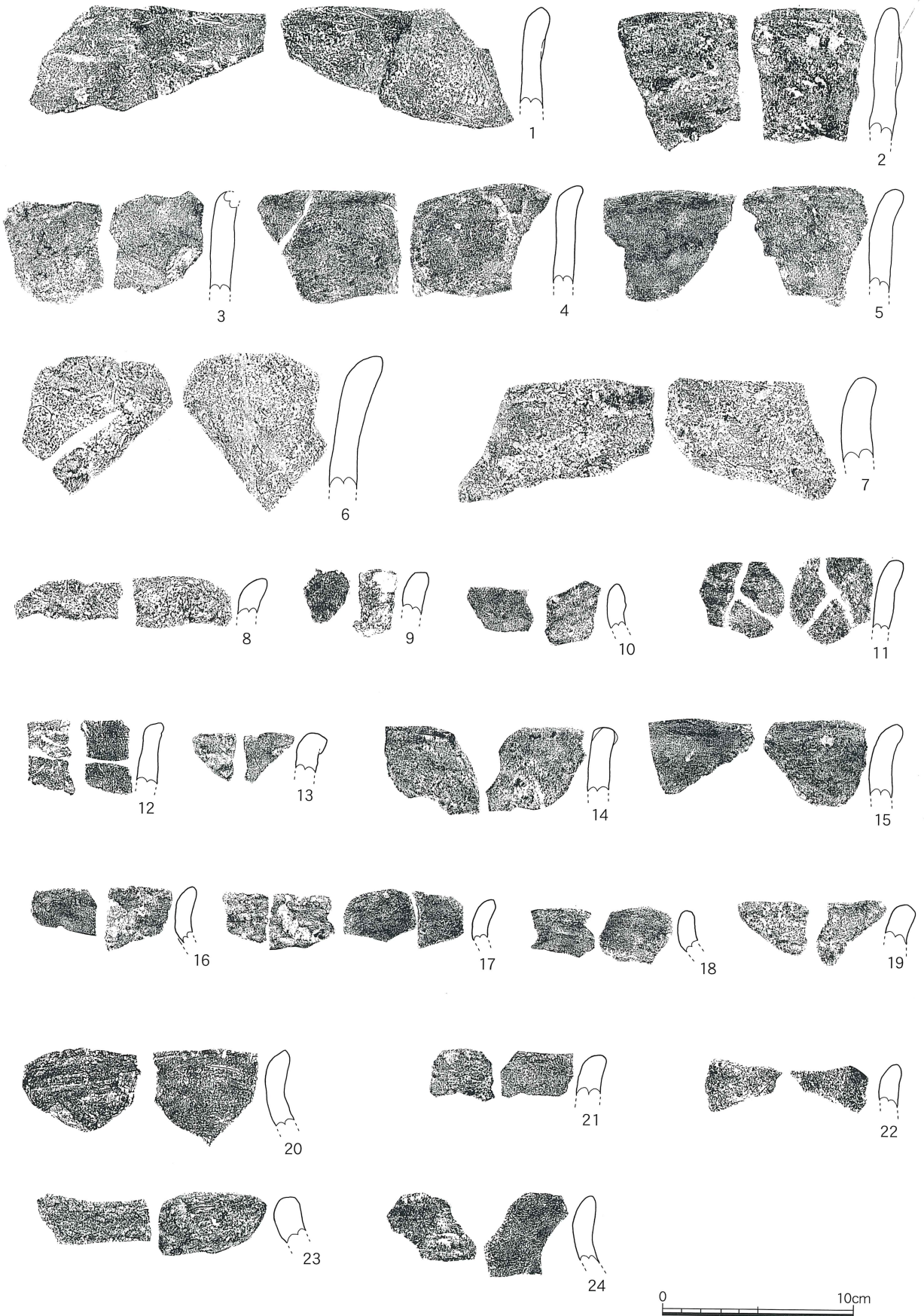
第21图 無紋土器拓影図



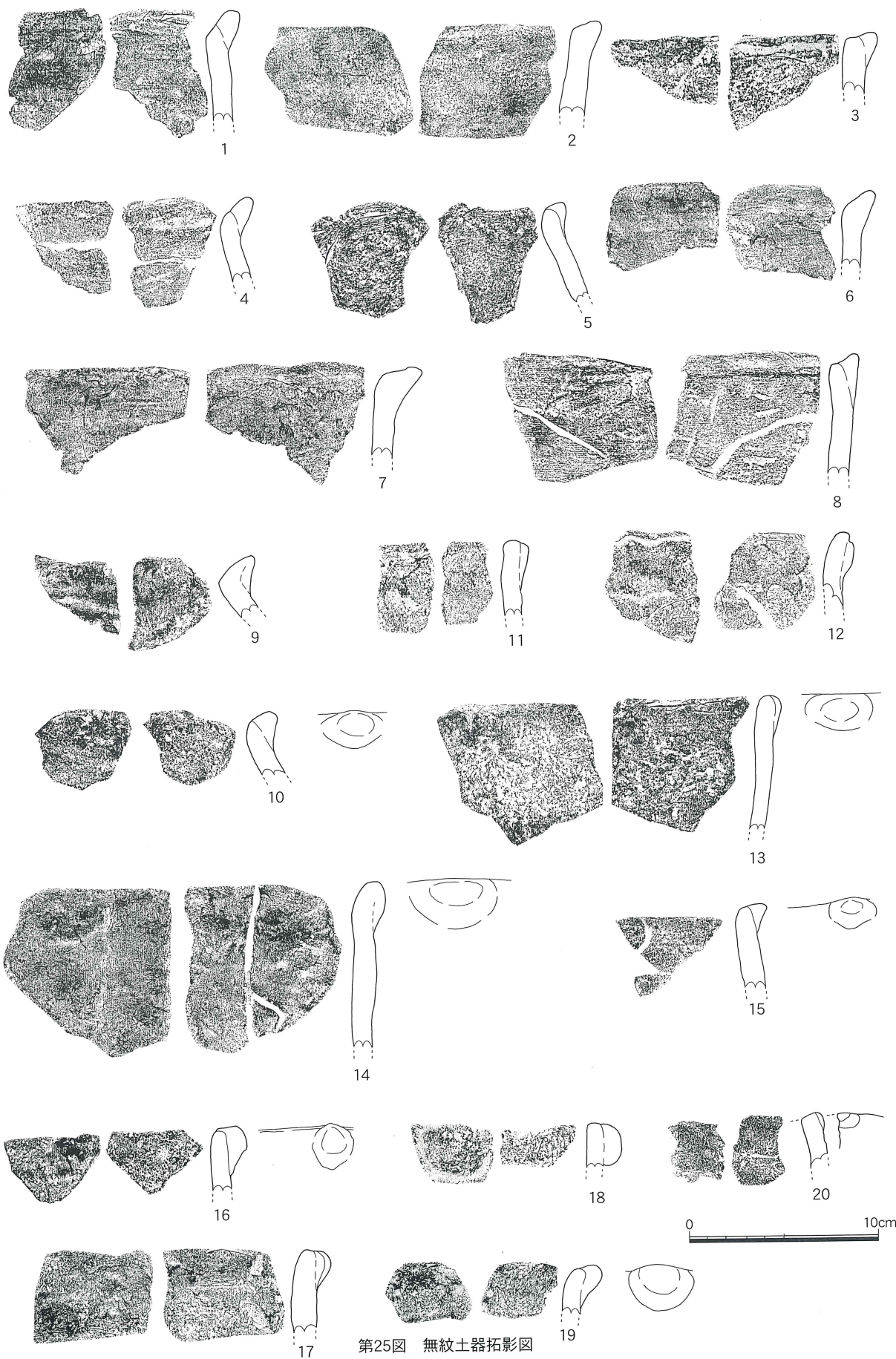
第22図 無紋土器拓影図



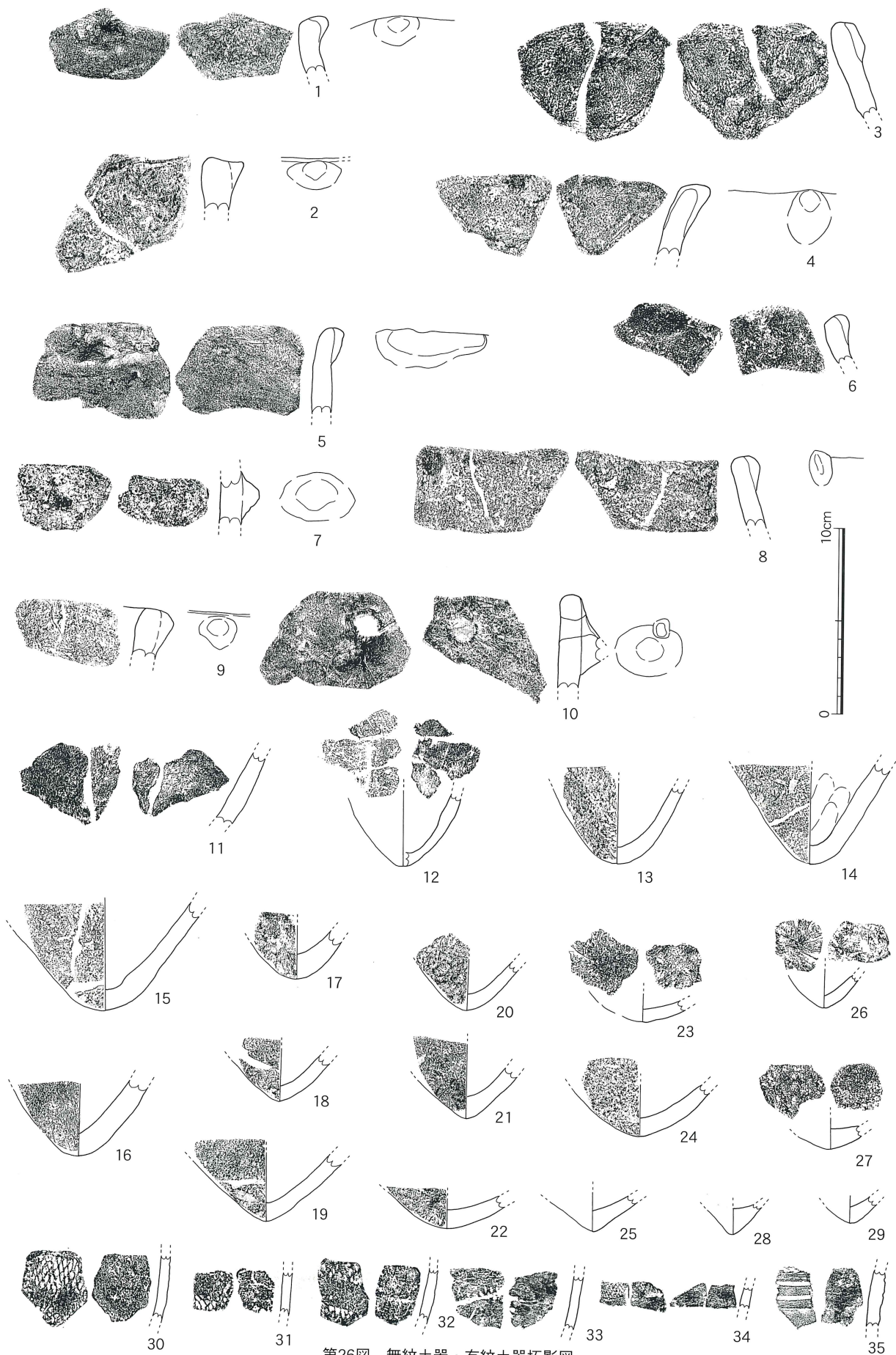
第23图 無紋土器拓影图



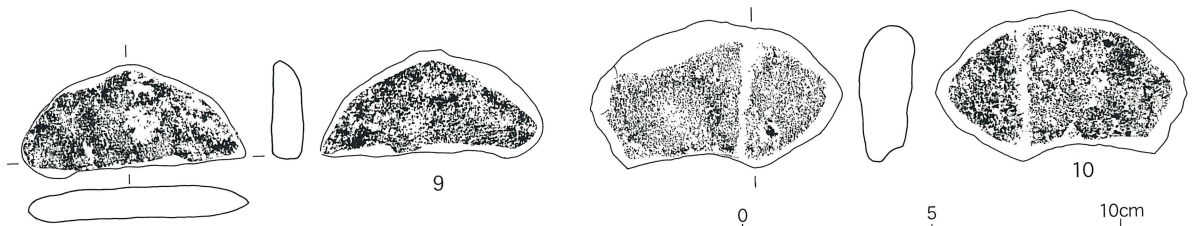
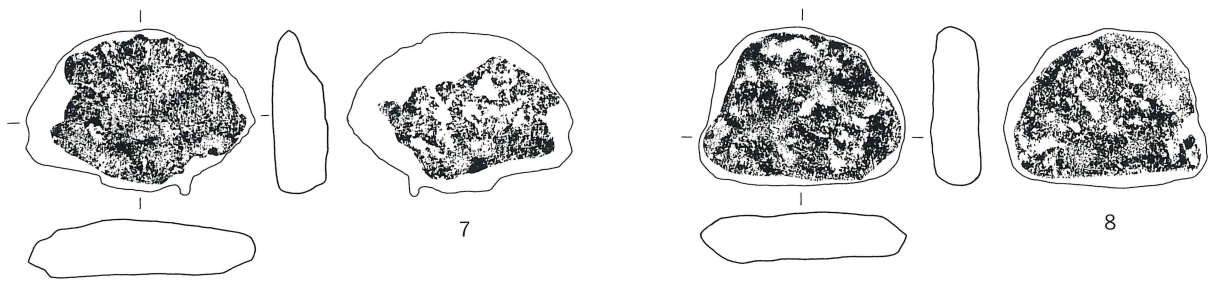
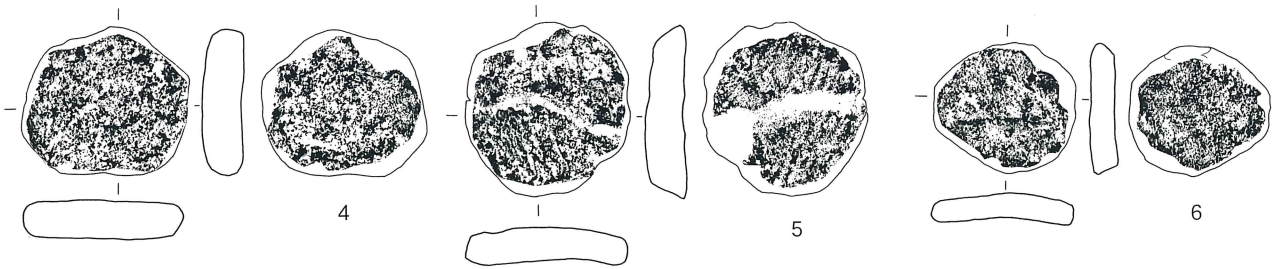
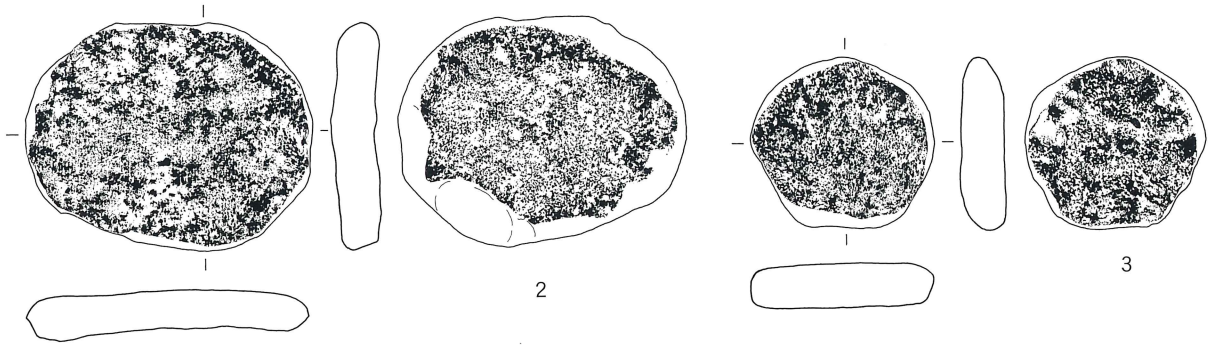
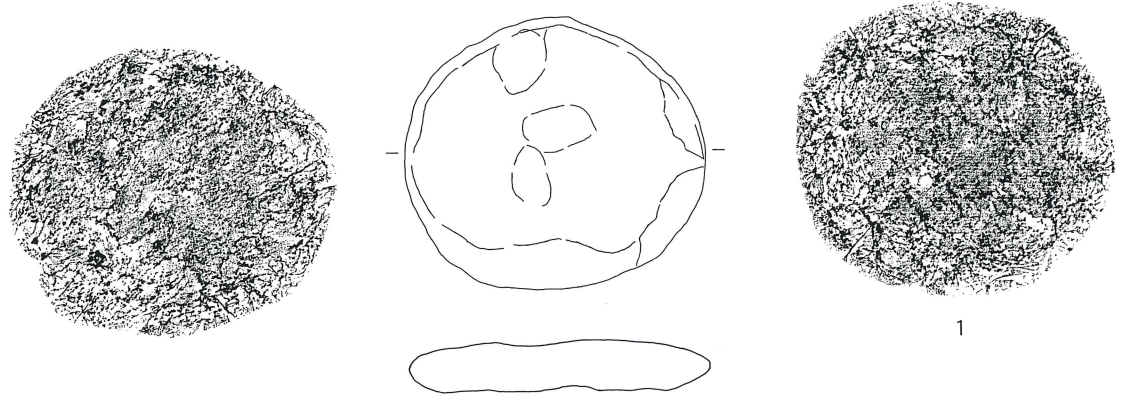
第24図 無紋土器拓影図



第25図 無紋土器拓影図

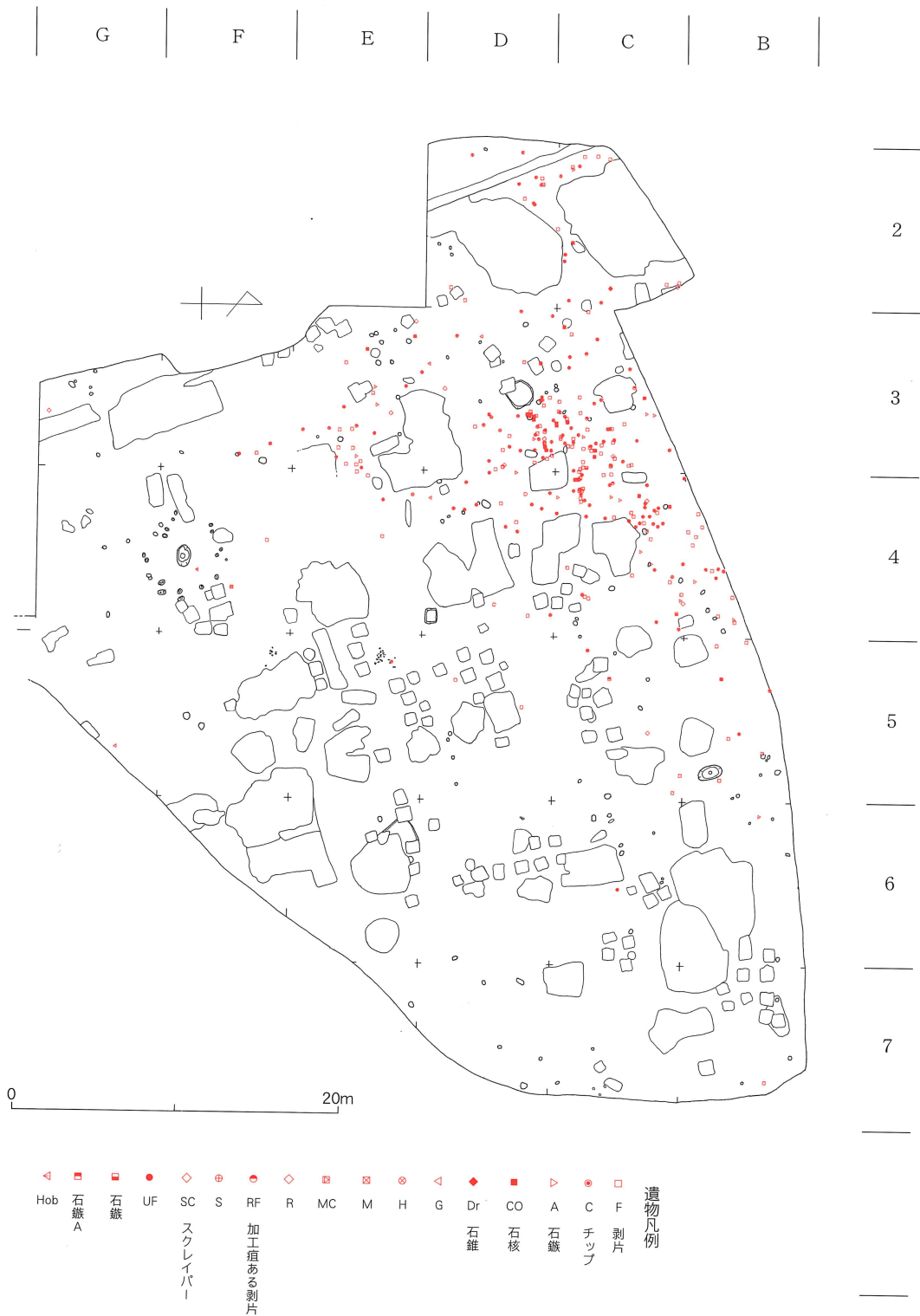


第26図 無紋土器・有紋土器拓影図

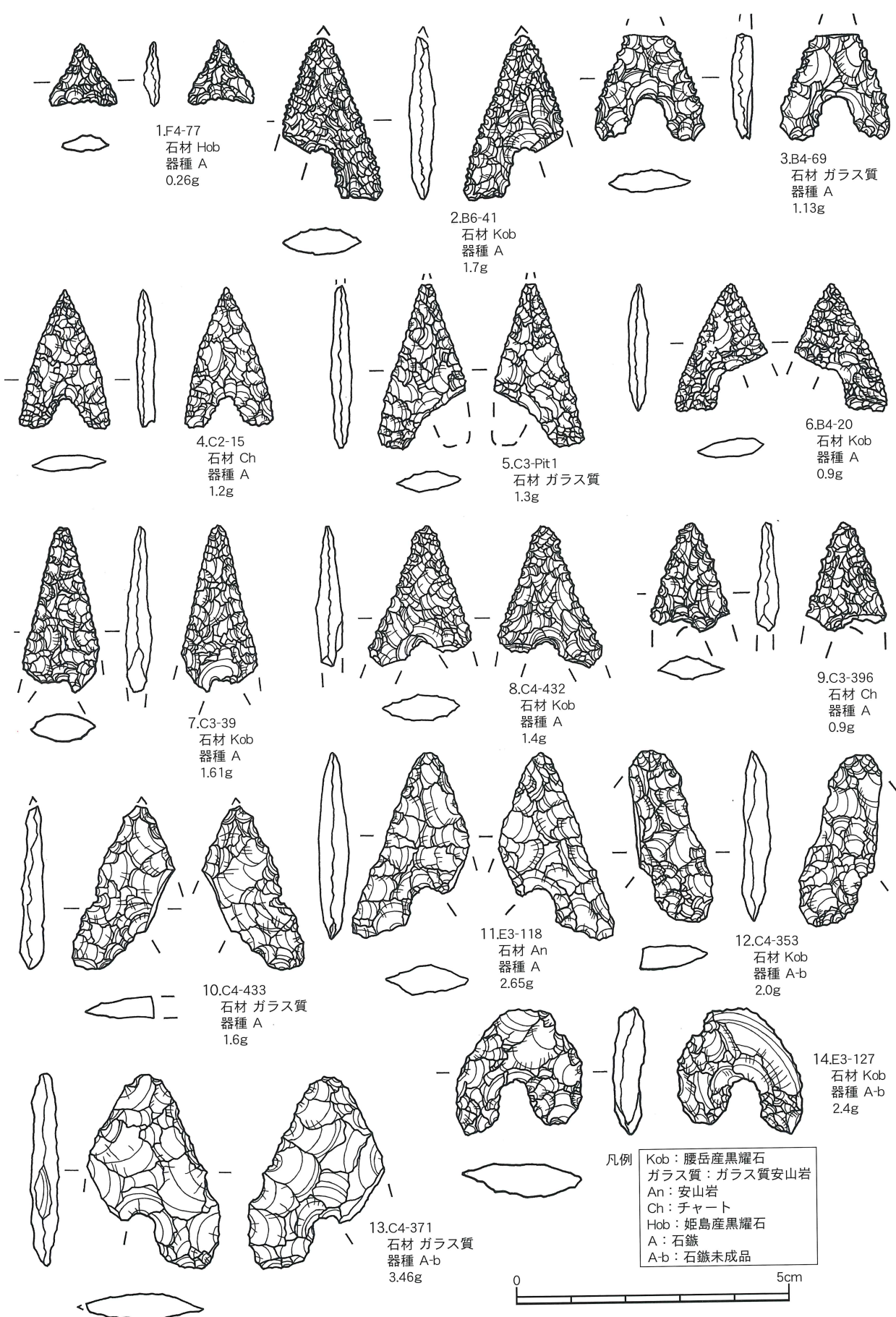


0 5 10cm

第27图 土製品拓影图



第28図 縄文時代早期の石器分布



1.F4-77
 石材 Hob
 器種 A
 0.26g

3.B4-69
 石材 ガラス質
 器種 A
 1.13g

2.B6-41
 石材 Kob
 器種 A
 1.7g

4.C2-15
 石材 Ch
 器種 A
 1.2g

5.C3-Pit1
 石材 ガラス質
 1.3g

6.B4-20
 石材 Kob
 器種 A
 0.9g

7.C3-39
 石材 Kob
 器種 A
 1.61g

8.C4-432
 石材 Kob
 器種 A
 1.4g

9.C3-396
 石材 Ch
 器種 A
 0.9g

10.C4-433
 石材 ガラス質
 器種 A
 1.6g

11.E3-118
 石材 An
 器種 A
 2.65g

12.C4-353
 石材 Kob
 器種 A-b
 2.0g

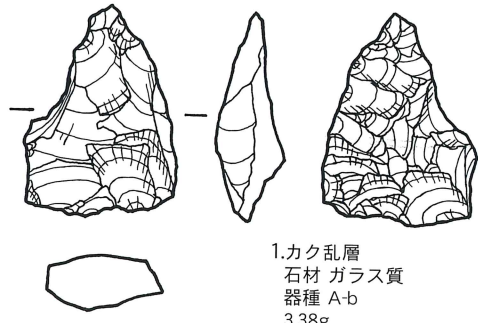
13.C4-371
 石材 ガラス質
 器種 A-b
 3.46g

14.E3-127
 石材 Kob
 器種 A-b
 2.4g

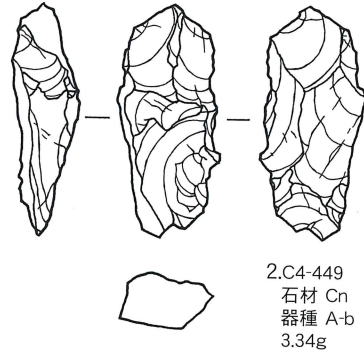
凡例
 Kob: 腰岳産黒耀石
 ガラス質: ガラス質安山岩
 An: 安山岩
 Ch: チャート
 Hob: 姫島産黒耀石
 A: 石鏃
 A-b: 石鏃未成品



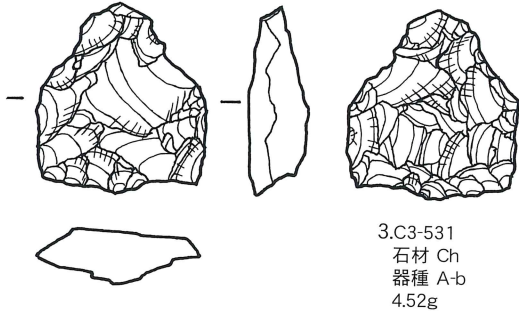
第29図 縄文時代早期の石器実測図



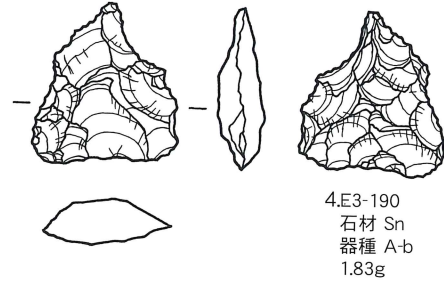
1.カク乱層
石材 ガラス質
器種 A-b
3.38g



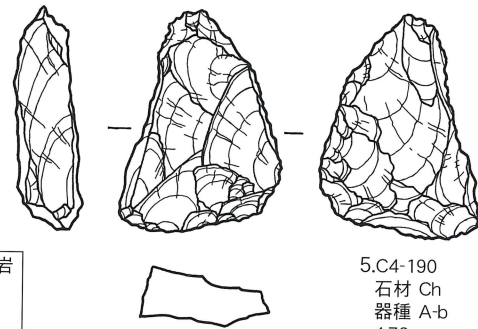
2.C4-449
石材 Cn
器種 A-b
3.34g



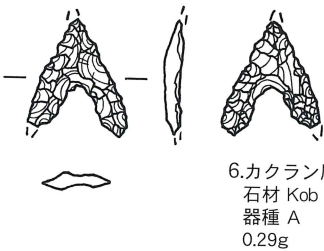
3.C3-531
石材 Ch
器種 A-b
4.52g



4.E3-190
石材 Sn
器種 A-b
1.83g

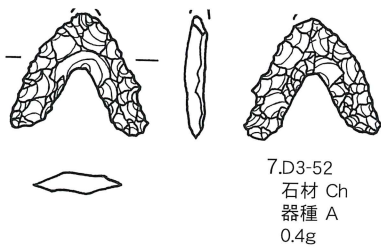


5.C4-190
石材 Ch
器種 A-b
4.73g

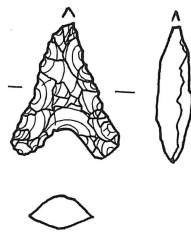


6.カクラン層
石材 Kob
器種 A
0.29g

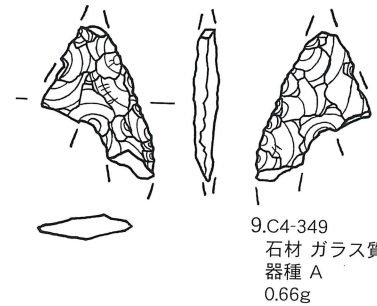
凡例
ガラス質：ガラス質安山岩
Ch：チャート
Kob：腰岳産黒耀石
An：安山岩
Sn：サヌカイト
A：石鏃
A-b：石鏃未成品



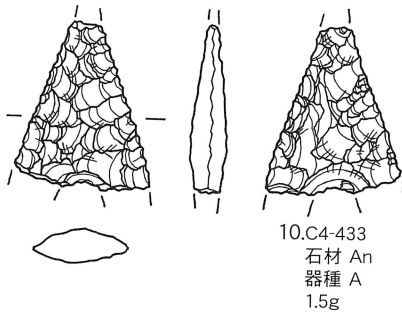
7.D3-52
石材 Ch
器種 A
0.4g



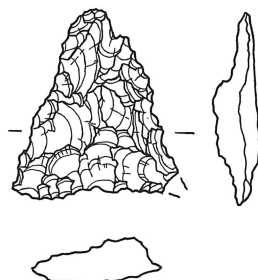
8.D3-226
石材 An
器種 A
0.72g



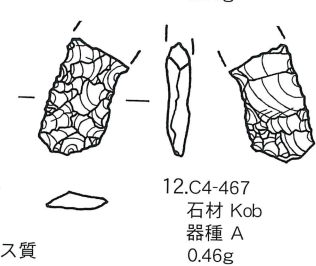
9.C4-349
石材 ガラス質
器種 A
0.66g



10.C4-433
石材 An
器種 A
1.5g

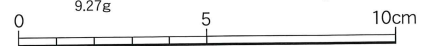
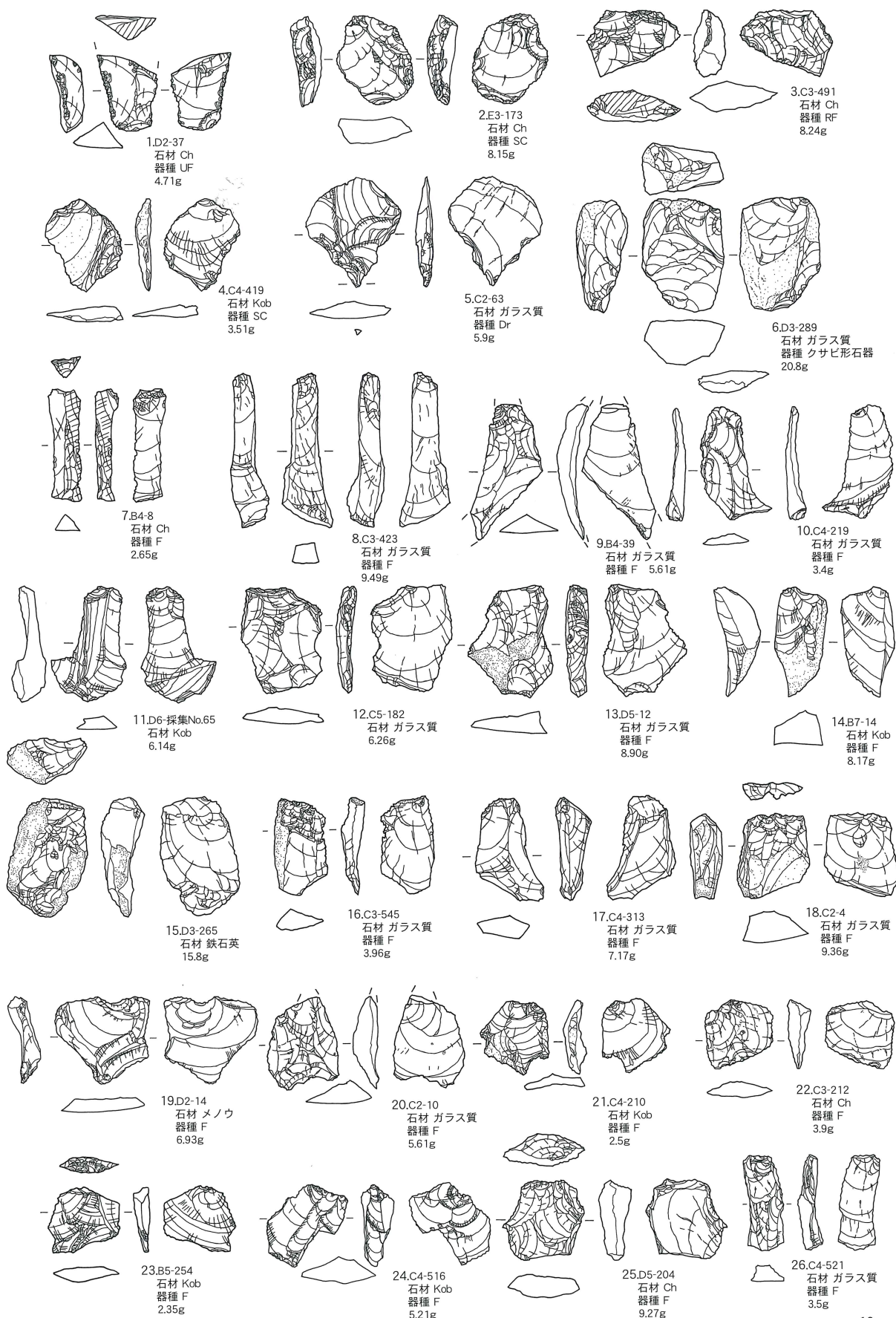


11.C3-410
石材 ガラス質
器種 A
1.78g



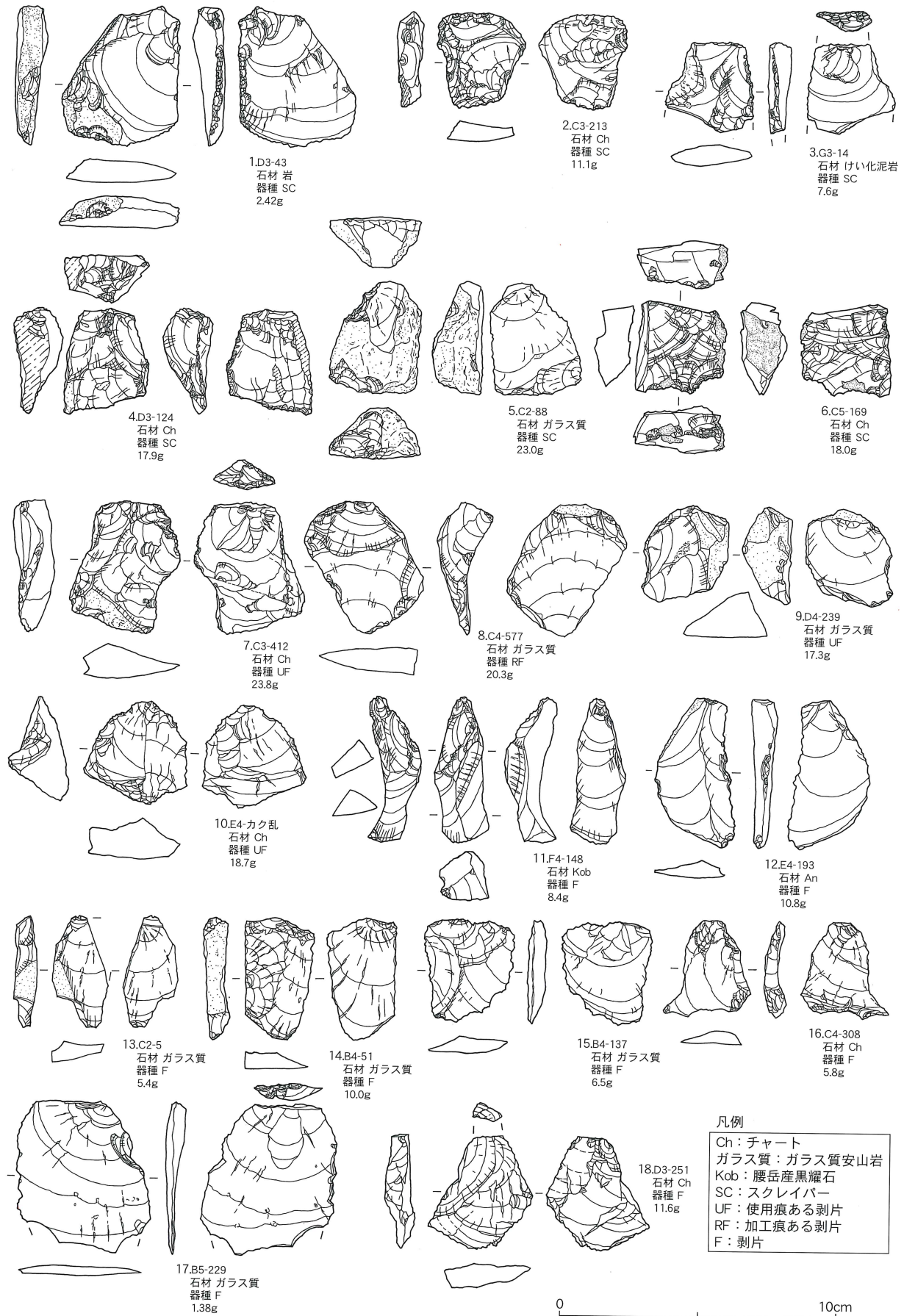
12.C4-467
石材 Kob
器種 A
0.46g

第30図 縄文時代早期の石器実測図

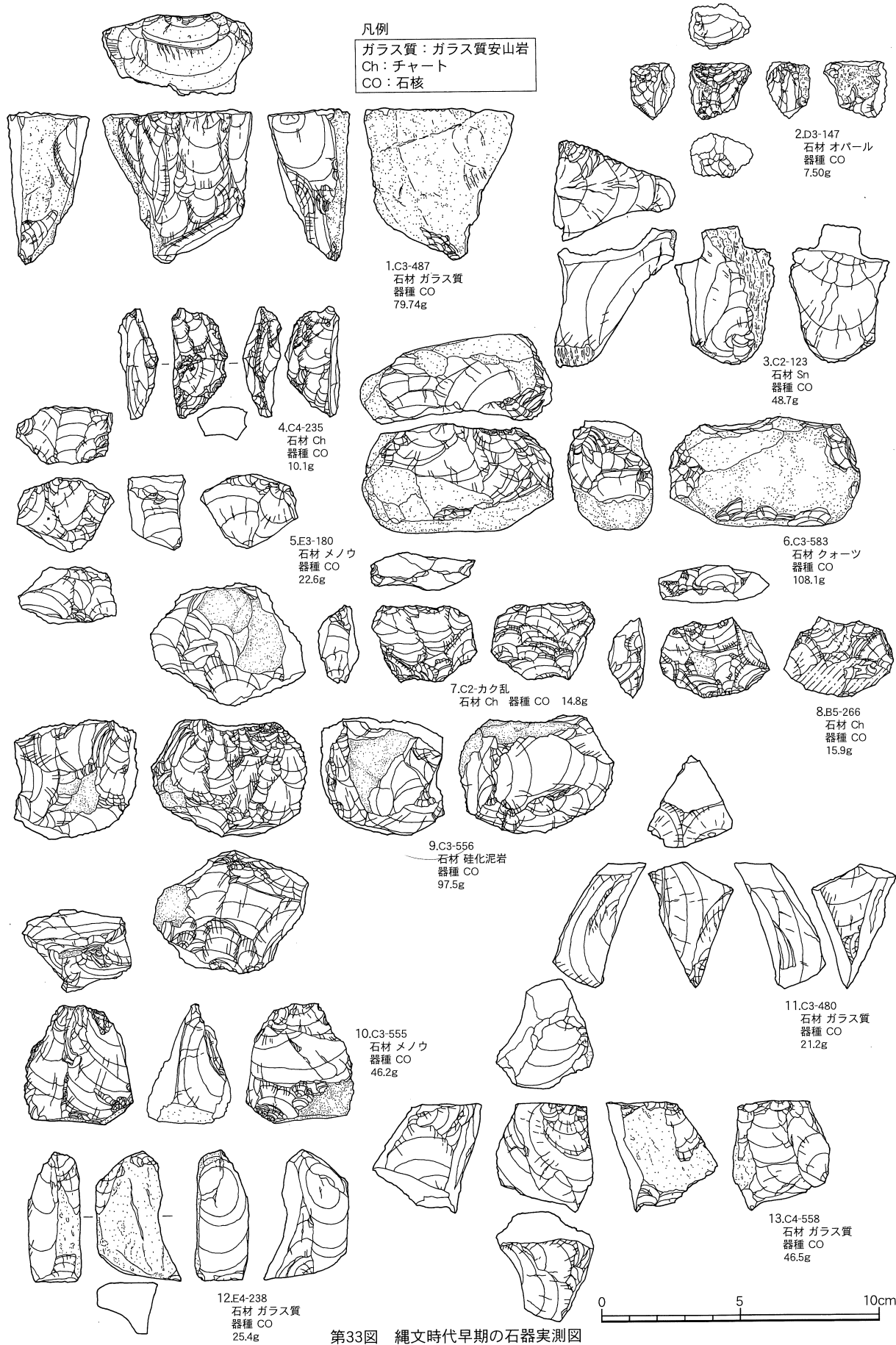


第31図 縄文時代早期の石器実測図

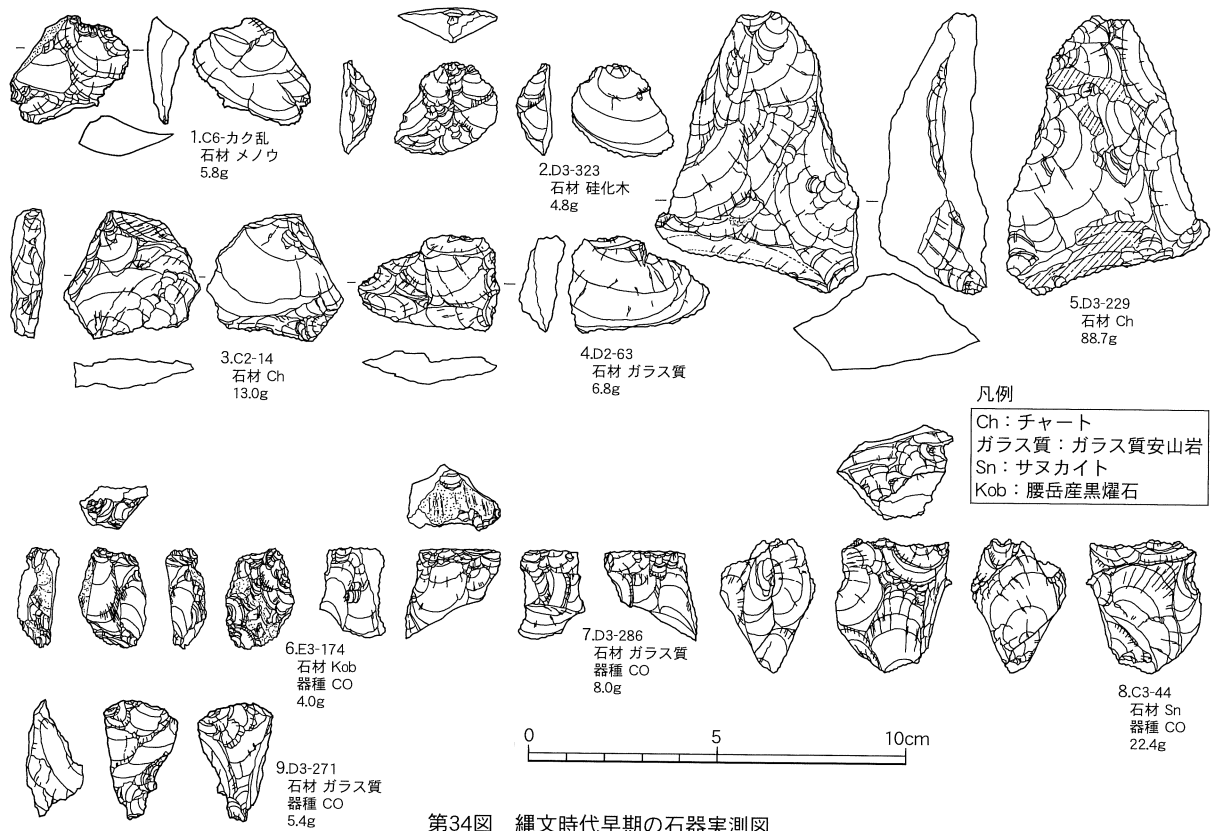
(凡例は他ページを参照)



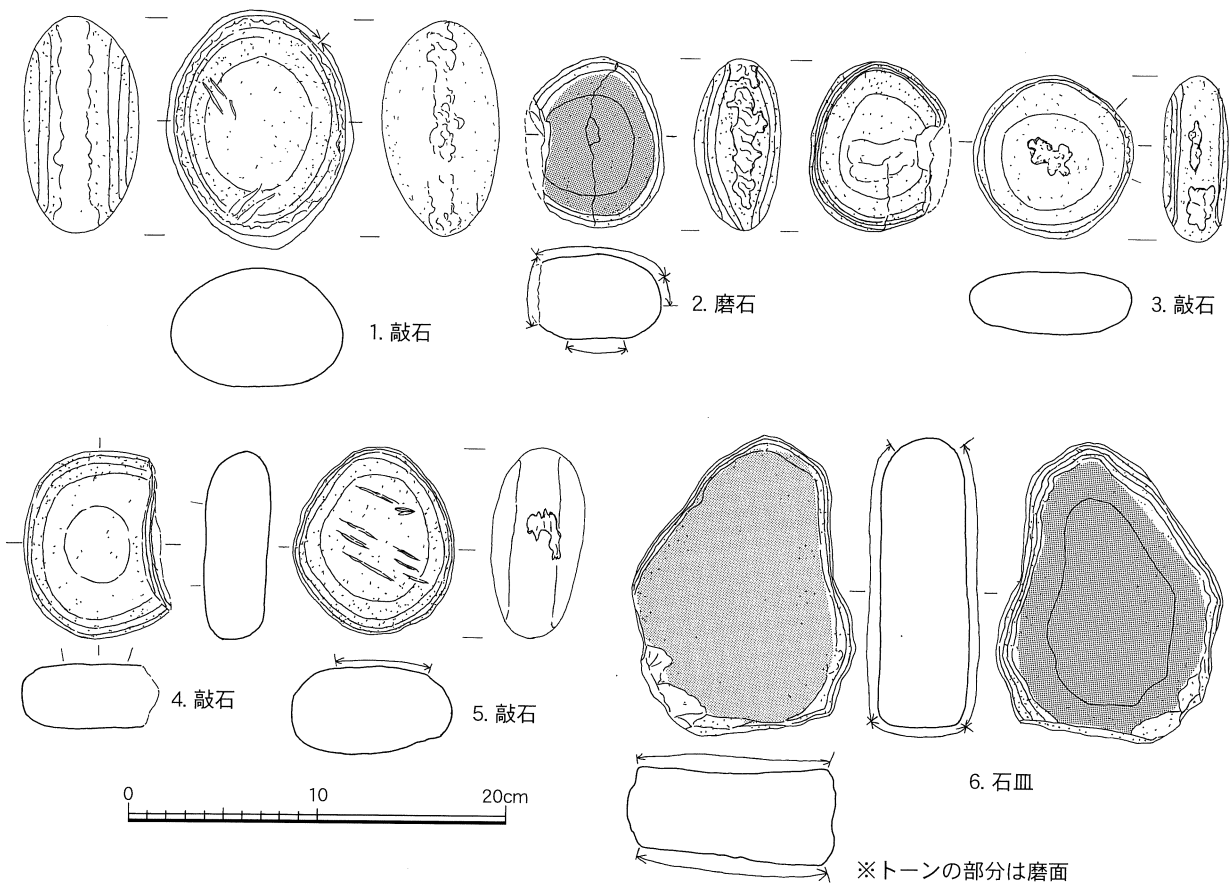
第32図 縄文時代早期の石器実測図



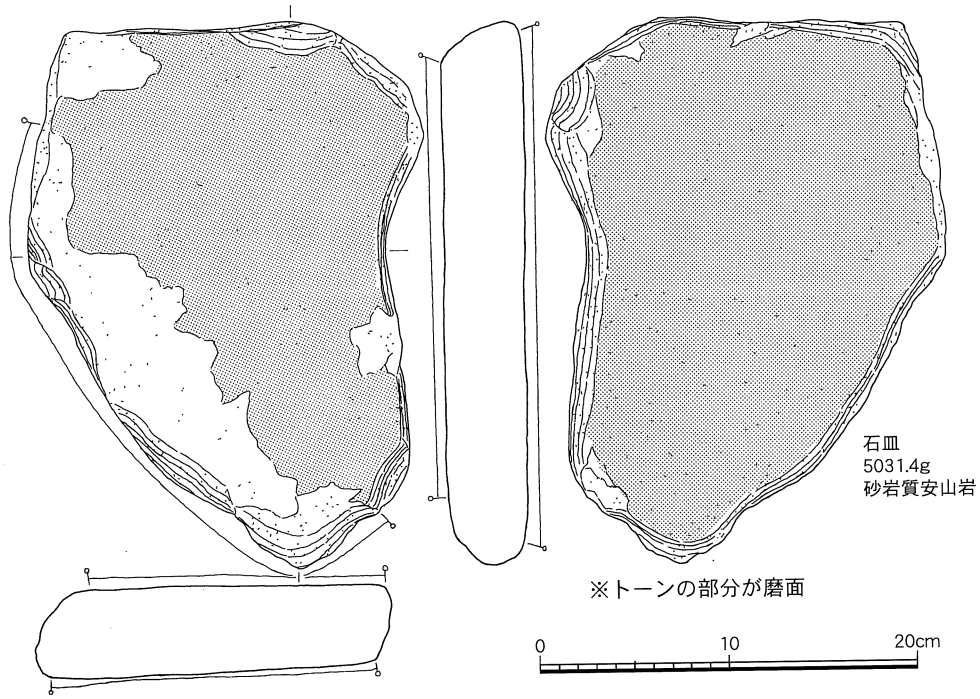
第33図 縄文時代早期の石器実測図



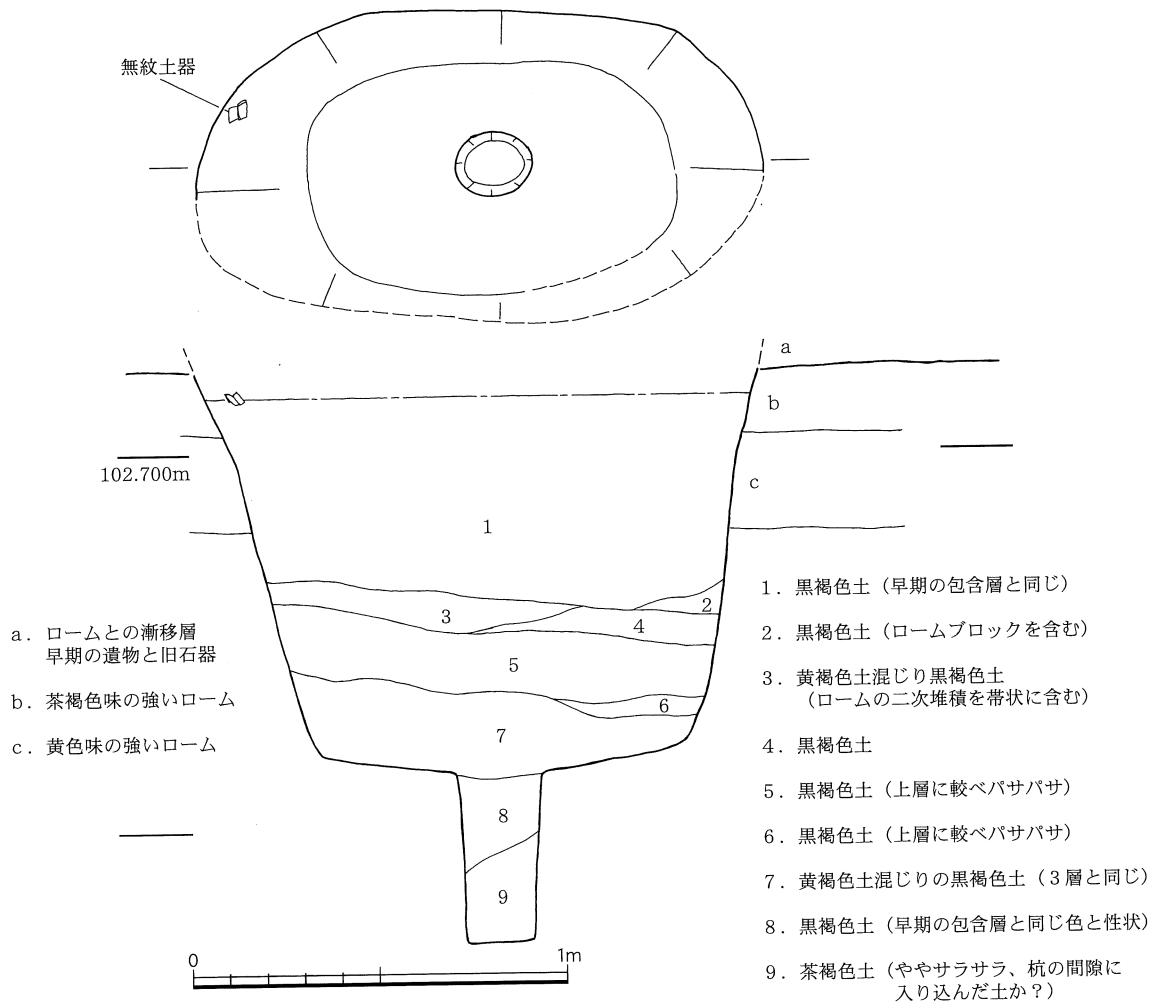
第34図 縄文時代早期の石器実測図



第35図 縄文時代早期の石器実測図



第36図 縄文時代早期の石皿実測図



第37図 SX-1実測図

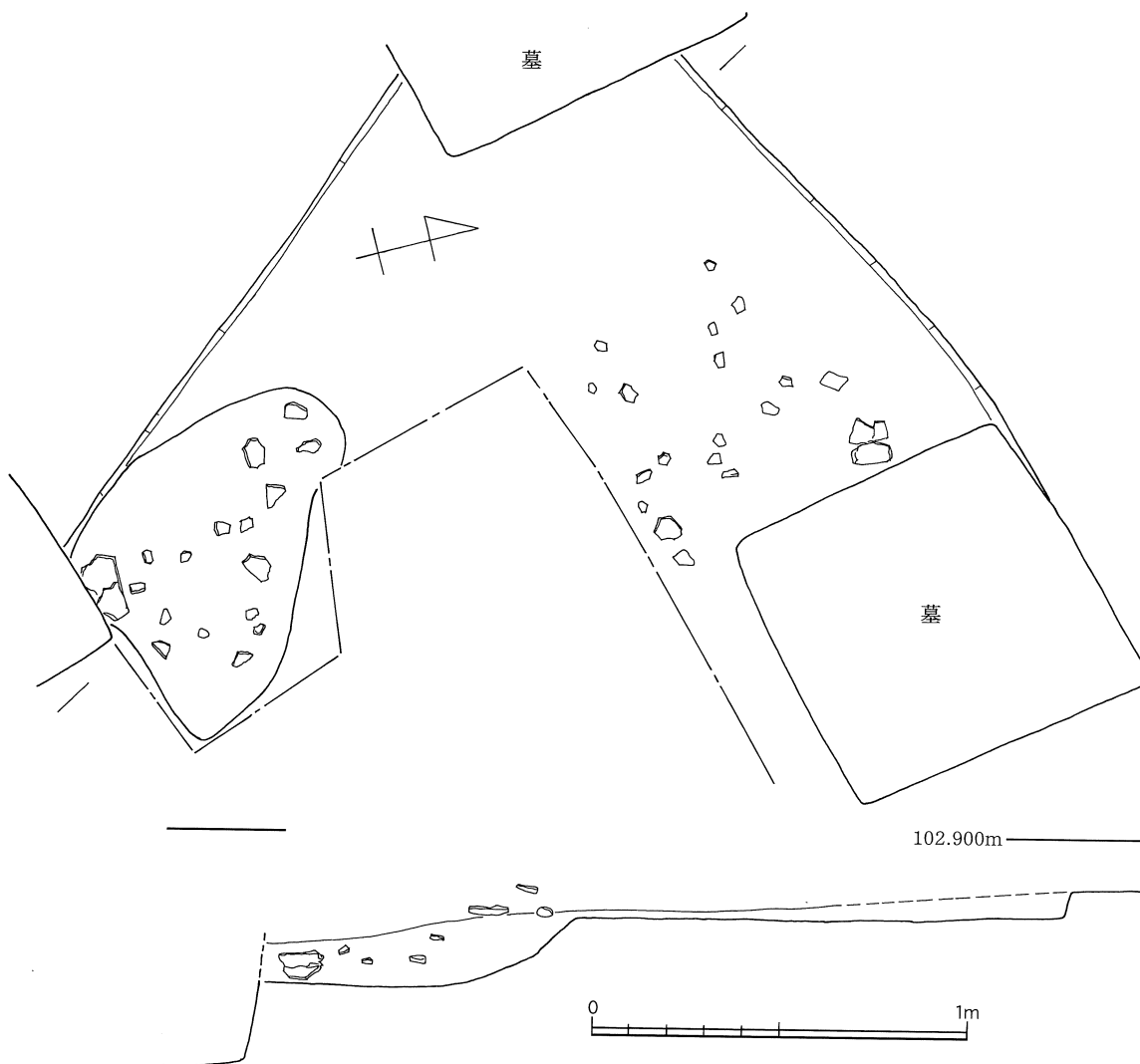
4. 弥生時代

遺構と遺物

弥生時代の遺構は竪穴住居跡2棟と、土坑2基からなる。その分布は集中することなく、発掘区内に散在する。本来は、もう少し遺構が依存していた可能性もあるが、墓地造成により、大きく改変されており、その実態は詳らかではない。

SH1は発掘区の南東部にあたるE6区に位置する。近世墓の掘削と、最近の墓地改変によって大きく形が崩れており、僅かに方形のプランが観察されるにすぎない。方形プランの一边が推定で2.50mと思われる。遺物には、弥生時代中期初頭の下城式甕がある（第42図1～3）。この中には、1条突帯の例（第42図1・3）と、2条突帯の例がある（第42図2）。

SH2は発掘区の南西部にあたるF4区とG4区を挟んだ位置関係をとる（第3図）。やはり上部が削平されており、柱穴と炉跡、それに焼土面の一部が残っているにすぎない。柱穴の位置からみた住居跡のプランは、円形である。プランと遺物の分布からみた、規模は直径は少なくとも6.50m～7.00mと推定される。柱穴の構造は、2個隣接する柱穴の9群が約0.90mの間隔を置きながら円形にまわる。遺物には弥生時代中期初頭の下城式土器

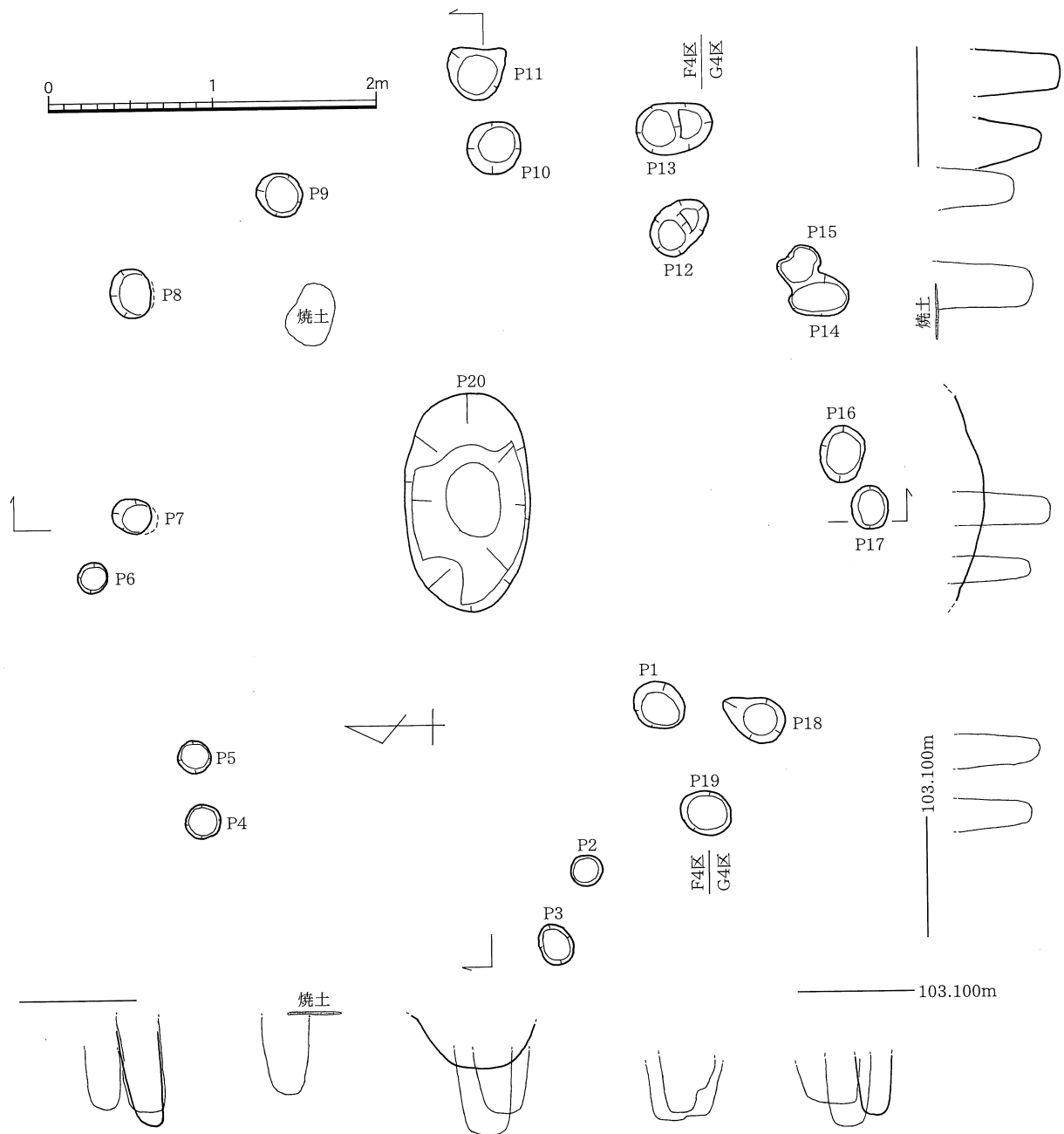


第38図 SH-1実測図

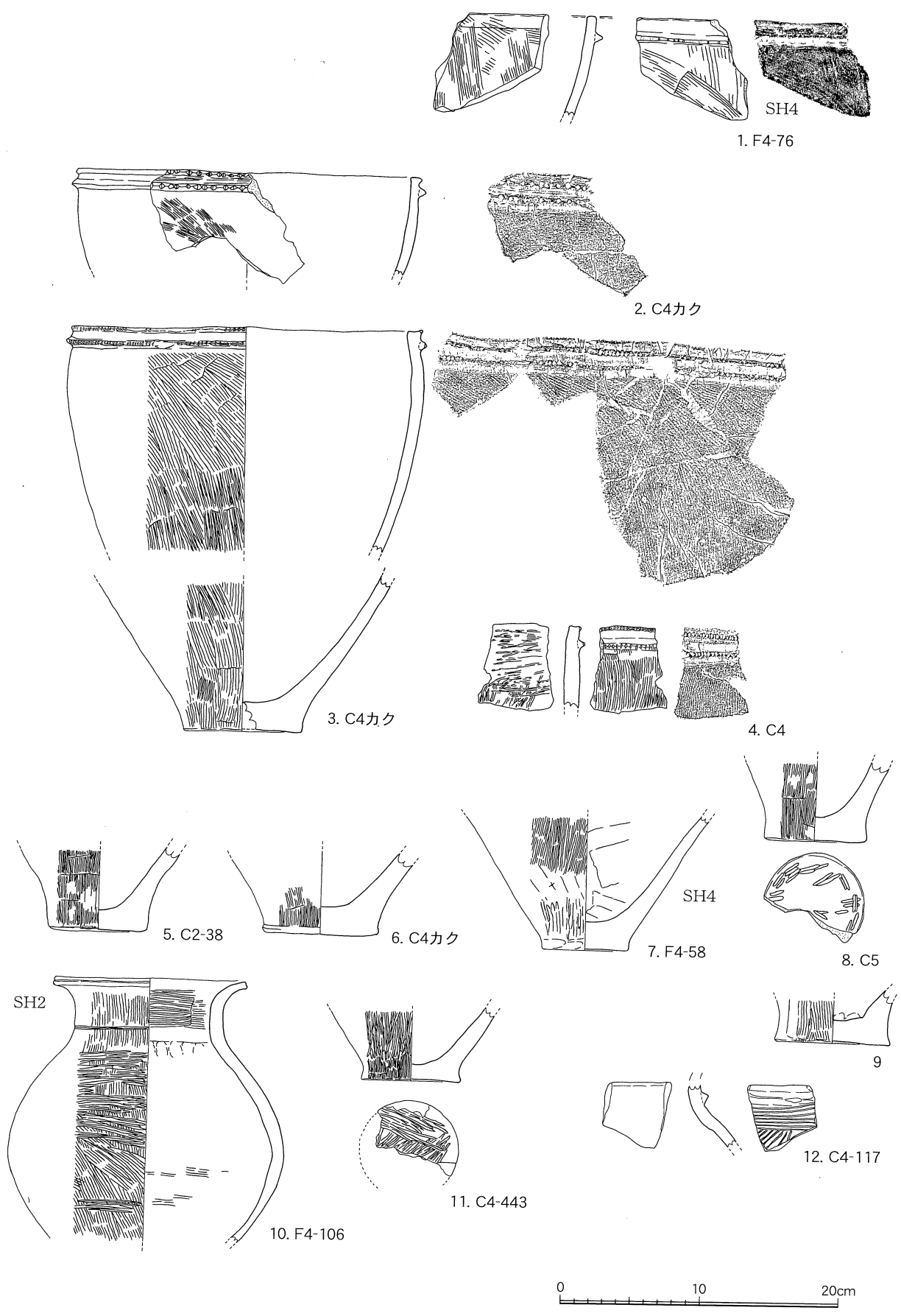
の甕口縁部と甕底部が出ている（第40図1・7）。また、下城式土器段階と思われる壺もあり（第40図10）、弥生時代前期の名残を留めた特徴をもっている。姫島産黒曜石のUFがあり、重さは11.45g（第45図1）。

SK1は発掘区の中央部にあたるD4区南東隅部に位置する。この遺構は比較的依存状況がよく、南北0.75m、東西0.95mの方形プランである。検出面からの遺構内底部までの深さは0.15mである。遺物は礫と土器からなる。土器は蓋で、直径11.8cm、高さ4.0cmの大きさを有する（第41図）。側面形は、概ね編み笠状で、頂部にリボン状に開く摘みをつけている。摘みに平行するように、蓋の両極に紐をとうす穴が2個ずつ開けられている。蓋の大きさからみて、SK2の壺に丁度よい大きさであるうえ、2個ずつの穴が開けられていることで共通する。

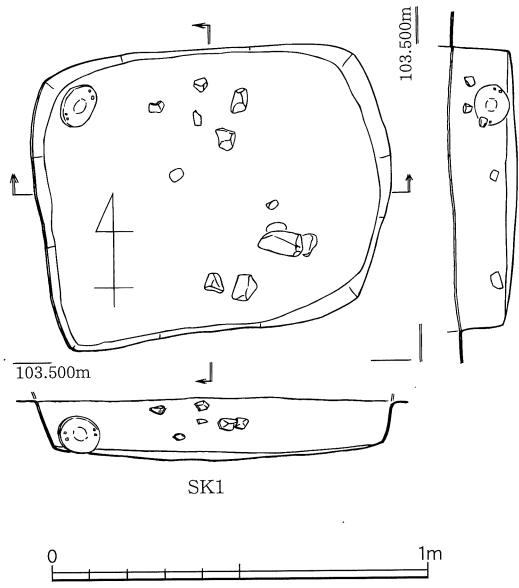
SK2は発掘区の北西部にあたるD3区に位置する。この遺構の南西部は、近世墓の構築によって破壊されているほかは残りがよい（第3図）。南北方向が1.50m、東西方向1.60mの規模を有する。プランは南側が直線的に延びるが、他は丸みを帯びている。概ね方形プランいえよう（第41図）。遺構の中央部付近に、焼土が密集し



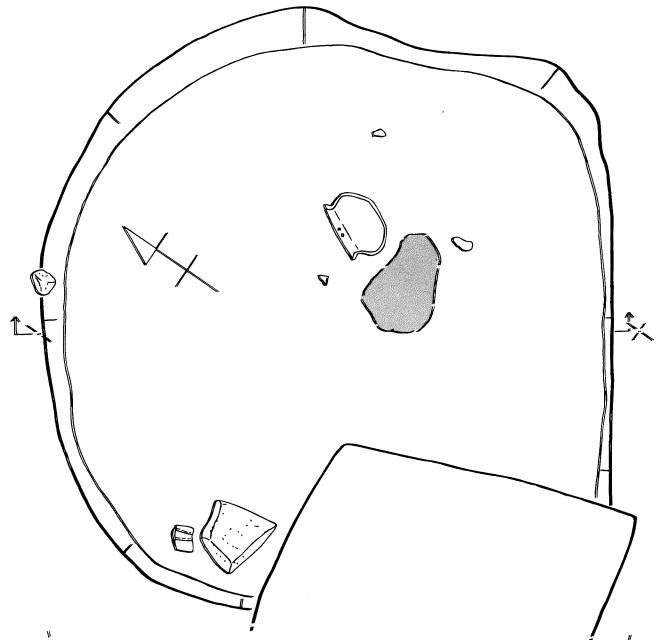
第39図 SH-2実測図



第40図 弥生時代の土器実測図、SH4-5~9、SH2-10~12



SK1



SK2

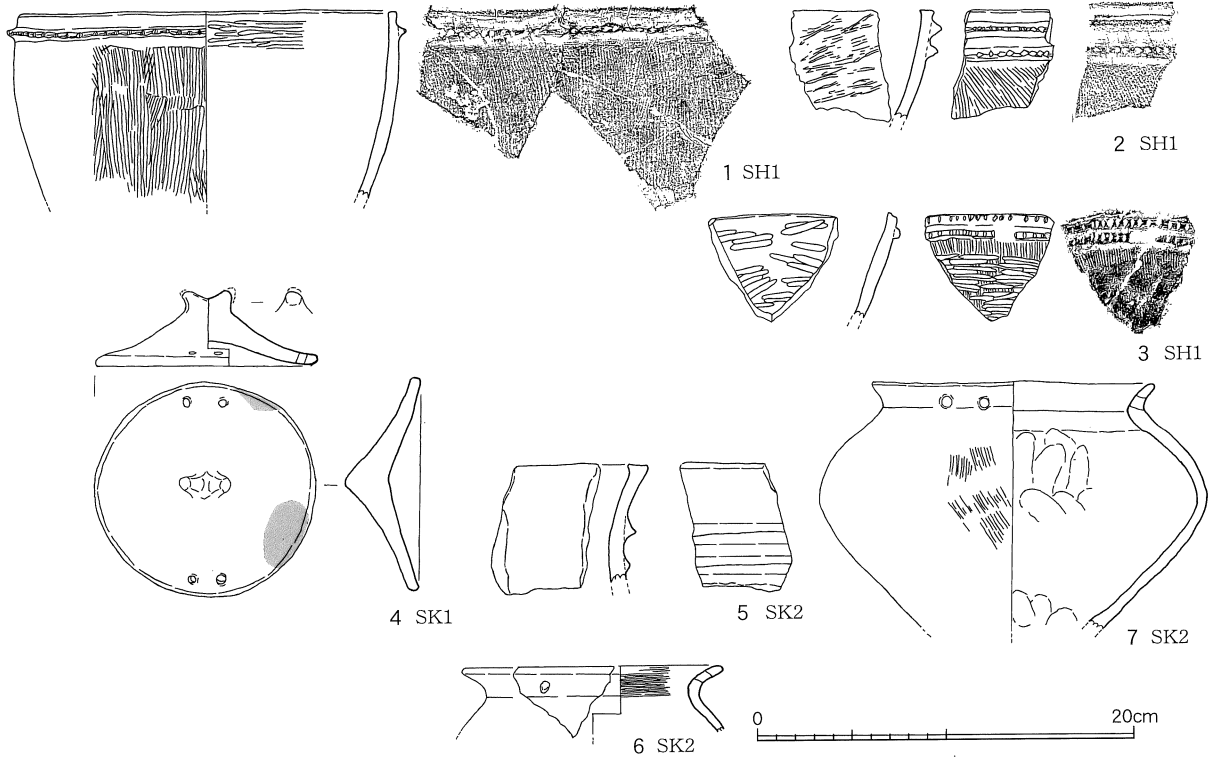
SK2 I. 暗褐色：埋土、わずかに焼土のブロックを含む

II. 暗褐色：親指大の炭がまばらに混入

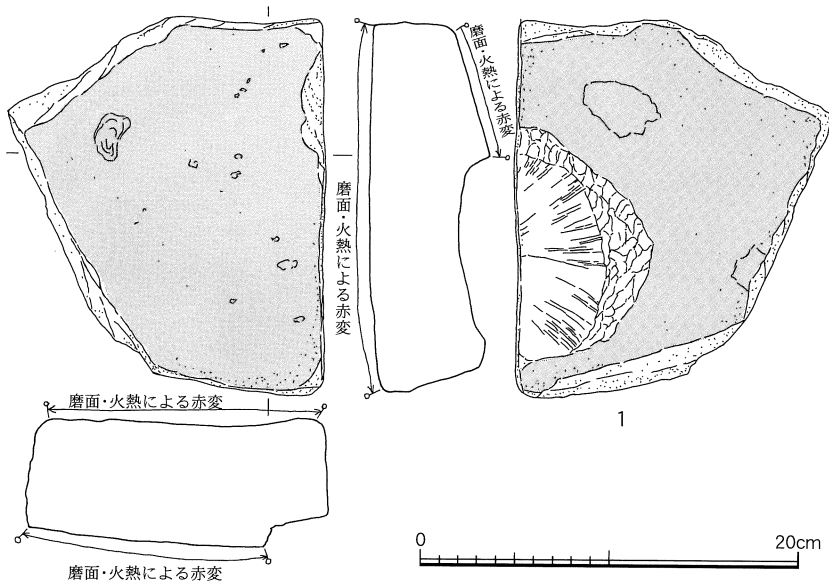
III. 黄褐色：地山色と同じ、壁の崩落土

IV. 黄褐色：地山

第41図 SK1、SK2実測図

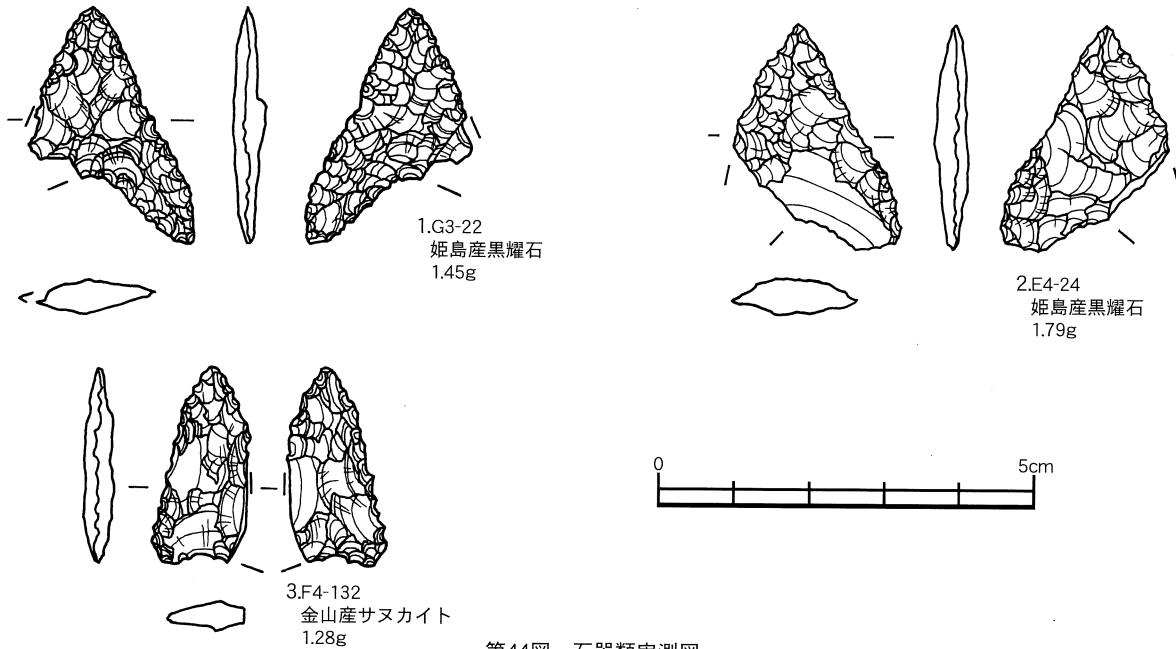


第42図 遺構内の遺物実測図

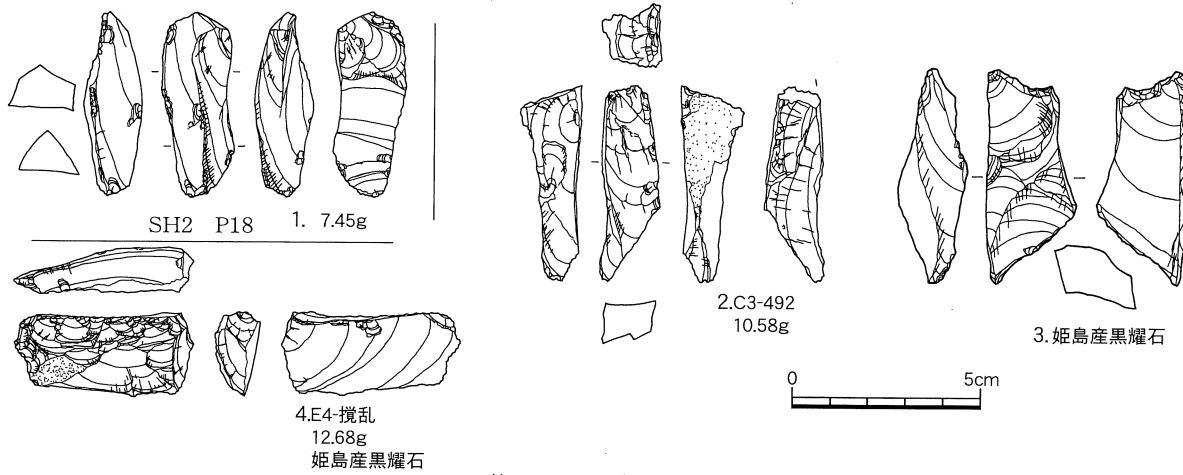


第43図 SK2 (No.2) の石皿実測図

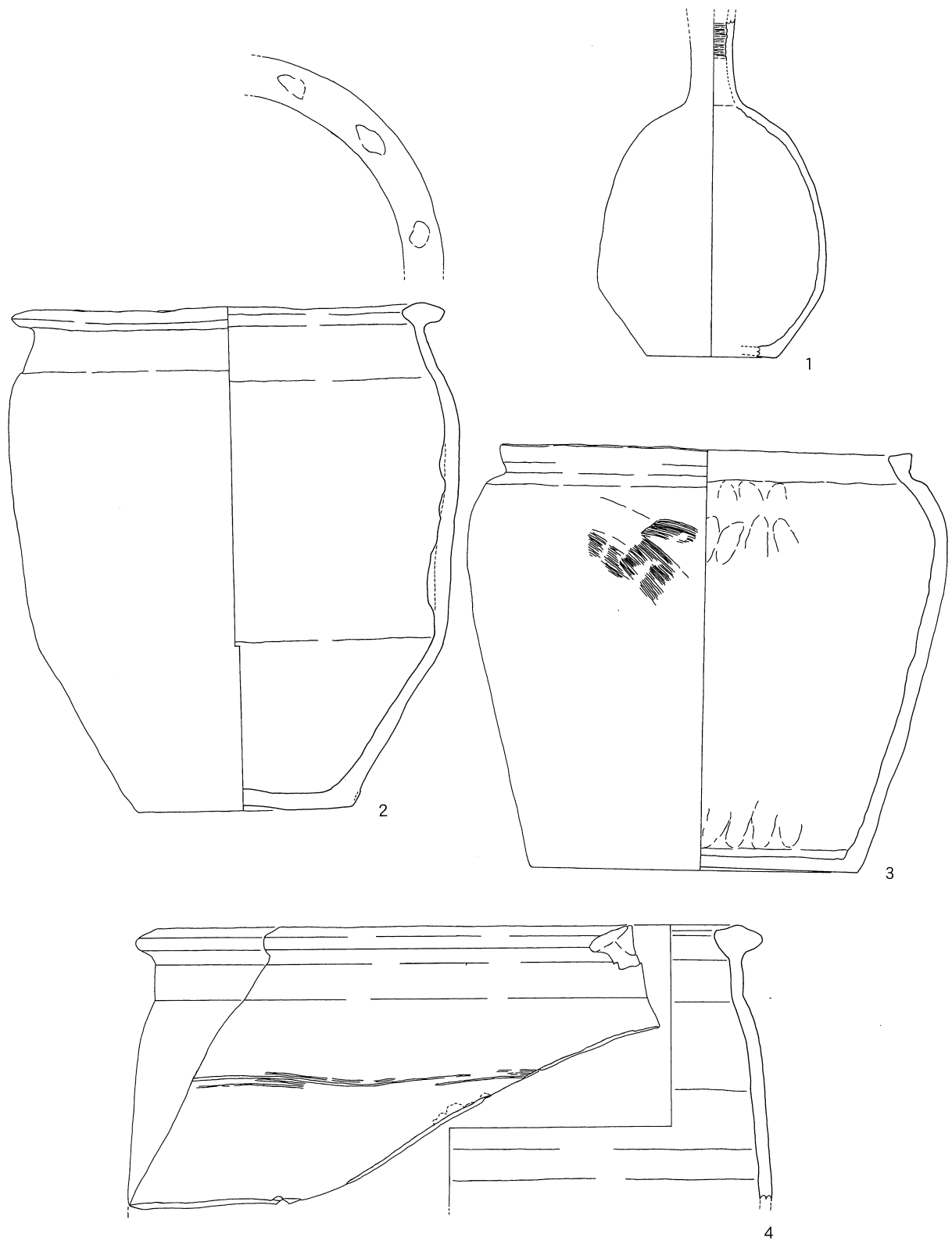
た部分があった。遺物は土器と石皿からなる。土器には甕と(第42図5)、壺がある(第42図6・7)。石皿は板状の素材を用い、両面に摩滅痕がある他、受熱によって赤変している(第43図)。



第44図 石器類実測図



第45図 石器類実測図



第46図 近世墓の陶器実測図

第3章 ま と め

旧石器時代後期・縄文時代早期

これまで第2章中で記述してきたように、旧石器時代後期・縄文時代草創期に属する遺物は下野遺跡の主体を示す縄文時代早期の遺物中から抽出したものであった。とはいえ、遺物の石材は縄文時代草創期中頃以降にはほとんど用いることがない大多数の流紋岩と風化の進んだ黒耀石は、旧石器時代後期・縄文時代草創期初頭ものとして全く問題のないものであった。

また、石材に関してはガラス質安山岩（角閃石珩岩）等、縄文時代にも用いられた石材であっても、ナイフ形石器など旧石器時代後期の特徴を示すものも問題なかろう。ただし、剥片・スクレイパーチップなどについてはその区分は不可能であったが、近隣遺跡の調査成果からガラス質安山岩（角閃石珩岩）等を石材とした遺物は概ね縄文時代早期に所属すると思はれる。下野遺跡の旧石器時代後期と縄文時代草創期の区分は石器の特徴から、ナイフ形石器・角錐状石器・剥片尖頭器の一群が前者、船野型細石核と細石刃が後者ということになる。

二側縁加工のナイフ形石器のうち、柳葉形ナイフ形石器はAT降灰直前に目立つ例であるが、それ以降においてもなくはない。また刃部が大きく開く二側縁加工のナイフ形石器は、「狸谷型ナイフ形石器」と呼ばれているものである。このナイフ形石器は石器の組み合わせが熊本県の狸谷遺跡では剥片尖頭器・角錐状石器が共伴するパターンと、大分県津室迫遺跡での主要石器がナイフ形石器とスクレイパーに限られる場合がある。いずれの場合も大分県岩戸遺跡・百枝遺跡には見られないパターンである。二つのパターンのうち、前者が二時期に区分できる可能性もある。下野遺跡の場合は前者のパターンに近いが、二側縁加工の柳葉形のナイフ形石器はより古い様相である。いずれにしても出土層が失われているため、一括資料として扱うことはできない。

大型の角錐状石器の未成品や、自然面が広範囲についた剥片が少量あるが、大型剥片や大型の石核はほとんどなく小型の剥片が多い。剥片剥離の後半段階の剥離か、簡単な石器の調整を主体とした消費遺跡の可能性が大きい。このことと関わるのか、概ね石器（Tool）の量が多いことに特徴がある。

縄文時代草創期初頭の遺物として明らかなものに細石刃核関係の遺物が5点ある。うち2点は岩土原型細石刃核、残り3点が船野型細石刃核に関連するものであろう。この他、牟田産～腰岳産と見られる黒耀石を石材とした細石刃が見つかっているが剥離技法などははっきりしない。

縄文時代早期については、比較的に大きな遺跡といえる。ところがこの段階に極めて多くの発見例のある集石・焼石が僅か4箇所しかない。また礫器が全く見つかってないことも注意を引く。集石は散漫な分布である。近隣のエゴノ口遺跡で多量の礫器・敲石集石が見つかることを考慮すると両遺跡は異なった性格の遺跡であると考えざるを得ない。例えば、秋に長めに滞在し、重い石器を用いて堅果類の荒割・加工をしたエゴノ口遺跡と、堅果類の加工もほとんどせず、集石を構築しての調理を本格的に行う間もない滞在期間であった下野遺跡と言うことになるだろうか。石材の中で最も多いのはガラス質安山岩（角閃石珩岩）である。これは下野遺跡の土器が川原田式土器、稲荷山式土器、早水台式土器という古相の押型紋土器で、従来よりこの段階においては姫島産黒耀石が少なく、姫島産角閃安山岩が多いとされてきたことに対応する。

下野遺跡の弥生時代については本文中でもふれたように、墓地の設置・改葬によって上層部分が大きく削られており、遺構の分布はまばらな遺存状況であった。遺物も少量であったが、弥生時代中期前半に属するものがほとんどであった。下野遺跡の東に隣接する大津式土器の標式遺跡と同じ時期で、関連する遺跡であったのであろう。

第3表 土器観察表 (第14図)

図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考	
		表	裏	表	裏	角	長石	赤	白	その他			
1	D-No110	山形文	山形文・下方ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
2	B5-カクラン		山形文(横方向)	橙褐色	橙褐色		○			○	砂粒	不良	
3	B5-201	山形文	原体条痕・山形文	暗褐色	暗褐色	○	○					良	
4	B5-No98	山形文	原体条痕・山形文	暗褐色	暗灰褐色					○	砂粒	不良(硬質)	
5	B5-No171	山形文・ナデ	原体条痕・山形文	暗褐色	暗黄褐色					○	砂粒	不良(硬質)	
6	B5-No136	山形文・ナデ	原体条痕・山形文	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○			○		不良(硬質)	
7	D5-No73	山形文・ナデ	ナデ・深い原体条痕・山形文	淡灰褐色	暗黄褐色	○				○	砂粒	不良	
8	B4-2	山形文(横方向)	原体条痕・山形文	橙褐色	淡橙褐色		○		○		砂粒	不良	
9	C3-193	山形文	原体条痕・山形文			○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
10	B5-一括	山形文・ナデ	原体条痕・山形文	暗淡褐色	暗淡褐色	○				○	茶粒子・砂粒	不良	
11	B5-一括	山形文・ナデ	原体条痕・山形文	暗黄褐色	暗黄褐色	○				○	砂粒	不良	
12	B6-16	山形文	山形文	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○			○		不良	
13	C3-234	山形文	山形文	暗淡黄褐色	暗淡黄褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂粒	不良	□縁原体条痕
14	D3-282	山形文	山形文	暗淡褐色	暗褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂粒	不良	□縁原体条痕
15	C4-No434	指ナデ・山形文	深い原体条痕・山形文	黄褐色	黄褐色	○					砂粒	不良	
16	C3-328	山形文	山形文	暗淡褐色	暗淡褐色	○				○	黒粒子	不良	
17	C4-563	山形文	原体条痕・山形文	暗淡褐色	暗淡褐色	○	○	○	○		黒粒子・砂粒	不良	
18	D2-83	山形文	原体条痕	橙褐色	橙褐色	○				○	砂粒	不良	
19	D3-120	ナデ・山形文	原体条痕	暗淡褐色	暗淡褐色	○		○		○	黒粒子・砂粒	不良	
20	C4-一括	山形文	原体条痕	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
21	C4-No571	山形文・ナデ	深い原体条痕・山形文	淡黄褐色	暗灰褐色	○	○	○			砂粒	不良	
22	D4-No273	山形文	深い原体条痕・山形文	暗灰褐色	暗灰褐色	○			○		砂粒	不良	
23	C3-414	山形文(剥離)	山形文	暗淡黄褐色	暗淡黄褐色	○	○			○	砂粒	不良	□縁原体条痕
24	C3-No328	ナデ・山形文	ナデ・深い原体条痕・山形文	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○					不良	
25	C3-No543	ナデ・山形文	ナデ・深い原体条痕・山形文	暗褐色	暗褐色	○	○					不良	煤付着
26	C3-328	山形文?・ナデ	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○					良	
27	C4-33	ナデ・山形文	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○					良	
28	C3-No44	不明瞭	深い原体条痕・山形文			○				○		不良	
29	B5-一括	山形文(縦方向)	原体条痕・山形文(横方向)	暗橙褐色	暗橙褐色					○	砂粒	不良	
30	C3-328	山形文	山形文			○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
31	C3-222	山形文	山形文			○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
32	C3-557	山形文	山形文			○	○			○	砂粒	不良	
33	C3-260	山形文	山形文			○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
34	C3-266	山形文(摩耗)	?			○	○			○	砂粒	不良	
35	C3-164	山形文	山形文・ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
36	C3-260	山形文(摩耗)	山形文(摩耗)			○	○	○		○	砂粒	不良	
37	C4-566	山形文	山形文	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○			○	砂粒	不良	
38	C3-455	山形文	山形文・ナデ			○	○			○	砂粒	不良	
39	C3-484	山形文	山形文	黄褐色	黄褐色	○	○			○	砂粒	不良	
40	C3-No379	不明	山形文	暗褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
41	C5-23	山形文	山形文	橙色	橙色	○	○			○	砂粒	不良	
42	C4-362	山形文	山形文	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○					良	
43	C4-307	山形文	山形文・ナデ	赤褐色	黄褐色	○	○					不良	
44	B4-3	山形文											

第4表 土器観察表 (第15図)

図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考		
		表	裏	表	裏	角	長石	赤	白	その他				
1	E3-121	山形文	山形文	橙色	橙色	○	○				○	砂粒	不良	
2	B5-129	山形文(横方向)	山形文(横方向)・ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○			○	黒粒子・砂粒	不良	
3	C4	山形文	山形文	黄褐色	黄褐色	○	○				○	砂粒	不良	
4	C4-90	山形文	山形文・圧痕			○					○	砂粒	不良	
5	C4	山形文	山形文	黄褐色	黄褐色	○	○			○			不良	
6	D3-135	山形文	山形文・ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○			○	砂粒	不良		
7	B5-196	山形文	山形文・ナデ	褐色	褐色	○	○	○		○		良		
8	C4-139	山形文	山形文	橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂粒	不良		
9	D5-48	山形文	山形文	橙色	橙色	○	○			○	砂粒			
10	C4-299	磨耗・山形文	山形文・ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良		
11	C4-296	山形文(縦方向)	山形文・ナデ							○	砂粒	不良		
12	C5-No451	山形文	不明	暗黄褐色	淡赤褐色	○	○			○		不良		
13	C4-一括	山形文	ナデ?	橙褐色	淡褐色	○	○			○	砂粒	不良		
14	C4-29	山形文(縦方向)	山形文(斜方向・浅い)			○	○	○		○	砂粒	不良		
15	C4-303	山形文	山形文・ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	砂粒	不良		
16	D4-No192	山形文	ナデ			○						茶粒子・砂粒	不良	
17	B5-113	山形文(横方向)	ナデ・指圧痕	暗黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○	砂粒	不良		
18	C5-No119	山形文	指圧痕	暗茶褐色	暗褐色	○				○	砂粒	不良		
19	C4-No567	山形文	ナデ	淡赤黄褐色	淡褐色	○				○	砂粒	不良		
20	C4-No484	山形文	ナデ	暗黄褐色	淡黄褐色	○	○					砂粒	不良	
21	C4-No57	山形文	指圧痕	暗褐色	暗褐色	○				○	砂粒	不良		
22	C4-No305	斜走山形文	ナデ	褐色	淡黄褐色	○	○			○	砂粒	不良		
23	C4-No269	山形文	不定方向のヘラナデ	明橙淡褐色	暗褐色	○				○	砂粒	不良		
24	C3-No544	山形文	不明	淡褐色	淡褐色	○	○			○	砂粒	不良		

第5表 土器観察表 (第15図)

図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その他
25	C3-No421	山形文	不明	茶褐色	黄褐色	○				○	茶粒子・砂粒	不良	
26	B5-120	山形文(横方向)	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○			○	砂粒	不良	
27	B4-45	山形文(横方向)	ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂粒	不良	
28	C3-No253	山形文		暗褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
29	C3-No256	山形文	ナデ	明茶褐色	暗茶褐色	○	○			○	砂粒	不良	
30	D4-No147	山形文	ナデ?	暗茶褐色	暗茶褐色	○				○	砂粒	不良	
31	D5-171	山形文	ナメナデ	茶褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
32	C4-No429	山形文	ナデ	黄褐色	暗褐色・黒褐色			○			砂粒	不良	
33	B4-60	山形文(横方向)	指ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○	砂粒	不良	
34	B4-204	山形文(横方向)	指ナデ・指圧痕	暗黄褐色	淡黄褐色	○	○	○	○	○	黒粒子・砂粒	不良	
35	B5-46	山形文	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○	○		○	砂粒	不良	
36	C3-No37	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
37	C3-No530	山形文	ナデ	暗褐色	暗褐色	○				○	砂粒	不良	
38	D3-No115	山形文	指圧痕・不明	黄褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
39	C4-No241	山形文	不明	黄褐色・淡赤褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
40	C3-No37	山形文	不明	暗褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
41	C4-No260	山形文	不明	暗橙黄褐色	暗褐色	○		○			砂粒	不良	
42	B5-198	山形文(磨耗)	磨耗のため不明	橙褐色	暗褐色	○	○			○	砂粒	不良	
43	E4-228	斜走山形文	剥離	黒褐色	暗橙褐色	○		○		○	砂粒	不良	煤付着
44	D5-215	山形文	タテナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○				○	砂粒	不良	

第6表 土器観察表 (第16図)

図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その他
1	D3-No200	山形文	ナデ	黄褐色	灰褐色	○	○			○	砂粒	不良	
2	B5-255	上、山形文 下、山形文	ナデ(ナメ方向)	暗黄褐色	黄褐色	○	○	○		○	砂粒	不良	
3	C3-No550	山形文	指ナデ・圧痕	淡黄褐色・淡赤褐色	淡黄褐色・淡赤褐色	○	○			○	砂粒	不良	
4	C2-No150	山形文	ナデ	黄褐色	淡黄褐色・淡赤褐色	○				○	砂粒	不良	
5	C4-No8	山形文 山形文	指圧痕	黒褐色	暗褐色	○		○			砂粒	不良	
6	C4-No270	山形文	ナデ	黄灰褐色・暗褐色	黄灰褐色	○				○	砂粒	不良	
7	C5-No51	山形文	ナデ・圧痕	淡黄褐色	淡黄褐色	○				○	砂粒	不良	
8	F4-No137	山形文	不明	暗黄褐色	淡黄褐色	○		○			砂粒	不良	
9	B4-66	山形文	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂粒	不良	
10	C4-No31	斜め山形文	ナデ・指圧痕	黒褐色	淡黄褐色	○				○	砂粒	不良	
11	B5-30	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
12	E4-No215	山形文	不明	暗褐色	淡茶褐色	○				○	砂粒	不良	
13	C5-No158	山形文	ナデ	淡赤褐色	淡赤褐色			○		○	砂粒	不良	
14	C4-No	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
15	C4-No285	山形文	指圧痕	暗黄褐色	暗黄褐色	○				○	砂粒	不良	
16	C3-No260	山形文	ナデ	淡黄橙褐色	淡黄褐色	○				○	砂粒	不良	
17	D3-No229	山形文	ナデ	淡黄赤褐色	淡黄赤褐色	○				○	砂粒	不良	
18	C3-No253	山形文	ナデ	赤茶褐色	黄茶褐色	○				○	砂粒	不良	
19	D3-No278	山形文	ナデ	橙褐色	淡黄褐色	○				○	砂粒	不良	
20	C4-No287	山形文	ナデ	暗褐色	暗褐色	○				○	砂粒	不良	
21	C4-No260	山形文	不明	暗橙黄褐色	暗褐色			○		○	砂粒	不良	
22	C3-253	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
23	D3-No201	山形文	ナデ	黄褐色	暗灰褐色	○				○	砂粒	不良	
24	C5-No5	山形文	ナデ	暗褐色	黄褐色			○		○	砂粒	不良	
25	E4-No37	山形文	ナデ	黄褐色	暗褐色			○		○	砂粒	不良	
26	D5-No115	山形文	不明	淡茶褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
27	B5-45	山形文	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○				○	砂粒	不良	
28	B5-36	山形文	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂粒	不良	
29	B4-357	山形文	ナデ	明黄褐色	明黄褐色	○	○	○	○	○	砂粒	不良	
30	C4-7	山形文	浅い山形文か?			○	○	○		○	砂粒	不良	
31	C3-No183	山形文	ナデ	橙赤褐色	暗赤褐色	○				○	砂粒	不良	葉の圧痕
32	C4-No20	山形文	ナデ	暗褐色	淡褐色	○		○		○	砂粒	不良	
33	C5-No27	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○		○			砂粒	不良	
34	C3-No282	山形文	ナデ	淡黄灰褐色	淡黄灰褐色	○		○			砂粒	不良	
35	C3-一括	山形文	ナデ	暗褐色	暗褐色	○				○	砂粒	不良	
36	D3-No252	山形文	不明	赤褐色	赤褐色	○				○	砂粒	不良	
37	C3-253	山形文	ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○				○	砂粒	不良	
38	D5-138	山形文	タテナデ・指圧痕	暗黄褐色	暗淡褐色	○				○	砂粒	不良	
39	B5-14	山形文・ナデ	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂粒	不良	
40	E3-67	山形文	ナデ	淡橙褐色	淡橙褐色	○	○	○		○	砂粒	不良	
41	C3-No254	山形文	ナデ	暗褐色	黄褐色	○				○	砂粒	不良	
42	C3-No273	山形文	ナデ	淡褐色・黒褐色	淡褐色	○				○	砂粒	不良	煤付着
43	D3-No309	山形文	ヨコ(右方向)・ヘラケズリ	淡黄褐色	暗黄褐色	○		○		○	砂粒	不良	煤付着
44	C4-No11	山形文・斜走山形文	指ナデ・圧痕	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○	砂粒	不良	
45	C3-No20・No3	山形文	指ナデ・圧痕	赤黄褐色	赤黄褐色	○		○			砂粒	不良	
46	C3-No390	斜走山形文	ナデ	赤褐色	淡黄褐色	○				○	砂粒	不良	

第7表 土器観察表 (第17図)

図版番号	注記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その他
1	B5-29	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	2と同一個体
2	B5-285	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	1と同一個体
3	B15-173	山形文	ナデ	明褐色	明褐色	○	○					良	
4	D3-201	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					良	
5	B5-104	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					良	
6	B2	山形文	ナデ	褐色	褐色	○	○					良	
7	B5-66	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
8	B5-87,88	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
9	D3一括	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○						良	
10	B4-160	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○		○			不良	
11	B5-107	山形文	ナデ	黄褐色	茶褐色	○	○					良	
12		山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
13	B-5-No182	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○	○			良	
14	B5-253	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
15	B5一括	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○		○			良	
16	B5-201	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			結晶岩		良	
17	B5-20	山形文	ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○	○				良	
18	B5一括	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
19	B4-160	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
20	B5-192	山形文	ナデ	明褐色	暗褐色	○	○					良	
21	B4-101	山形文	ナデ	暗褐色	暗褐色	○	○					良	
22	B5-202	山形文	山形文	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
23	B4-329	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○						良	
24	B5一括	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○			良	
25	B5-199	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○		○			良	
26	B4一括	山形文	ナデ	赤褐色	赤褐色	○	○					良	
27	B5-49	山形文	ナデ	暗灰褐色	茶褐色	○	○		○			良	
28	E4-133	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○			良	
29	B4-21	山形文	ナデ	黄褐色	茶褐色	○	○					良	
30	B5-145	山形文	ナデ	橙褐色	褐色	○	○					良	
31	B5-149	山形文	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	○	○					良	
32	B5-195	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○						良	
33	B4-91	山形文	指ナデ?	暗黄褐色・灰黄褐色	暗褐色	○	○	○		黒粒子・砂粒		良	
34	D3-95	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
35	C4-No29	山形文	ナデ	淡褐色	淡褐色			○	○	砂粒		良	
36	C3-No350	山形文	指ナデ?	橙黄褐色	淡黄褐色	○			○	茶粒子・砂粒		良	被熱による赤変
37	B5-78	山形文	ナデ	黄褐色	暗黄褐色	○	○					良	
38	C4-No456	山形文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○		○	砂粒		良	
39	B5-110-133	山形文	ナデ	暗淡橙褐色	暗淡橙褐色	○	○	○	○	砂粒		良	底部突き出た部分橙褐色
40	B5-209	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				良	41と同一個体
41	B5-209	山形文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				良	40と同一個体
42	B5-152	山形文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○						良	
43	B5一括	山形文・ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○	○				良	
44	C2-147	不明	ナデ	黄褐色	黄褐色	○			○	砂粒		良	

第8表 土器観察表 (第18図)

図版番号	注記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その他
1	B4-335	楕円文	楕円文	暗褐色	暗褐色	○				○	砂	不良	硬質
2	B4-28	押型楕円文	押型楕円文・ナデ・指おさえ?	暗褐色	暗褐色	○				○	砂	不良	
3	D3-340	ナデ	ナデ	橙褐色	灰黄褐色	○	○				砂	不良	
4	B5-215	楕円文	楕円文	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
5	B5-13	押型文・ナデ	押型文	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
6	B5-12	楕円文	楕円文	茶褐色	茶褐色	○						良	
7	C2-125	押型	ナデ	茶褐色	茶褐色	○						良	
8	B4	楕円押型文	楕円押型文	茶褐色	茶褐色	○	○			○		良	
9	ナシ	楕円文	刻・楕円文	橙褐色	橙褐色	○	○			○		良	
10	178	楕円文・ナデ	ナデ	淡橙褐色	淡黄褐色	○				○	砂	不良	
11	D2-219	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					良	
12	E4-104	ナデ・楕円押型文	ナデ・楕円押型文	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
13	D5一括	楕円(ナデ?)	楕円	茶褐色	黄褐色	○	○			○			
14	D5一括	楕円文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	口縁?
15	C4-7	楕円押型文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○		良	
16	B4-83	斜め楕円文	ナデ	明淡褐色	明淡褐色	○	○			○	砂	不良	断面内側黒灰色
17	B4-168	楕円文	ナデ	明茶褐色	暗灰褐色	○	○			○	砂	不良	
18	B4-302	斜め楕円文・ナデ	斜め楕円文・ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○				○	砂	不良	
19	B4-201・202	楕円文・ナデ	ナデ	黄灰褐色	暗灰黄褐色	○				○	砂	不良	
20	B4-59	楕円文・ナデ?	ナデ	淡褐色	淡灰褐色	○	○				砂	不良	
21	B4-No59	楕円文	ナデ	淡褐色	淡灰褐色					○	砂	不良	
22	B5-303	楕円文	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○				良	
23	D5-199	楕円・ナデ	ナデ?	茶褐色	暗褐色	○	○					良	
24	B4-27	タテ方向の条痕	原体条痕・楕円文	暗黒茶褐色	暗黒茶褐色	○				○	砂	不良	

第9表 土器観察表 (第18図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			そ の 他
25	C4-226	楕円?・ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				良	
26	D2-31	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○						
27	B5-180	楕円文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				不良	
28	C4-272	楕円文	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		良	
29	カクラン	楕円文	条痕文(ヨコ)	灰黄褐色	灰黄褐色	○	○			○	砂	不良	
30	カクラン	楕円文	条痕文(タテ)	灰黄褐色	灰黄褐色	○	○	○		○	砂	不良	
31	175-3	粗大楕円文	ナデ?剥離が激しい	暗茶褐色	暗茶褐色	○				○	砂	不良	
32	174-3	粗大楕円文	ナデ	茶褐色	暗灰褐色	○				○	砂	不良	
33	B5-300	楕円押型文・ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○		良	
34	B5-324	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○	○				不良	
35	176-3	粗大楕円文	ナデ?	暗茶褐色	暗茶褐色	○				○	砂	不良	
36	177-3	粗大楕円文	ナデ	暗灰褐色	暗灰褐色	○				○	砂	不良	
37	B5-162	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○	○				不良	38・39・40同一個体
38	B5-166	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○	○				不良	37・38・40同一個体
39	B5-22	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○	○				不良	37・38・39同一個体
40	B5-99	楕円文	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○	○				不良	37・38・39同一個体
41	B4-283	粗大楕円文	ナデ・剥離著しい			○				○	砂	不良	
42	173-3	粗大楕円文	粗いナデ	茶褐色	暗灰褐色	○	○			○	砂	不良	
43	C2-81	楕円	楕円	茶褐色	茶褐色	○	○			○		良	

第10表 土器観察表 (第19図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			そ の 他
1	D3-125	条痕	条痕	灰黄褐色	灰褐色	○	○	○	○	○	黒粒子・砂	不良	
2	D3-105	条痕	条痕	灰橙褐色	灰橙褐色	○	○	○	○	○	砂	不良	
3	D3-105	条痕(ナナム方向)	条痕(ナナム方向)	灰黄褐色	灰黄褐色	○			○	○	砂	不良	
4	D3-105	条痕	条痕	淡褐色	橙褐色	○	○	○				不良	
5	D3-152	ナデ	条痕	灰橙褐色	灰橙褐色				○	○	黒粒子・砂	不良	
6	D3-214	条痕	条痕	橙褐色	灰褐色	○	○		○	○	砂・灰	不良	
7	D3-252	条痕	条痕	灰橙褐色	灰橙褐色	○	○		○	○	黒粒子・砂	不良	
8	D3-327	条痕(ナナム方向)	条痕(ナナム方向)	灰褐色	灰褐色	○	○	○	○	○	砂	不良	
9	C3-265	条痕	条痕	橙褐色	橙褐色	○			○	○	砂	不良	縄文時代・鉢(胴部片)
10	C3-554	条痕	条痕	橙褐色	橙褐色	○	○		○	○	砂	不良	縄文時代・鉢(胴部片)
11	C5-198	条痕	条痕	黄褐色	黄褐色	○	○	○			砂	不良	
12	D3-306	条痕	条痕	橙褐色	橙褐色	○	○	○			黒粒子・砂	不良	
13	D3-140	条痕	条痕	灰橙褐色	橙褐色	○	○	○		○	砂	不良	
14	D4-132	条痕	条痕	黄褐色	黄褐色	○	○		○	○	黒粒子・砂	不良	
15	E3-105	条痕	条痕	橙褐色	橙褐色	○	○		○	○	砂	不良	
16	C4-一括	条痕	ナデ?	橙褐色	橙褐色	○	○		○	○	砂	不良	縄文時代・鉢(胴部片)
17	D3-325	条痕	条痕	橙褐色	灰褐色	○	○		○	○	砂	不良	
18	C3-547	条痕	条痕	橙褐色	橙褐色	○	○		○	○	砂	不良	
19	C6-12	条痕(タテ・ナナム方向)	条痕(タテ・ナナム方向)	黄褐色	橙褐色	○	○		○	○	砂	不良	
20	D5-207	条痕	条痕	灰褐色	灰褐色	○	○		○	○	黒粒子・砂	不良	
21	C6	ナデ・条痕	ナデ	黄褐色	淡橙褐色	○				○	砂	不良	
22	C4-26	条痕	ナデ	灰橙褐色	灰橙褐色	○	○		○	○	砂	不良	縄文時代・鉢(胴部片)
23	C4-一括	条痕・ナデ・剥離	条痕・ナデ・剥離	黄褐色	黄褐色	○						良	
24	D-3-210	条痕・ナデ	条痕・ナデ	暗黄褐色		○	○					不良	
25	D4-145	不明	不明	黄褐色	黄褐色	○	○			○	砂	不良	
26	C6	ナデ・条痕	ナデ・条痕	暗褐色	暗褐色	○			○			不良	
27	B4-89	ナデ	条痕・ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○			良好	
28	C3-一括	?	条痕	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
29	E4-35	条痕	条痕	黄橙褐色		○				○		不良	
30	C4-Nb322	条痕	ナデ	灰黄褐色	淡黄褐色	○				○	砂	不良	
31	C5-92	条痕	ナデ	黄褐色	黄褐色		○			○		不良	縄文時代・鉢
32	F103-184	条痕	条痕	橙褐色		○	○			○		良	
33	C4-一括	条痕	ナデ	灰褐色	灰褐色					○	砂	不良	縄文時代・鉢(胴部片)
34	C6-35	条痕(ナナム方向)	ナデ	黄褐色	黄褐色					○	砂	不良	
35	C4-101	条痕	ナデ	灰黄褐色	黄褐色					○	砂	不良	縄文時代・鉢(胴部片)
36	E4-27	条痕	ナデ	灰褐色	淡褐色	○	○			○	砂	不良	
37	一括	条痕	条痕	黄褐色	黄褐色	○	○	○	○	○	砂	不良	

第11表 土器観察表 (第20図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			そ の 他
1	C3-360	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
2	E3-104	ナデ	ナデ	灰色	灰色	○	○					良	
3	C3-408	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○		良	
4	C3-489	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂	不良	
5	E3-82	ナデ	口縁にミガキが入る・ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	黒粒・砂	良好	
6	C2-28	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		良	
7	C3-229	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		不良	
8	B5-2	粗いナデ	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○					良	

第12表 土器観察表 (第20図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			そ の 他
9	B5-235	粗いナデ	ナデ	明茶褐色	明茶褐色	○						良	
10	D4-152	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		良	
11	C4-153	ナデ・条痕	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○		良	
12	B5-265	ナデ	ナデ	澄黄褐色	澄黄褐色	○	○					良	
13	D5-187	ナデ	ナデ	暗褐色	暗灰褐色	○					砂	不良	
14	C2-58	無文	条痕	淡黄褐色	淡黄褐色					○	砂	不良	
15	D5-32	ナデ	ナデ	茶褐色	黄褐色	○	○					良	
16	D5-59	ナデ	ナデ	暗黄褐色		○	○					良	
17	D5-130	ナデ	ナデ	暗褐色	灰黄褐色	○				○	砂	不良	煤付着
18	C3-358	ナデ	ナデ	橙褐色	明茶褐色	○	○				砂	不良	
19	B5-217	ナデ	ナデ	明茶褐色	明茶褐色	○	○			○		不良	
20	C4	ナデ	ナデ	黄褐色	淡橙褐色	○				○	砂	不良	
21													
22	B5-106	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					不良	
23	C4-191	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○						良	
24	C3-442	ナデ	ナデ	橙褐色	淡褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂	不良	
25	C4	ナデ	ナデ	赤褐色	赤褐色	○				○		不良	
26	C4	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○					砂	不良	
27	D-5-230	ナデ(?)	ナデ	黄褐色	黄褐色		○					良	
28	C4-125	タテ条痕?・ナデ	ナデ	茶褐色	黄褐色	○						良	
29	D4-152	ナデ	ナデ	淡黄色	淡黄色	○	○					良	
30	D4-63	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○	黒粒・砂	不良	
31	D-4-224	ナデ	ナデ	茶褐色	黄褐色	○				○		良	
32	D-7No16	ナデ	ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○			○	砂	不良	
33	C4-447・477	剥離										良	
34	C4	丁寧なナデ	ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○					茶粒子・砂	不良	
35	G4-17	ナデ	ナデ	淡黄褐色		○	○					良	
36	B5-15	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○						良	
37	B5-50	ナデ	ナデ										
38	C2-158	ナデ	ナデ	茶褐色	黄褐色	○	○					良	

第13表 土器観察表 (第21図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			そ の 他
1	E-81	ナデ	ナデ	淡橙褐色	明茶褐色	○				○	砂	不良	
2	C3-1	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂	不良	
3	C3-149	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂	不良	
4	E5-8	不明	不明	茶褐色	茶褐色	○	○			○	砂	不良	
5	B-4-225	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			○		良	
6	B-4-22	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○	○			○	砂	不良	
7	C3-8	ナデ	ナデ	黄褐色	淡黄褐色	○	○			○	砂	不良	
8	C3-141	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	砂・黒	不良	
9	E4-203	ナデ?	ナデ?	黄褐色	黄褐色	○					砂	不良	
10	B5-170	ナデ	ナデ	明褐色	明褐色	○				○		不良	
11	C3-372	ナデ・指圧痕	ナデ・指圧痕	橙褐色	橙褐色		○			○	砂	不良	
12	C2-74	ナデ	ナデ	灰褐色	灰褐色	○	○			○	砂	不良	
13	E5-7	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色	○	○			○	砂	不良	
14	D-3-297	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					不良	
15	C4-373	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂	不良	
16	B5-4	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良	
17	C2-75	ナデ	ナデ	灰橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂・黒	不良	金雲母一粒含
18	B5-269	ナデ	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	○	○			○		不良	
19	C4-141	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○				○		不良	
20	C3-318	条痕?ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○	黒	不良	
21	E3-140	不明	不明	橙褐色	橙褐色	○	○			○	黒・砂	不良	
22	C4	ナデ・圧痕	ナデ・圧痕	黄茶褐色	黄茶褐色	○	○				砂	不良	一部黒灰色入付着
23	C3-525	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○		不良	
24	C3-457	不明	不明	橙褐色	橙褐色	○	○	○		○	灰・黒・砂	不良	
25	D3	ナデ・指頭圧	ナデ・指頭圧	橙褐色	橙褐色	○						不良	
26	D5-38	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○				○		不良	
27	C3-141	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				不良	

第14表 土器観察表 (第22図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			そ の 他
1	B4-148	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					不良	
2	E5-7	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	砂	不良	
3	B5-39	ナデ	ナデ	橙褐色		○	○			○		不良	
4	F3-9			橙褐色		○	○			○		良	
5	E3-115	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂	不良	
6	D-5一括	ナデ	ナデ	暗褐色	茶褐色	○	○			○		不良	
7	E4-21	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色								

第15表 土器観察表 (第22図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その 他
8		ナデ	ナデ	茶褐色		○	○					良	
9	D5-31	指圧痕・ナデ	指圧痕・ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂	不良	
10	C2-6	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					不良	無文
11	SX-1	ナデ	ナデ	明茶褐色	暗茶褐色	○	○	○			黒粒子・砂	不良	
12	D5-34	ナデ	ナデ・指圧痕	明灰褐色	淡橙褐色	○	○				砂	不良	
13	B4-314	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	茶粒子・砂	不良	
14	E4-213	ナデ・指圧痕	ナデ・指圧痕	淡橙褐色	暗灰褐色	○				○	砂	不良	
15	C3-356	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	黒粒子・砂	良好	
16	D3-352	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○	砂	不良	
17	B4-22	ナデ	ナデ	橙褐色	暗褐色	○	○			○		不良	
18	C3-163	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○				○	砂	不良	
19	E4-45	ナデ	指圧痕	黄褐色	淡褐色	○				○		不良	風化著しい

第16表 土器観察表 (第23図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その 他
1	B-4-165	ナデ	ナデ	黄褐色	暗褐色	○	○	○	○			不良	
2	D5-243	ナデ	ナデ	淡黄褐色	茶褐色	○				○	砂	不良	
3	D3-219	不明	不明	橙褐色	橙褐色	○	○			○	砂	不良	
4	D6-43	ナデ	ナデ	明橙褐色	黄褐色	○	○				砂	不良	
5	C3-395	ナデ	ナデ	橙褐色	淡褐色	○	○	○				不良	
6	C4	ナデ	ナデ	黄橙褐色	橙褐色	○				○		不良	
7	C3-15	ナデ	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○	○		○		不良	
8	B-4-132	ナデ	ナデ	橙色	茶褐色	○				○		不良	
9	D5-215	磨耗の為不明	ナデ	明茶褐色	橙褐色	○				○		不良	
10	C4	ナデ・圧痕	ナデ・圧痕	黄褐色	黄褐色	○				○		不良	
11	D3-13	ナデ	ナデ・指圧痕	橙褐色	橙褐色	○	○	○		○		良好	
12	C2-64	ナデ・無文	ナデ後ヨコ方向に条痕	橙褐色	橙褐色	○	○			○		不良	
13	C3-368	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○			○		不良	
14	F1-135	ナデ	ナデ	明茶褐色	明茶褐色	○	○			○		不良	
15	C4	ナデ・指圧痕	ナデ・指圧痕	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○			○		不良	
16	C3-73	ナデ	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○					不良	
17	C2-7	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○					不良	口縁近く指圧痕
18	B-4-223	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					不良	
19	E4-一括	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					不良	
20	B5-218	ナデ	ナデ	黄褐色	暗黄褐色	○						不良	
21	C2-18	ナデ・無文	ナデ	灰橙色	灰橙色	○	○	○		○		不良	
22	B5-280	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					良	
23	D3-114	ナデ・無文	指圧痕	黄褐色	暗黄褐色	○				○	砂	不良	
24	D5-105	ナデ	ナデ	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○					不良	
25	B-4-62	ナデ	ナデ	茶褐色		○	○			○		不良	磨耗
26	C4	ナデ・指圧痕・穿孔	ナデ・指圧痕・穿孔	黄褐色	灰褐色	○						不良	
27	C4	ナデ	ナデ・指圧痕	茶褐色	明茶褐色	○				○	砂	不良	

第17表 土器観察表 (第24図)

図版 番号	注 記	文 様 及 び 調 整		色 調		胎 土					焼 成	備 考	
		表	裏	表	裏	角	長	石	赤	白			その 他
1	D2-No36・No4	指圧痕・ナデ	指圧痕	黄褐色	暗褐色	○	○			○	茶粒子・砂	不良	
2	D3	ナデ・軽い指圧痕	ナデ・軽い指圧痕	暗橙褐色	淡褐色	○				○	茶粒子・砂	不良	
3	D4-51	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○	○		○	黒粒子・砂	不良	
4	E5-7	ナデ	ナデ?	黄褐色	黄褐色	○	○			○	黒粒子・砂	不良	
5	E4-124	ナデ・指圧痕	ナデ・指圧痕	淡橙褐色	暗橙褐色	○				○	砂	不良	
6	C4	不明	不明	暗黄褐色	黄茶褐色	○				○	灰・砂	不良	
7	C5	ナデ(剥離)	ナデ(大部分剥離)	茶褐色	茶褐色	○	○				茶粒子	不良	
8	D5-116	ナデ	ナデ	暗褐色	暗灰褐色	○						不良	
9	B5-183	ナデ	ナデ	明茶褐色	暗褐色	○	○			○		不良	
10	D-3-316	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○					良好	
11	E4-51	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○				良	
12	D4-50	ナデ	ナデ	灰褐色	茶褐色	○	○			○	砂	良好	
13	C3-514	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○		○		不良	
14	E3-100	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○				砂	不良	
15	B5-155	ナデ	ナデ	褐色	褐色	○	○					不良	
16	B5-294	ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○	○				良	17と同一個体
17	B5-151	ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○	○	○				良	16と同一個体
18	C4-294	ナデ	ナデ	灰褐色	橙褐色	○	○	○		○		不良	
19	B5-62	ナデ	ナデ	暗黄褐色		○	○	○		○		良	
20	下野一括	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○				○	砂	不良	
21	D5-49	ナデ	ナデ	茶褐色		○	○	○		○		不良	
22	B-4-25	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○	○			良	
23	B-49	ナデ(楕円文?)	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○					良	

第18表 土器観察表 (第25図)

図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考
		表	裏	表	裏	角	長石	赤	白	その他		
1	D3-198	ナデ	ナデ	淡橙褐色	橙褐色	○	○	○	○	砂	不良	
2	D5-140	磨耗の為不明		黄茶褐色	褐色	○			○	茶粒子・砂	不良	
3	D3	指圧痕・ナデ	不明	黄褐色	黒褐色	○			○	砂		
4	D3-178	ナデ	ナデ	淡橙褐色	淡褐色	○	○		○	茶粒子	不良	
5	B-4-318	ナデ	ナデ	暗黄褐色		○	○	○			不良	
6	D3-13	ナデ	ナデ・指圧痕	黄褐色	橙褐色	○	○	○	○	砂・黒粒子	良好	
7	D4-121	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○		砂	不良	
8	D3	ナデ・ナメ指ナデ	ナデ・指圧痕	橙黄褐色	橙褐色	○			○	砂	不良	
9	E4-109	指圧痕・ナデ	指圧痕・ナデ	淡橙褐色・淡褐色・暗褐色	淡橙褐色・淡褐色・暗褐色	○			○	砂	不良	
10	C4	ナデ・指圧痕	ナデ・指圧痕	黄褐色	茶褐色	○			○	砂	不良	
11	C4	指圧痕・ナデ	指圧痕・ナデ	暗黄褐色	暗黄褐色	○	○		○	砂	不良	
12	D6-48	ナデ	ナデ	茶褐色	暗茶褐色	○			○		不良	口縁外縁に貼り付け部分あり
13	D3-カクラン	ナデ	ナデ	明茶褐色	暗茶褐色	○			○	砂	不良	口縁外縁に貼り付け部分あり
14	E4-100	ナデ	ナデ・指圧痕・ヘラ状工具	黄褐色	茶褐色	○			○	砂	不良	内底・底縁に貼り付け部分あり
15	D5-108	不明(ナデ?)	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○			○	砂	不良	
16	C2-75	ナデ	ナデ・指圧痕	橙褐色	橙褐色				○	砂・黒粒子	不良	
17	C4-550	指圧痕	ナデ	黄褐色	淡茶褐色	○	○			砂	不良	
18	D4-232	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○	○	○		良	
19	E4-45	不明	ナデ・指圧痕	黄褐色	淡褐色	○			○	砂	不良	
20	C7	指圧	ナデ	黄茶褐色	茶褐色	○			○	砂	不良	

第19表 土器観察表 (第26図)

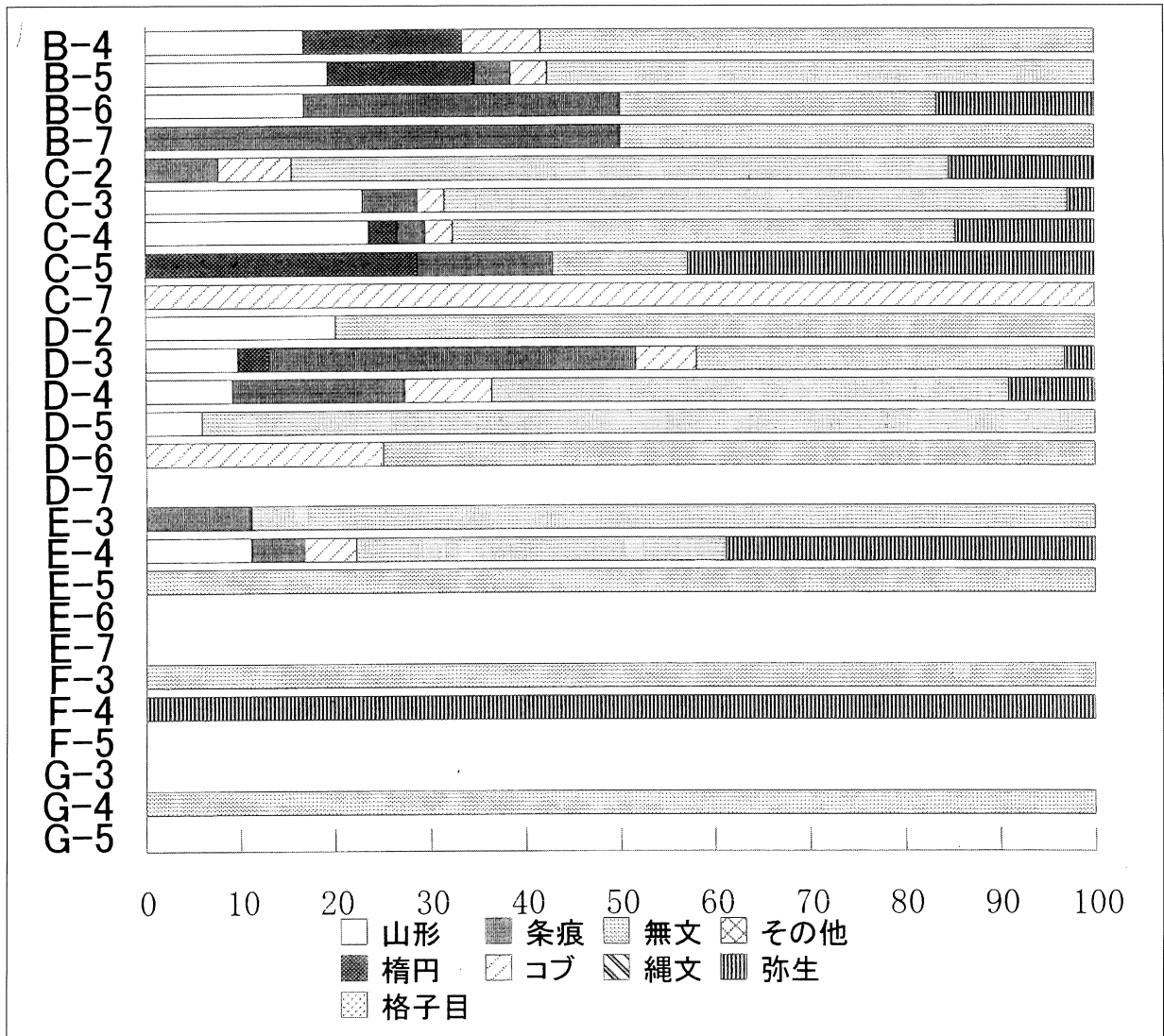
図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考
		表	裏	表	裏	角	長石	赤	白	その他		
1	D3-E3カクラン	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○		○	砂	不良	
2	B5-39	ナデ	ナデ	橙褐色		○	○		○		不良	
3	D5-122	口縁から外面ナデ	不明	明茶褐色	黒褐色	○			○	茶粒子・砂	不良	口縁外縁に貼り付け部分あり
4	C3-292	指圧痕・ナデ	指圧痕・ナデ	灰褐色	灰褐色	○	○		○	黒粒子・砂	不良	
5	表土	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○		○	砂	良好	
6	E3-68	ナデ(コブ)	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○		○		良	
7	D3-313	指圧痕	ナデ	明茶褐色	明茶褐色	○	○		○	砂	不良	
8	C3-398	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○	○		○	黒粒子・砂	不良	
9	D4-42	不明	不明	橙褐色	橙褐色	○	○	○	○	黒粒子・砂	不良	
10	表土	不明(ナデ?)	不明(ナデ?)	橙褐色	橙褐色	○	○		○	砂	不良	
11	B5-カクラン	ナデ	ナデ	黄褐色		○	○		○		良	
12	B5-212			黄褐色	暗灰色	○	○	○			良	
13	D4-37	不明	不明	黄褐色	黄褐色	○	○	○	○	砂	不良	
14	D3	ナデ?	深い指ナデ	茶褐色	茶褐色	○			○	砂	不良	
15	C4-570	不明	ナデ・内底指圧	橙褐色・橙黄褐色	黒褐色	○	○		○	砂	不良	煤付着
16	E4-108	不明(ナデ?)	不明(ナデ?)	黄褐色	暗灰褐色	○			○	茶粒子	不良	
17	F4-140	不明	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○		○	砂	良好	
18	B5-65			黄褐色	暗灰色	○	○	○				
19	B5-100	ナデ	ナデ	橙褐色	黄褐色	○	○				良	
20	D4-124	不明	不明	橙褐色	橙褐色	○	○		○	砂	不良	
21	E4-136	ナデ	ナデ・指圧痕	淡褐色	淡褐色	○			○	砂	不良	
22	D5-116	ナデ	楕円文あり	淡褐色	淡灰褐色	○	○		○	砂	不良	
23	SC3-33	ナデ?	ナデ?	淡黄褐色	淡黄褐色	○	○		○	砂	良好	
24	F3-12	ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○			○		不良	
25	C4	指圧痕・ナデ	圧痕	暗黄褐色	暗黄褐色	○			○		不良	
26	C3-249	ナデ	ナデ	橙褐色	橙褐色	○			○	砂	良好	黒灰色(外の一部)・煤付着
27	E3-102	ナデ	ナデ	灰黄褐色	灰黄褐色				○	砂	不良	
28	C4	磨耗の為不明		茶褐色	茶褐色				○	砂	不良	
29	C4	圧痕	圧痕・ナデ?	黄褐色	暗黄褐色	○			○		不良	
30	B6-10	格子文	ナデ	暗茶褐色	暗褐色	○	○		○		不良	
31	B4-4	ナデ・格子文	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○			○	砂	不良	
32	B4-48	格子文・ナデ	ナデ	暗橙黄褐色	暗橙褐色	○			○	砂	不良	
33	B7-No20	縄文・ナデ	ナデ	淡橙		○	○				良	
34	G3-10	縄文	ナデ	黄褐色		○	○				良	
35	E4-2			淡橙褐色	黄褐色	○	○				良	

第20表 土器観察表 (第27図)

図版番号	注記	文様及び調整		色調		胎土					焼成	備考
		表	裏	表	裏	角	長石	赤	白	その他		
1	D3-134	指頭圧痕	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			砂	不良	長さ61cm 幅26cm 厚11cm 重213g
2	下野	ナデ	ナデ	暗茶褐色	暗茶褐色	○	○			砂	不良	長さ45cm 幅42cm 厚11cm 重203g
3	C4-150	ナデ	ナデ	黄褐色	茶褐色	○	○			砂	良	長さ38cm 幅43cm 厚11cm 重219g
4	B5-228	ナデ	ナデ	茶褐色	暗褐色	○				砂	不良	長さ47cm 幅44cm 厚10cm 重183g
5	C3-448	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○			砂	良	長さ36cm 幅37cm 厚10cm 重194g
6	B3-122	ナデ	ナデ	黄褐色	黄褐色	○	○	○		砂	良	長さ43cm 幅39cm 厚14cm 重203g
7	D3-60	楕円文	ナデ	茶褐色	暗黒褐色	○	○			砂	不良	長さ43cm 幅53cm 厚12cm 重253g
8	C3-259	ナデ	ナデ	黄褐色	暗黒褐色	○	○			砂	不良	長さ27cm 幅38cm 厚10cm 重123g
9	C4-289	ナデ	ナデ	茶褐色	茶褐色	○	○				不良	長さ4cm 幅7cm 厚13cm 重341g

第22表 グリッドごとの土器種類別数量(2) -早期-弥生- ※ () は口縁部

	山形	楕円	格子目	条痕	コブ	無文	合計	弥生
B-4	17(2)	19(2)	1		1(1)	199(7)	237	3
B-5	52(5)	19(4)		1(1)	1(1)	159(15)	232	
B-6	2(1)		1	2(2)		29(2)	34	3(1)
B-7				1(1)		9(1)	10	
C-2	5	2		1(1)	1(1)	97(9)	106	7(2)
C-3	27(8)	2		2(2)	1(1)	359(23)	391	22(1)
C-4	29(8)	9(1)		1(1)	1(1)	337(18)	377	26(5)
C-5	9	13(2)		1(1)		97(1)	120	29(3)
C-7					1(1)	5	6	
D-2	1(1)	2				72(4)	75	19
D-3	12(3)	2(1)		12(12)	2(2)	186(12)	214	9(1)
D-4	5(1)	2		2(2)	1(1)	189(6)	199	28(1)
D-5	6(1)	2				190(16)	198	5
D-6		1			1(1)	42(3)	44	8
D-7						8	8	
E-3	5	4		1(1)		72(8)	82	5
E-4	9(2)	5		1(1)	1(1)	144(7)	160	23(7)
E-5						7(2)	7	2
E-6						4	4	1
E-7						1	1	
F-3						2(1)	2	
F-4		2				47	49	62(9)
F-5						6	6	3
G-3						6	6	7
G-4						13(2)	13	
G-5								
合計	179(32)	84(10)	2	25(25)	11(11)	2280(137)	2581	259(30)



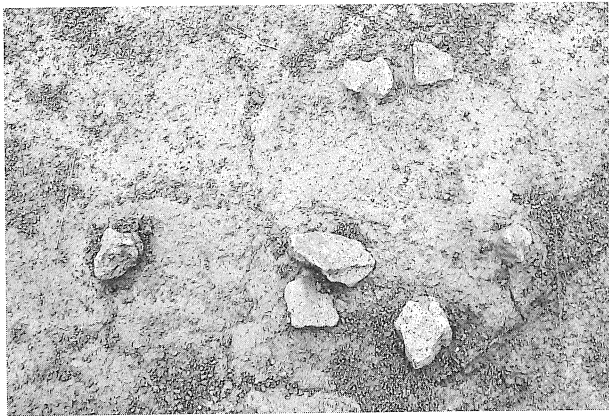
第47図 縄文時代早期の土器数量帯グラフ

※土器観察表・帯グラフは文化課嘱託遠部慎が作成した。

写 真 图 版



1. 下野遺跡の近景と発掘風景



2. SC2 - 集石 -



3. SC3 - 集石 -

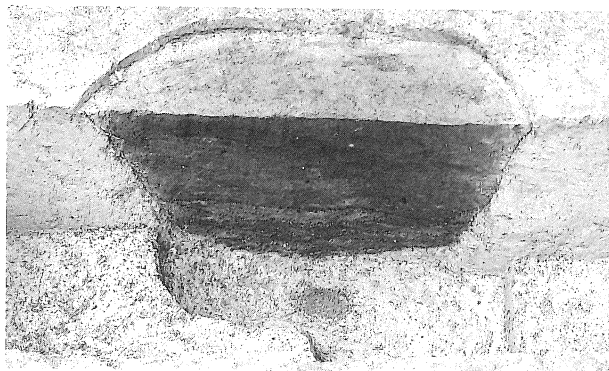


4. SC4 - 集石 -



5. 縄文時代早期の遺物出土状況

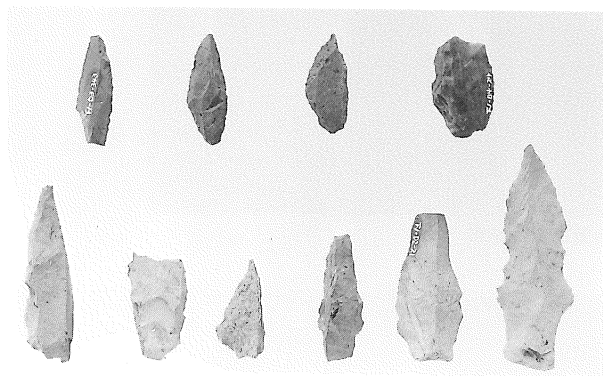
写真図版 2



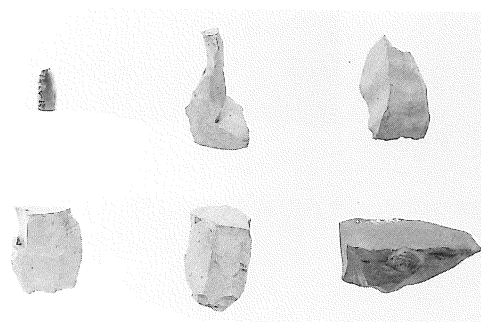
6. SX-1 (陥し穴) の断面



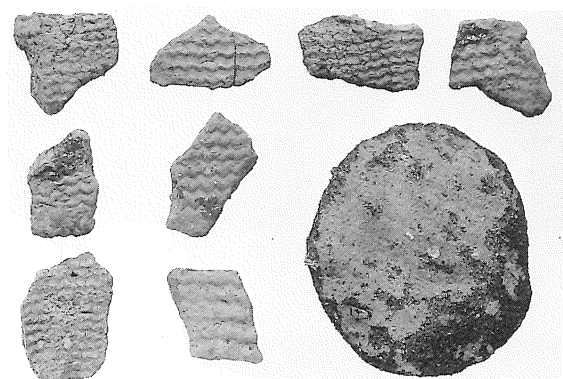
7. SX-1の完掘状況



8. 旧石器時代の遺物



9. 縄文時代草創期の遺物



10. 縄文時代早期の遺物



11. 縄文時代早期の遺物



12. 弥生時代SK-1



13. 弥生時代SH-1



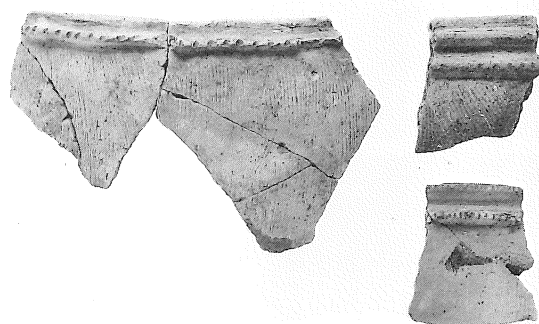
14. 弥生時代SH-2遺物出土状況



15. 弥生時代SH-2完掘状況



16. 弥生時代SK-2



17. SH-1の弥生時代遺物



18. C4区カク乱層の弥生時代遺物



19. C4区カク乱層の弥生時代遺物



20. SK-1の弥生時代遺物



21. SH2弥生時代遺物の出土状況

写真図版 4



22. SK-1弥生時代
遺物の出土状況



23. 近世・近代墓の
遺構検出状況



24. SH-2の土器



25. SK-2の土器



26. 近・現代の幼児墓
からの土製玩具

報告書抄録

フリガナ	シモノイセキ
書名	下野遺跡
副書名	一般国道213号日出バイパス工事に伴う調査
巻次	—————
シリーズ名	大分県文化財調査報告書
シリーズ番号	第134輯
編著者	綿貫 俊一
編集機関	大分県教育委員会
所在地	〒870-1113 大分県大分市府内町3-10-1
発行年月日	2002年3月29日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
シモノイセキ 下野遺跡	ハヤミグンヒジマチ 速見郡日出町 オオアザフジワラアザシモノ 大字藤原字下野	22		33°23'16"	131°33'09"	1999. 5.25 ～ 1999.10.27	1,768.65m ²	国道213号 日出バイパス

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下野遺跡	集落 散布地	弥生時代中期 縄文時代早期 旧石器時代後期	住居跡 集石、陥し穴	土器 無紋土器、押型紋土器 ナイフ形石器、角錐状石器	

大分県文化財調査報告書 第134輯

一般国道213号日出バイパス工事に伴う調査

下 野 遺 跡

平成14年 3月29日 発行

編集・発行者 大分県教育庁文化課
〒870-8503 大分市府内町 3-10-1
TEL(097)536-1111(内5501)

印刷所 日の丸印刷株式会社